

平成 2 2 年度

原子力発電所周辺  
環境放射能測定結果報告書

福 島 県  
東 京 電 力 株 式 会 社

# 目 次

第1 測定結果の概要	1
第2 測定項目	
2-1 福島県測定分	3
2-1-1 空間放射線	
(1) 空間線量率	3
(2) 空間積算線量	3
2-1-2 環境試料	
(1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度	3
(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	7
(3) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度	8
2-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分	11
2-2-1 空間放射線	
(1) 空間線量率	11
(2) 空間積算線量	11
2-2-2 環境試料	
(1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度	11
(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	12
2-3 東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分	15
2-3-1 空間放射線	
(1) 空間線量率	15
(2) 空間積算線量	15
2-3-2 環境試料	
(1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度	15
(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	16
第3 測定方法	
3-1 福島県測定分	19
3-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分	20
3-3 東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分	21
第4 測定結果	
4-1 福島県測定分	22
4-1-1 空間放射線	
(1) 空間線量率	22
(2) 空間積算線量	30
4-1-2 環境試料	
(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	32
(2) 環境試料中の全ベータ放射能	36
(3) 環境試料中の核種濃度	37
(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	40
(5) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度	41

4-2	東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分	4 2
4-2-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	4 2
	(2) 空間積算線量	4 6
4-2-2	環境試料	
	(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	4 8
	(2) 環境試料中の全ベータ放射能	5 0
	(3) 環境試料中の核種濃度	5 1
	(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	5 2
4-3	東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分	5 3
4-3-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	5 3
	(2) 空間積算線量	5 6
4-3-2	環境試料	
	(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	5 8
	(2) 環境試料中の全ベータ放射能	6 0
	(3) 環境試料中の核種濃度	6 1
	(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度	6 2
第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表		
5-1	福島県測定分	6 3
5-1-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	6 3
	(2) 空間積算線量	6 7
5-1-2	環境試料	
	(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	6 8
	(2) 降下物の核種濃度	6 9
	(3) 大気浮遊じんの核種濃度	7 0
	(4) 大気中水分のトリチウム濃度	7 2
	(5) 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度	7 4
5-2	東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分	8 3
5-2-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	8 3
	(2) 空間積算線量	8 4
5-2-2	環境試料	
	(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	8 5
	(2) 大気浮遊じんの核種濃度	8 6
	(3) 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度	8 7
5-3	東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分	8 9
5-3-1	空間放射線	
	(1) 空間線量率	8 9
	(2) 空間積算線量	9 0

5-3-2 環境試料	
(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	9 1
(2) 大気浮遊じんの核種濃度	9 2
(3) 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度	9 3

## 第6 参考資料

6-1 原子力発電所の運転状況等	9 5
(1) 福島県の原子力発電所一覧	9 5
(2) 設備利用率	9 5
(3) 運転状況	9 6
(4) 放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出の状況	1 0 6
6-2 試料採取時の付帯データ集	1 1 0
(1) 福島県測定分	1 1 0
ア 環境試料	1 1 0
イ 気象測定結果	1 1 2
ウ 福島市における空間線量率	1 1 8
(2) 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分	1 1 9
ア 環境試料	1 1 9
イ 気象測定結果	1 2 0
(3) 東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分	1 2 1
ア 環境試料	1 2 1
イ 気象測定結果	1 2 2
6-3 東北電力(株)浪江小高原子力発電所予定地周辺環境放射能測定調査	1 2 3
6-3-1 測定項目	1 2 3
6-3-2 測定結果	1 2 5
(1) 空間線量率	1 2 5
(2) 空間積算線量	1 2 5
(3) 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度	1 2 6
(4) 試料採取時の付帯データ集	1 2 7
6-4 平常の変動幅について	1 2 8
6-5 環境試料の核種濃度の検出限界について	1 3 2
6-6 測定開始年度について	1 3 3

# 第 1 測定結果の概要

平成22年度に福島県及び東京電力株式会社が実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりであり、東日本大震災発生の前日までは従来同様、環境安全評価上問題となるものはなかったが、東日本大震災発生後は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、空間線量率の上昇や、環境試料から高濃度のセシウム-137等の人工放射性核種が観測された。

## 1 空間放射線

- (1) 県が23地点、東京電力(株)福島第一原子力発電所が8地点及び福島第二原子力発電所が7地点でNaIシンチレーション検出器による空間線量率の常時測定を実施した。

東日本大震災発生の前日（平成23年3月10日）までの各測定地点の年間平均値は、従来と同程度であり、発電所に起因する有意の変動は認められなかった。また、最大値の出現時には降雪が観測されており、すべて自然放射線レベルの変動と判断され、発電所に起因する線量率上昇は認められなかった。

東日本大震災の発生日（平成23年3月11日）以降は、停電等によるデータの欠測があったが、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響で過去の値を上回る値が複数地点で観測され、1時間値の最大値は $1,590 \mu\text{Sv/h}$ （双葉町上羽鳥）であった。

- (2) 県が15地点、東京電力(株)福島第一原子力発電所が16地点及び福島第二原子力発電所が15地点で蛍光ガラス線量計による空間積算線量の測定を実施した。

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、全調査地点で過去の測定値を上回り、最大値は $360\text{mGy}/365\text{日}$ （福島第一MP7）であった。

## 2 環境試料

- (1) 大気浮遊じんについて、県が5地点、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所がそれぞれ2地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施した。

東日本大震災発生日の前日（平成23年3月10日）までの各測定地点の年間平均値は、従来と同程度であり、発電所に起因する有意の変動は認められなかった。また、最大値の出現は、いずれも気象要因による自然放射能レベルの変動と判断され、発電所に起因する測定値の上昇は認められなかった。

東日本大震災の発生日（平成23年3月11日）以降は、停電等により機器が停止したため欠測となった。

- (2) 降下物、大気浮遊じん、大気中水分、陸土、陸水（上水）、海水、海底沈積物、農畜産物（15品目）、指標植物（松葉）、水産物（8品目）、指標海洋生物（ほんだわら）の中から、県が350試料、東京電力(株)福島第一原子力発電所が83試料、福島第二原子力発電所が88試料について、全ベータ放射能（降下物、大気中水分を除く）と核種濃度の測定を実施した。

ア 東日本大震災発生日の前日（平成23年3月10日）まで

各環境試料の全ベータ放射能は、従来と同程度であり、有意の変動は認められなかった。

人工放射性核種として、セシウム-137が降下物、陸土、海水、農畜産物（牛乳、キャベツ、ばれいしょ、ぶた肉）、指標植物（松葉）、水産物（かれい類、あいなめ、さけ、すずき、しらうお）から検出されたが、従来と同程度であり、核実験の影響と判断される低いレベルであった。

また、大気中水分、陸水（上水）、海水からトリチウムが検出されたが、上水及び海水については従来と同程度であり、自然及び核実験の影響と判断される低いレベルであった。大気中水分については捕集水中濃度で比較した場合、上水及び海水と同程度であり、自然及び核実験の影響と判断される低いレベルであった。

イ 東日本大震災発生日（平成23年3月11日）以降

降下物の核種濃度の測定を行った結果、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の最大値を超えるセシウム-137等の人工放射性核種が検出され、セシウム-137の最大値は560万MBq/km<sup>2</sup>（大熊町大野）であった。

- (3) 東日本大震災発生日の前日（平成23年3月10日）までに、陸土、陸水（上水）、海水、海底沈積物、農畜産物（4品目）、水産物（3品目）、指標海洋生物（ほんだわら）の中から、県が27試料、東京電力㈱福島第一原子力発電所が8試料、福島第二原子力発電所が9試料について、ストロンチウム-90濃度の測定を実施した。

このうち、陸土、陸水（上水）、海水、海底沈積物、農畜産物（こめ、ほうれんそう、だいこん、牛乳）、水産物（わかめ）、指標海洋生物（ほんだわら）から検出されたが、従来と同程度であり、核実験の影響と判断される低いレベルであった。

- (4) 東日本大震災発生日の前日（平成23年3月10日）までに、陸土、陸水（上水）、海水、海底沈積物、農畜産物（4品目）、水産物（2品目）、指標海洋生物（ほんだわら）について、県が27試料のプルトニウム放射能濃度の測定を実施した。このうち、陸土、海水、海底沈積物、指標海洋生物（ほんだわら）から検出されたが、従来と同程度であり、核実験の影響と判断される低いレベルであった。

## 第 2 測 定 項 目

### 2-1 福島県測定分

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図-2-1-(1)、図-2-1-(2)に示す。

#### 2-1-1 空間放射線

##### 2-1-1-1(1) 空間線量率

測 定 地 点			測 定 頻 度	実 施 機 関	
広	野	町	1 地 点	連 続	原 子 力 セ ン タ ー
楯	葉	町	4 地 点		
富	岡	町	5 地 点		
大	熊	町	5 地 点		
双	葉	町	4 地 点		
浪	江	町	4 地 点		

##### 2-1-1-1(2) 空間積算線量

測 定 地 点			測 定 頻 度	実 施 機 関	
楯	葉	町	3 地 点	3 か 月 積 算	原 子 力 セ ン タ ー
富	岡	町	3 地 点		
大	熊	町	3 地 点		
双	葉	町	3 地 点		
浪	江	町	3 地 点		

#### 2-1-2 環境試料

##### 2-1-2-1(1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試 料 名 (部 位)	採 取 地 点 名	採取頻度	採取量	測 定 項 目	実施機関
降下物	降 下 物 (雨水ちり)	富岡町 <small>とみ</small> 大熊町 <small>おお</small> ※ 福島市	12回/年	大型水盤 (0.5 m <sup>2</sup> ) 1ヵ月分	ガンマ線放出核種濃度	原 子 力 セ ン タ ー
大 気	大気浮遊じん (地表上約3m)	楯葉町 <small>しげ</small> 富岡町 <small>とみ</small> 大熊町 <small>おお</small> 大熊町 <small>おつと</small> 双葉町 <small>こおり</small>	連 続	約90m <sup>3</sup> /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	
		楯葉町 <small>しげ</small> 富岡町 <small>とみ</small> 大熊町 <small>おお</small> 大熊町 <small>おつと</small> 双葉町 <small>こおり</small>	12回/年	1ヵ月分 の集じん ろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
	大気中水分 (地表上 1~1.5 m)	楯葉町 <small>しげ</small> 富岡町 <small>とみ</small> 大熊町 <small>おお</small> 大熊町 <small>おつと</small> 双葉町 <small>こおり</small> ※ 福島市	12回/年	1ヵ月分 の大気中 水分	トリチウム濃度	

区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
陸土	陸土 (表土, 0~5cm)	広野町 下北 迫倉 楯葉町 波 倉 富岡町 小 浜 大熊町 夫 沢 双葉町 郡 山 浪江町 北 幾世橋 ※福島市 ※会津若松市	2回/年 ただし, ※地点は1回/年	2kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	原子力 センター
陸水	上水 (蛇口水)	広野 楯葉 富岡 大熊 双葉 浪江 ※福島市 ※会津若松市	4回/年 ただし, ※地点は1回/年	20ℓ	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
海水	海水 (表面水)	第一(発) 取水口 " 南放水口 " 北放水口 " 沖合 おつと ざわ くま がわ おき 夫 沢・熊川 沖	2回/年 ただし, 放水口は4回/年 ※地点は1回/年	40ℓ	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	第二(発) 取水口 " 南放水口 " 北放水口 " 沖合 ※相馬市 松川浦		1ℓ	トリチウム濃度	
				3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
農畜産物	こめ (精白米)	広野町 下北 迫倉 楯葉町 波 倉 富岡町 本 岡 大熊町 夫 沢 双葉町 郡 山 浪江町 北 幾世橋 ※福島市 ※郡山市	1回/年	5kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	※地点は 原子力 センター 福島支所
	ほうれんそう (葉 茎)	広野町 下北 迫倉 楯葉町 波 倉 富岡町 小 良 浜 大熊町 夫 沢 双葉町 郡 山 浪江町 北 幾世橋 ※福島市 ※郡山市	2回/年 ただし, ※地点は1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	
	だいこん (根 部)	広野町 下北 迫倉 楯葉町 波 倉 富岡町 本 岡 大熊町 夫 沢 双葉町 郡 山 浪江町 北 幾世橋 ※福島市 ※郡山市	2回/年 ただし, ※地点は1回/年	5kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	



区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
農畜 産物	牛乳 (原乳)	楢葉町 井出 富岡町 小良ヶ浜 大熊町 下野上 浪江町 室原 ※ 福島市 ※ 郡山市	4回/年 ただし、 ※地点は2回/年	9 l	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	原子力 センター  ※地点は 原子力 センター 福島支所
	はくさい (葉茎)	楢葉町 双葉町 ※ 福島地区	1回/年	5 k g	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	原子力 センター 福島支所
	キャベツ (葉茎)	広野町 富岡町 大熊町 浪江町 ※ 福島地区				
	ばれいしょ (塊茎)	広野町 楢葉町 富岡町 大熊町 双葉町 浪江町 ※ 福島地区 ※ 郡山地区	1回/年	4 k g	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	ぶた肉	第二(発)周辺 ※ 福島地区	1回/年	4 k g	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	鶏卵 (全卵)	第一(発)周辺 第二(発)周辺 ※ 福島地区 ※ 郡山地区		4 k g (殻付)		
	しゅんぎく (葉)	双葉町	1回/年	3 k g	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	ブロッコリー (花蕾・茎)					
	こかぶ (全部)	富岡町		5 k g		
	ゆず (果実)	楢葉町				
	なし (果実)	大熊町		10 k g		
キウイフルーツ (果実)	5 k g					

区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
指標植物	松葉 (葉)	広野町 <small>かみ きた ぼ</small> 上北迫 檜葉町 <small>なみ くら</small> 波倉 富岡町 <small>け がや</small> 毛萱 大熊町 <small>おつと ざわ</small> 夫沢 大熊町 <small>お お が わ</small> 大川原 双葉町 <small>こおり やま</small> 郡山 浪江町 <small>たな しお</small> 棚塩	4回/年	1kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	原子力 センター
水産物	かれい類 (可食部)	第一(発)海域 第二(発)海域	2回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	原子力 センター  ※地点は 福島支所
	あいなめ (可食部)	うけ 戸 漁 港 請 久 之 浜 漁 港 ※ 松 川 浦 漁 港				
	さけ (可食部)	うけ 戸 漁 港 請 川 くま がわ 熊 ざわ き 戸 かわ 木 川	1回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	原子力 センター  福島支所
	すずき (可食部)	うけ 戸 漁 港 請 久 之 浜 漁 港	1回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	しらうお (全身)			3kg		
	こうなご (全身)			5kg (全身)		
	たこ (可食部)					
わかめ (葉 茎)	第一(発)海域 第二(発)海域 ※ 松 川 浦 漁 港	1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	原子力 センター  ※地点は 原子力 センター 福島支所	
ほっきがい (可食部)	うら じり おき 浦 尻 沖 第一(発)北放水口沖 第一(発)南放水口沖 おつと ざわ くま がわ おき 夫 沢 ・ 熊 川 沖 富岡川沖 うけ 戸 漁 港 請 戸 漁 港 富岡漁港 ※ 磯 部 漁 港	1回/年  ただし、海域に ついては禁漁期間 中買上げ。  漁港については 漁期中に買上げ	5kg (殻付)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度		
指標海洋生物	ほんだわら (葉 茎)	第一(発)海域 第二(発)海域	3回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	

(注) 第一(発)は東京電力(株)福島第一原子力発電所、第二(発)は東京電力(株)福島第二原子力発電所、  
※印は比較対照地点測定調査である。

2-1-2-(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度

区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	実施機関
降下物	降下物 (雨水ちり)	富岡町 <small>とみ</small> 富 <small>お</small> 岡 <small>か</small> 大熊町 <small>お</small> 大 <small>お</small> 野 <small>の</small> ※福島市	1回/年	大型水盤 (0.5 m <sup>2</sup> ) 1年分	原子力センター 福島支所
陸土	陸土 (表土, 0~5cm)	楢葉町 <small>なみ</small> 波 <small>な</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>こ</small> 小 <small>こ</small> 浜 <small>ば</small> 大熊町 <small>お</small> 夫 <small>お</small> 沢 <small>ざ</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 山 <small>や</small> ※福島市	1回/年	1kg	
陸水	上水 (蛇口水)	楢葉町 <small>なみ</small> 波 <small>な</small> 倉 <small>くら</small> 大熊町 <small>お</small> 夫 <small>お</small> 沢 <small>ざ</small> ※福島市	1回/年	100ℓ	
海水	海水 (表面水)	第一(発) 沖合 第二(発) 沖合 ※相馬市 松川浦	1回/年	40ℓ	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	第一(発) 取水口 第一(発) 沖合 おと ざわ くま がわ おき 夫 沢・熊川沖 第二(発) 取水口 第二(発) 沖合 ※相馬市 松川浦	1回/年	1kg	
農畜産物	こめ (精白米)	富岡町 <small>も</small> 本 <small>も</small> 岡 <small>お</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 山 <small>か</small> ※福島市	1回/年	1kg	
	ほうれんそう (葉茎)	富岡町 <small>お</small> 小 <small>ら</small> 良 <small>が</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 山 <small>は</small> ※福島市		1kg	
	だいこん (根部)	富岡町 <small>も</small> 本 <small>も</small> 岡 <small>お</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 山 <small>か</small> ※福島市		1kg	
	牛乳 (原乳)	楢葉町 <small>い</small> 井 <small>い</small> 出 <small>で</small> 大熊町 <small>し</small> 下 <small>し</small> の <small>の</small> 野 <small>か</small> ※福島市		2ℓ	
水産物	かれい類 (可食部)	うけ とう 漁 港 ひさ の 之 浜 漁 港 久 之 浜 漁 港	1回/年	3kg (全身)	
	あいなめ (可食部)	※松川浦漁港			
指標海洋生物	ほんだわら (葉茎)	第一(発) 海域 第二(発) 海域	1回/年	1kg	

(注) 第一(発)は東京電力㈱福島第一原子力発電所、第二(発)は東京電力㈱福島第二原子力発電所。  
※印は比較対照地点測定調査である。

2-1-2-(3) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度

区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	実施機関
降下物	降下物 (雨水ちり)	富岡町 <small>とみ</small> 富 <small>おみ</small> 岡 <small>おか</small> の野 大熊町 <small>おお</small> 大 <small>お</small> 野 ※福島市	1回/年	大型水盤 (0.5 m <sup>2</sup> ) 1年分	原子力センター 福島支所
陸土	陸土 (表土, 0~5cm)	楢葉町 <small>なみ</small> 波 <small>なみ</small> 倉 <small>くら</small> 倉 <small>くら</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>こ</small> 小 <small>こ</small> 浜 <small>はま</small> 浜 <small>はま</small> 浜 <small>はま</small> 大熊町 <small>お</small> 夫 <small>お</small> 沢 <small>ざ</small> 沢 <small>ざ</small> 沢 <small>ざ</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> ※福島市	1回/年	1kg	
陸水	上水 (蛇口水)	楢葉町 <small>なみ</small> 葉 <small>なみ</small> 熊 <small>くま</small> 熊 <small>くま</small> 市 ※福島市	1回/年	100ℓ	
海水	海水 (表面水)	第一(発) 沖合 第二(発) 沖合 ※相馬市 松川浦	1回/年	100ℓ	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	第一(発) 取水口 第一(発) 沖合 おと ざわ くま がわ おき 夫 沢・熊川沖 第二(発) 取水口 第二(発) 沖合 ※相馬市 松川浦	1回/年	3kg	
農畜産物	こめ (精白米)	富岡町 <small>も</small> 本 <small>も</small> 岡 <small>おか</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> ※福島市	1回/年	5kg	
	ほうれんそう (葉茎)	富岡町 <small>お</small> 小 <small>お</small> 良 <small>ら</small> 良 <small>ら</small> 良 <small>ら</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> ※福島市		5kg	
	だいこん (根部)	富岡町 <small>も</small> 本 <small>も</small> 岡 <small>おか</small> 双葉町 <small>こ</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> 郡 <small>お</small> ※福島市		5kg	
	牛乳 (原乳)	楢葉町 <small>い</small> 井 <small>い</small> 出 <small>で</small> 出 <small>で</small> 大熊町 <small>し</small> 下 <small>し</small> 野 <small>の</small> 野 <small>の</small> 野 <small>の</small> ※福島市		5ℓ	
水産物	かれい類 (可食部)	うけ 戸 漁 港 ひさ の 之 浜 漁 港 久 之 浜 漁 港	1回/年	5kg (全身)	
	あいなめ (可食部)	※松川浦漁港			
指標海洋生物	ほんだわら (葉茎)	第一(発) 海域 第二(発) 海域	1回/年	5kg	

(注) 1 対象プルトニウム核種は、<sup>239</sup>Pu及び<sup>240</sup>Puとする。

2 第一(発)は東京電力(株)福島第一原子力発電所、第二(発)は東京電力(株)福島第二原子力発電所。

※印は比較対照地点測定調査である。

図 2-1-(1) 環境放射能等測定地点



図2-1-(2) 環境試料採取地点



## 2-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図2-2-(1)、図2-2-(2)に示す。

### 2-2-1 空間放射線

#### 2-2-1-1 (1) 空間線量率

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	8地点	連続	東京電力(株) 福島第一原子力発電所

#### 2-2-1-1 (2) 空間積算線量

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	8地点	3か月積算	東京電力(株) 福島第一原子力発電所
発電所敷地外	8地点		

### 2-2-2 環境試料

#### 2-2-2-1 (1) 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん (地表上約3m)	発電所敷地境界付近	連続	約90m <sup>3</sup> /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力(株) 福島第一 原子力 発電所
			12回/年	1か月分 の集じん ろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
陸 土	陸 土 (表土, 0~5cm)	発電所敷地内 大熊町 下の野 大熊町 熊野川 双葉町 郡山	2回/年	2kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
					海 水	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	発電所取水口 発電所取水口スクリーン前面 発電所南放水口 発電所北放水口	2回/年 4回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
					農畜産物	
ほうれんそう (葉 茎)	大熊町 夫沢 大 双葉町 郡山 堂ノ上	2回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)		
				だいこん (根 部)		
牛 (原 乳)	大熊町 下の野 上	4回/年	9ℓ			

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
指標植物	松葉 (葉)	M P - 3 付近 M P - 8 付近	4回/年	1kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	東京電力(株) 福島第一 原子力 発電所
水産物	あいなめ (可食部)	発電所放水口付近	2回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	かれい類 (可食部)		1回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	しらうお (全身)		1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	ほっきがい (可食部)	発電所南放水口付近 発電所北放水口付近	1回/年	5kg (殻付)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	わかめ (葉茎)	発電所放水口付近	1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	
指標海洋生物	ほんだわら (葉茎)		3回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	

### 2-2-2-(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	実施機関
陸土	陸土 (表土, 0~5cm)	発電所敷地内	1回/年	1kg	東京電力(株) 福島第一 原子力 発電所
海水	海水 (表面水)	発電所取水口 発電所南放水口	1回/年	40ℓ	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	発電所取水口 発電所南放水口	1回/年	1kg	
農畜産物	こめ (精白米)	大熊町 夫沢 大	1回/年	1kg	
	ほうれんそう (葉茎)	大熊町 夫沢 大			
	だいこん (根部)	大熊町 夫沢 大			
	牛乳 (原乳)	大熊町 下野 上		2ℓ	
水産物	しらうお (全身)	発電所放水口付近	1回/年	1kg	
	ほっきがい (可食部)	発電所南放水口付近		5kg (殻付)	
	わかめ (葉茎)	発電所放水口付近		1kg	



図 2 - 2 - ( 1 ) 環境放射能等測定地点

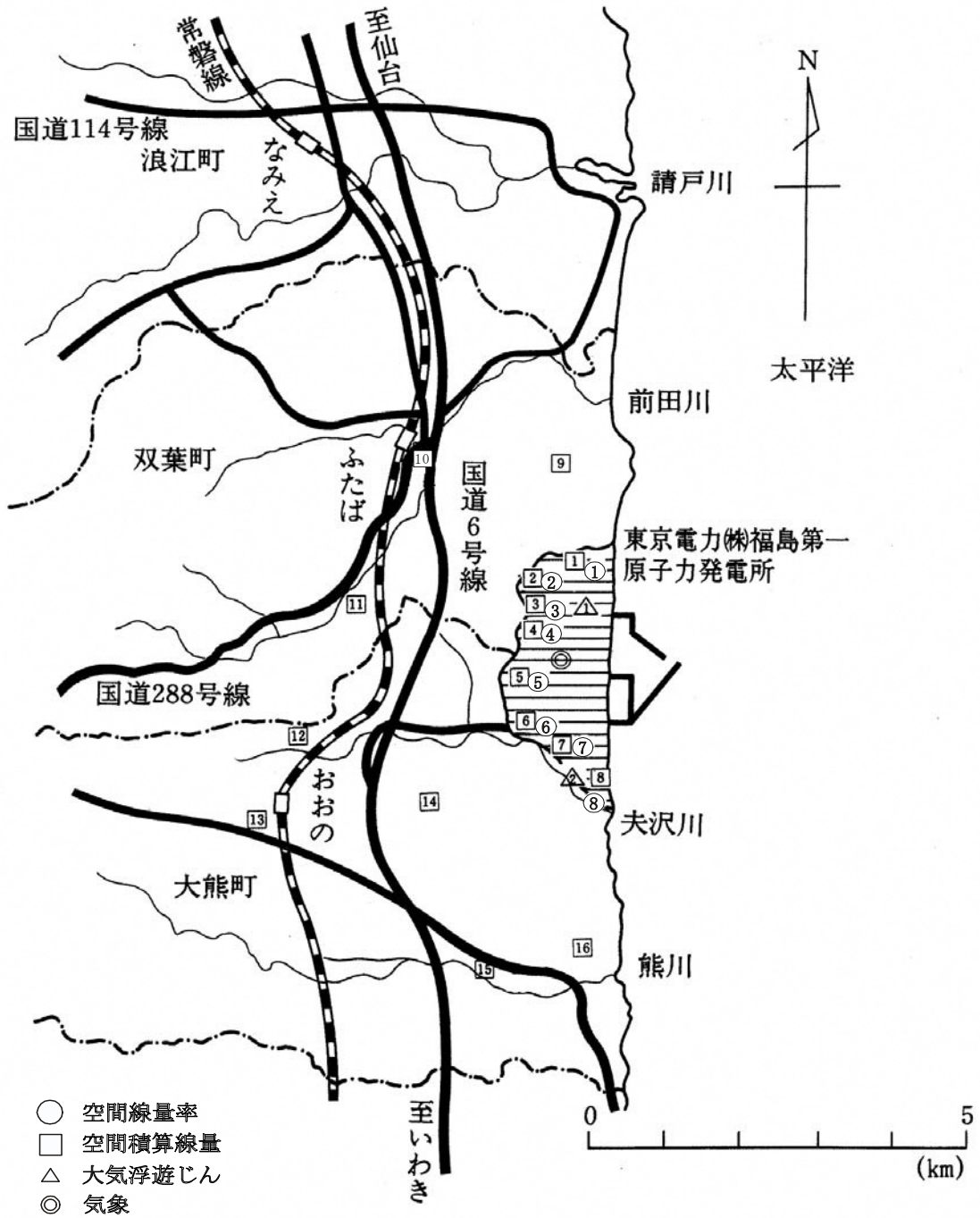
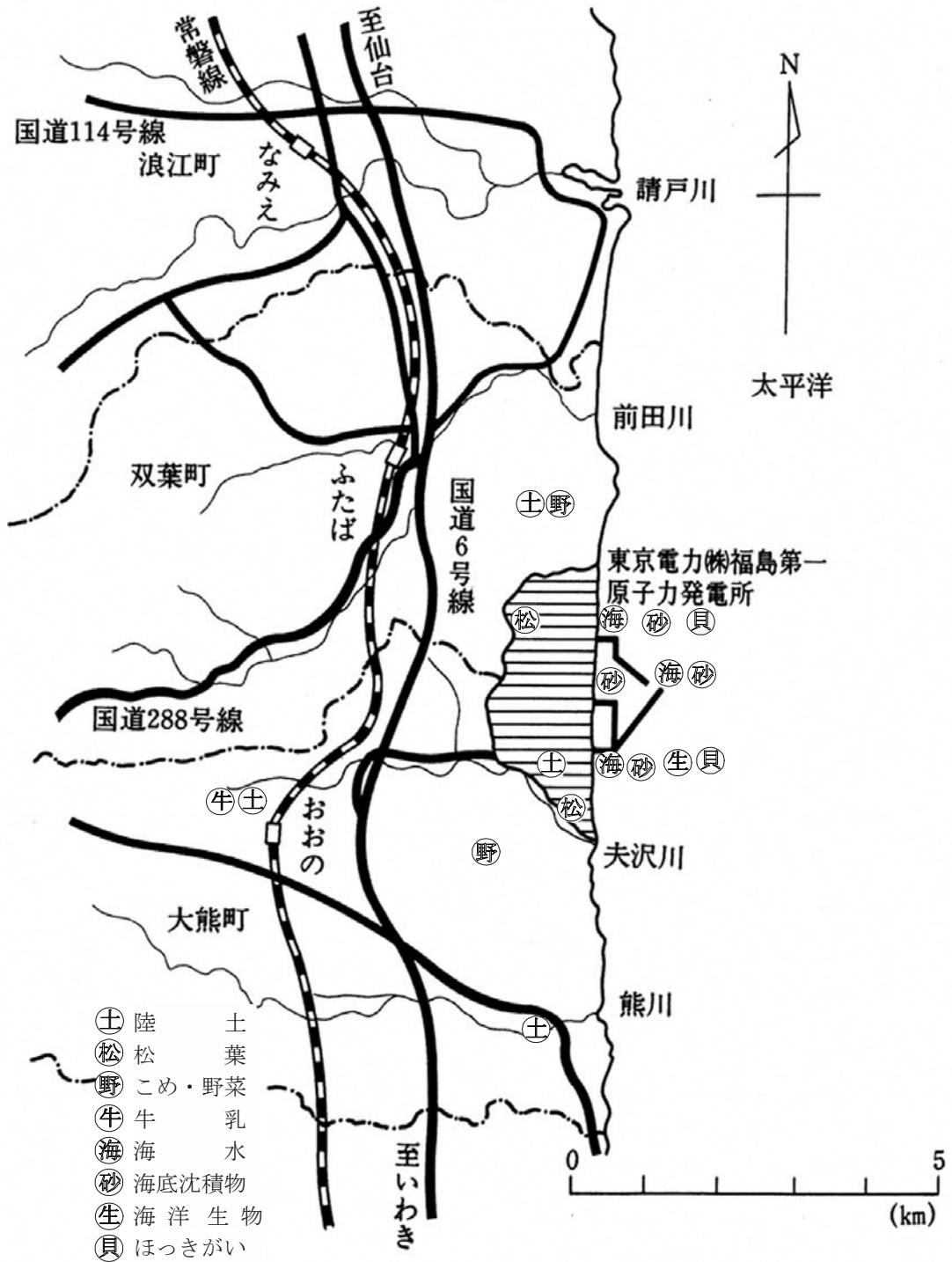


図 2 - 2 - ( 2 ) 環境試料採取地点



**2-3 東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分**

測定項目は、以下に示すとおりであり、測定及び採取地点については、図2-3-(1)、図2-3-(2)に示す。

**2-3-1 空間放射線**

**2-3-1-1 空間線量率**

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	連続	東京電力(株) 福島第二原子力発電所

**2-3-1-2 空間積算線量**

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	3か月積算	東京電力(株) 福島第二原子力発電所
発電所敷地外	8地点		

**2-3-2 環境試料**

**2-3-2-1 環境試料中の全アルファ放射能、全ベータ放射能及び核種濃度**

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん (地表上約3m)	発電所敷地境界付近 敷地外	連続	約90m <sup>3</sup> /6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力(株) 福島第二 原子力 発電所
			12回/年	1ヶ月分 の集じん ろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
陸 土	陸 土 (表土, 0~5cm)	敷 地 内 楢葉町 <small>なま</small> 波 <small>なみ</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>ほとけ</small> 仏 <small>はま</small> 浜 <small>はま</small> 富岡町 <small>しも</small> 下 <small>こおり</small> 郡 <small>やま</small> 山	2回/年	2kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
			4回/年	40ℓ	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
					トリチウム濃度	
海 水	海 水 (表面水)	発電所取水口 発電所南放水口 発電所北放水口	4回/年	40ℓ	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
					1ℓ	
			2回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
4回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度					
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	発電所取水口スクリーン前面 発電所南放水口 発電所北放水口	2回/年 4回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
農畜産物	こ め (精白米)	楢葉町 <small>なま</small> 波 <small>なみ</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>しも</small> 下 <small>こおり</small> 郡 <small>やま</small> 山	1回/年	5kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	ほうれんそう (葉茎)	楢葉町 <small>なま</small> 波 <small>なみ</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>しも</small> 下 <small>こおり</small> 郡 <small>やま</small> 山	2回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	
	だ い こ ん (根部)	楢葉町 <small>なま</small> 波 <small>なみ</small> 倉 <small>くら</small> 富岡町 <small>しも</small> 下 <small>こおり</small> 郡 <small>やま</small> 山	1回/年	5kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	牛 乳 (原乳)	楢葉町 <small>しも</small> 下 <small>しげ</small> 繁 <small>お</small> か 富岡町 <small>お</small> ら <small>ら</small> 良 <small>はま</small> ヶ <small>はま</small> 浜	4回/年	9ℓ	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
指標植物	松葉 (葉)	発電所敷地南境界付近 発電所敷地北境界付近	4回/年	1kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	東京電力(株) 福島第二 原子力 発電所
水産物	あいなめ (可食部)	発電所放水口付近	2回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	かれい類 (可食部)		1回/年	5kg (全身)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	しらうお (全身)		1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	ほっきがい (可食部)	発電所北放水口付近	1回/年	5kg (殻付)	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
指標海洋生物	わかめ (葉茎)	発電所放水口付近	1回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	
	ほんだわら (葉茎)		3回/年	3kg	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	

### 2-3-2-(2) 環境試料中のストロンチウム-90濃度

区分名	試料名(部位)	採取地点名	採取頻度	採取量	実施機関
陸土	陸土 (表土, 0~5cm)	発電所敷地内	1回/年	1kg	東京電力(株) 福島第二 原子力 発電所
海水	海水 (表面水)	発電所取水口 発電所北放水口	1回/年	40ℓ	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)	発電所取水口 発電所北放水口	1回/年	1kg	
農畜産物	こめ (精白米)	楢葉町 波倉	1回/年	1kg	
	ほうれんそう (葉茎)	楢葉町 波倉			
	だいこん (根部)	楢葉町 波倉			
	牛乳 (原乳)	富岡町 小良ヶ浜		2ℓ	
水産物	しらうお (全身)	発電所放水口付近	1回/年	1kg	
	ほっきがい (可食部)			5kg (殻付)	
	わかめ (葉茎)			1kg	

図-2-3-(1) 環境放射能等測定地点

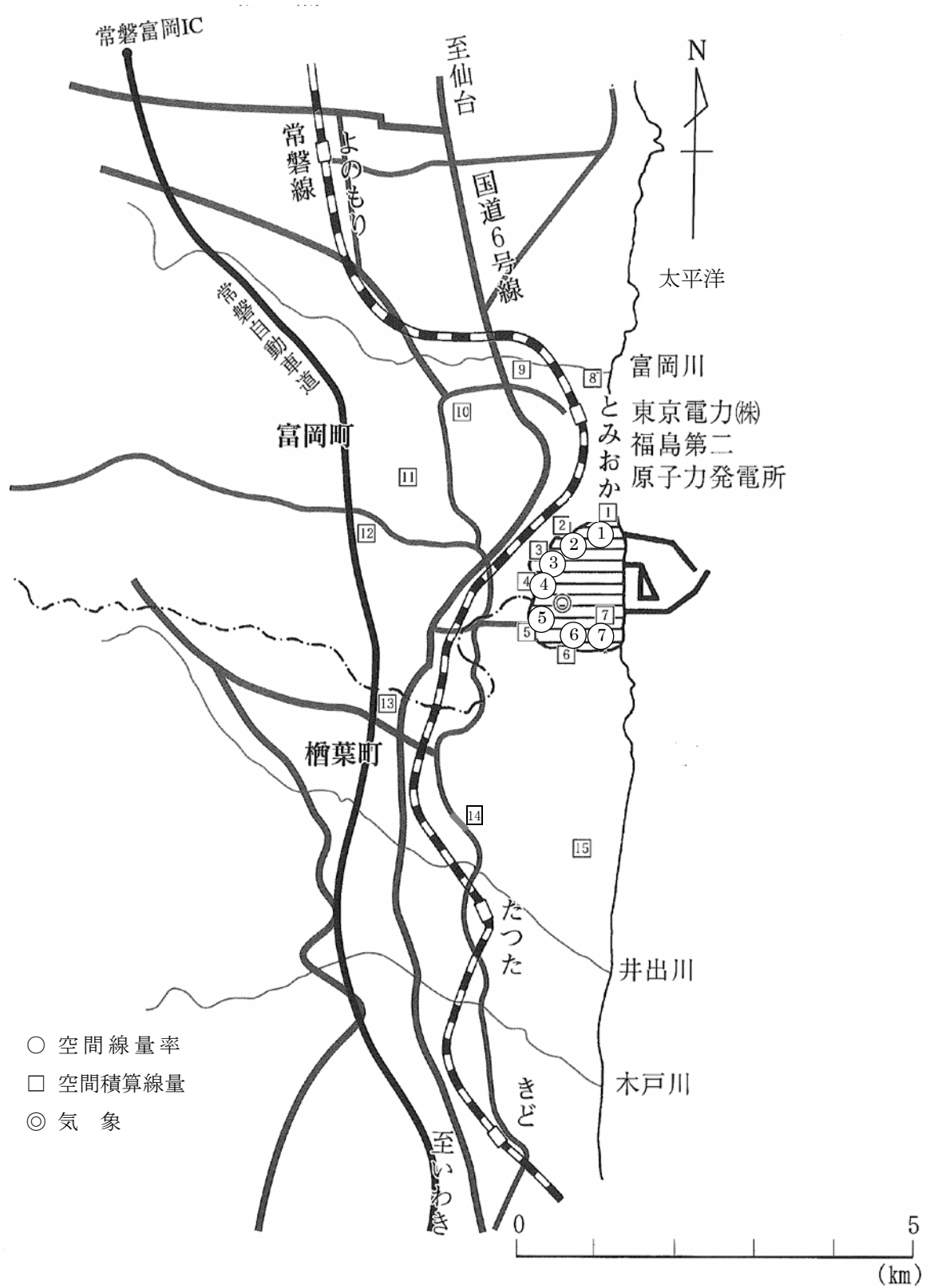
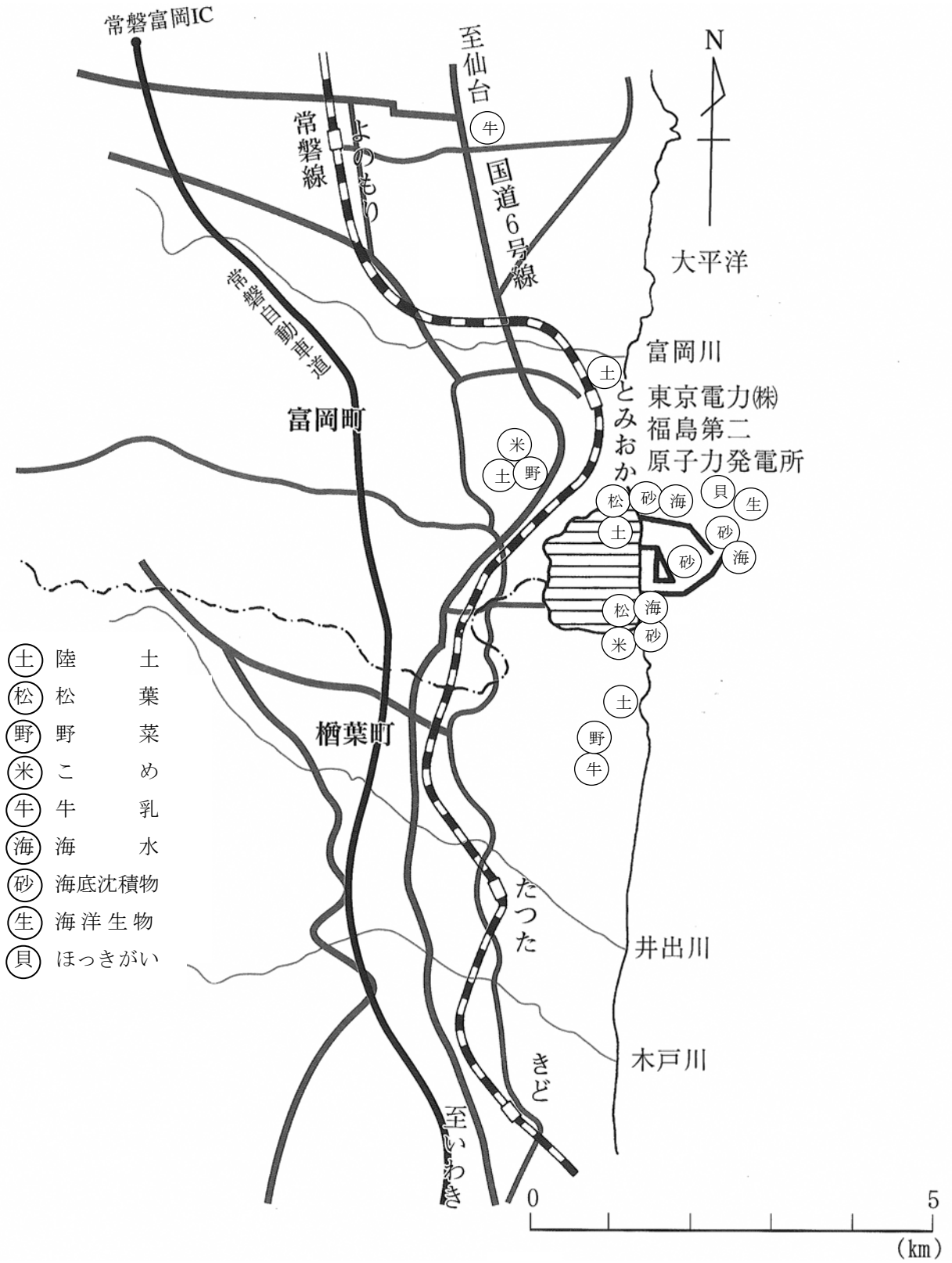


図2-3-(2) 環境試料採取地点



### 第 3 測 定 方 法

#### 3-1 福島県測定分

測定項目		測定装置	測定方法
空間 放射 線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (Alokaまたは東芝、温度補償・エネルギー補償回路付) 測定位置：地表上約3m 校正線源：Ra-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計、旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環 境	大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式、使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m <sup>3</sup> /6時間 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータのほり合わせ検出器(Aloka ADC-121, 応用光研工業 S-2416S-KF) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U <sub>3</sub> O <sub>8</sub>
	全ベータ放射能	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：Aloka LBC-4202 (福島支所) Aloka LBC-472-Q 校正線源：KCl, 海水はU <sub>3</sub> O <sub>8</sub>
試 料	核種濃度	Ge半導体検出装置  ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 陸土・海底沈積物は乾燥後、大気浮遊じんの1ヵ月分集じんろ紙・農畜産物・指標植物・水産物・指標海洋生物は450℃で灰化後、大型水盤による降下物・陸水は蒸発乾固濃縮後、海水はリンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン共沈法で処理後測定。ただし、農産物・指標植物・指標海洋生物のI-131については、乾燥試料で、牛乳のI-131については、化学分離法により測定。大気中水分・陸水・海水のトリチウムは蒸留後測定。 測定器：Ge半導体検出器(キャンベラGC3019-7500RDC他3台) 波高分析器(キャンベラDSA-1000型MCA(4096ch)4台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(Aloka LSC-LB5)2台 (福島支所) Ge半導体検出器(ORTEC GEM30185型2台) 波高分析器(SEIKO EG&G 7700(4096ch)2台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(Aloka LSC-LB5)
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法による。 測定器：Aloka LBC-472-Q、LBC-4202B 校正線源：Sr-90
	プルトニウム放射能濃度	シリコン半導体検出装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)に定めるイオン交換法による。 測定器：SEIKO EG&G 576A-450UH型2台、NS-920-8(1024ch) 校正線源：Np-239、Am-241、Cm-244

3-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分

	測定項目	測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：2"φ×2"NaI (Tl) シンチレーション検出器 (Aloka 温度補償・エネルギー補償回路付) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Ra-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計, 旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境	大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式、使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m <sup>3</sup> /6時間 検出器：ZnS (Ag) シンチレータとプラスチックシンチレータのはり合わせ検出器 (Aloka ADC-121R2) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> 、Am-241
	全ベータ放射能	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：Aloka LBC-481-Q, LBC-482-Q 校正線源：KCl、海水はU <sub>3</sub> O <sub>8</sub>
試料	核種濃度	Ge半導体検出装置 ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 陸土・海底沈積物は乾燥後、大気浮遊じんの1カ月の集じんろ紙、農畜産物・指標植物・水産物・指標海洋生物は450℃で灰化後、海水はリンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン共沈法で処理後測定。ただし、農産物・水産物・指標海洋生物のI-131については乾燥試料で、牛乳のI-131については、化学分離法により測定。 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測定器：Ge半導体検出器 (ORTEC GEM28-S型 他3台) 波高分析器 (SEIKO EG&G 7600シリーズ(4096ch) 4台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (Aloka LSC-LBIII、LSC-LB5B)
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうちイオン交換法(平成15年改訂) 測定器：Aloka LBC-481-Q 校正線源：Sr-90



3-3 東京電力（株）福島第二原子力発電所測定分

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：2"φ×2"NaI (Tl) シンチレーション検出器 (Aloka 温度補償・エネルギー補償回路付) 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Ra-226
	空間線量 積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ線量測定法」（平成14年制定） 検出器：蛍光ガラス線量計、旭テクノグラス SC-1 測定器：旭テクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境	大気 浮遊じん の全アルファ 及び 全ベータ 放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全 ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式、使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m <sup>3</sup> /6時間 検出器：ZnS (Ag) シンチレータとプラスチックシン チレータのほり合わせ検出器 (Aloka ADC-121R2) 採取位置：地表上約3m 校正線源：U <sub>3</sub> O <sub>8</sub>
	全ベータ 放射能	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」 (昭和51年改訂) 測定器：Aloka LBC-481-Q, LBC-482-Q 校正線源：KCl、海水はU <sub>3</sub> O <sub>8</sub>
試料	核種濃度	Ge半導体検出装置 ローバックグラウンド 液体シンチレーション 検出装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器による ガンマ線スペクトロメトリー」（平成4年改訂） 陸土・海底沈積物は乾燥後、大気浮遊じんの1カ 月の集じんろ紙、農畜産物・指標植物・水産物・ 指標海洋生物は450℃で灰化後、海水はリンモリブ デン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン共沈法 で処理後測定。ただし、農産物・水産物・指標海 洋生物のI-131については乾燥試料で、牛乳の I-131については、化学分離法により測定。 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測定器：Ge半導体検出器 (ORTEC GEM28-S型 他3台) 波高分析器 (SEIKO EG&G 7600シリーズ(4096ch)4台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (Aloka LSC-LBIII), (Aloka LSC-LB5B)
	ストロンチウム-90 濃度	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」 のうちイオン交換法 (平成15年改訂) 測定器：Aloka LBC-481-Q 校正線源：Sr-90

# 第4 測定結果

## 4-1 福島県測定分

### 4-1-1 空間放射線

#### 4-1-1-(1) 空間線量率

今年度の測定結果を表4. 1に示す。

東日本大震災に伴う停電等によるデータの欠測があったが、各測定地点の年間平均値は、37～8,594 nGy/h、最大値は80～1,591,066 nGy/hであり、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値を大きく上回る値が観測された。

表4.1 空間線量率の測定結果（年間平均値等及び最大値）

（単位 nGy/h）

No.	測定地点名	震災前測定値 (H22. 4. 1～ H23. 3. 10)		震災後測定値 (H23. 3. 11～ H23. 3. 31)		今年度測定値 (年間平均値)		過去の測定値の 範囲 *3	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
1	ふたつぬま 広野町二ツ沼	43	102	4,672	54,607	309	54,607	40～42	73～101
2	やまだおか 楢葉町山田岡	44	90	3460	146,000	240	146,000	43～45	68～87
3	しげおか 楢葉町繁岡	51	120	3,376	118,852	92	118,852	41～45	63～104
4	しょうかん 楢葉町松館	41	107	8,069	49,265	503	49,265	40～41	69～92
5	なみくら 楢葉町波倉	36	69	153	5,497	38	5,497	37～42	59～143
6	かみこおりやま 富岡町上郡山	37	80	37	42	37	80	35～36	49～69
7	しもこおりやま 富岡町下郡山	43	102	81	2,984	43	2,984	42	72～111
8	ほとけはま 富岡町仏浜	37	85	37	37	37	85	35～39	59～136
9	とみおか 富岡町富岡	43	103	46	61	43	103	39～44	60～111
10	よのもり 富岡町夜の森	42	95	4,420	186,000	102	186,000	41～42	67～106
11	くまがわ 大熊町熊川	37	98	36	37	37	98	36～37	64～138
12	むかいはた 大熊町向畑	40	99	110	1,759	41	1,759	37～42	61～99

No.	測定地点名	震災前測定値 (H22. 4. 1～ H23. 3. 10)		震災後測定値 (H23. 3. 11～ H23. 3. 31)		今年度測定値 (年間平均値)		過去の測定値の 範囲 *3	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
13	大熊町南台 <small>みなみだい</small>	39	85	301	7,273	41	7,273	38	71～133
14	大熊町大野 <small>おおの</small>	41	92	20,245	390,454	372	390,454	39～44	55～86
15	大熊町夫沢 <small>おとぎわ</small>	41	90	624	12,968	47	12,968	36～40	59～157
16	双葉町山田 <small>やまだ</small>	44	100	148,521	1,018,174	8,594	1,018,174	42～48	69～105
17	双葉町郡山 <small>こおりやま</small>	40	95	6,822	72,452	91	72,452	41～42	71～102
18	双葉町新山 <small>しんざん</small>	42	85	176,000	904,000	2,070	904,000	42～43	71～89
19	双葉町上羽鳥 <small>かみはとり</small>	39	91	58,454	1,591,066	628	1,591,066	39～40	70～101
20	浪江町請戸 <small>うけど</small>	37	83	37	37	37	83	37～38	69～137
21	浪江町棚塩 <small>たなしお</small>	51	103	51	52	51	103	49～52	74～146
22	浪江町浪江 <small>なみえ</small>	45	89	9,380	134,000	582	134,000	44～52	71～88
23	浪江町幾世橋 <small>きよはし</small>	39	78	4,920	59,700	91	59,700	39～42	59～90

注) \*1 「平均値」は、測定期間内の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して算出。

\*2 「最大値」は、1時間値の最大の値。

\*3 「過去の測定値の範囲」の適用期間は、温度補償型検出器への更新、局舎建設等の終了、局舎を移転した年度以降の期間～前年度末日まで。

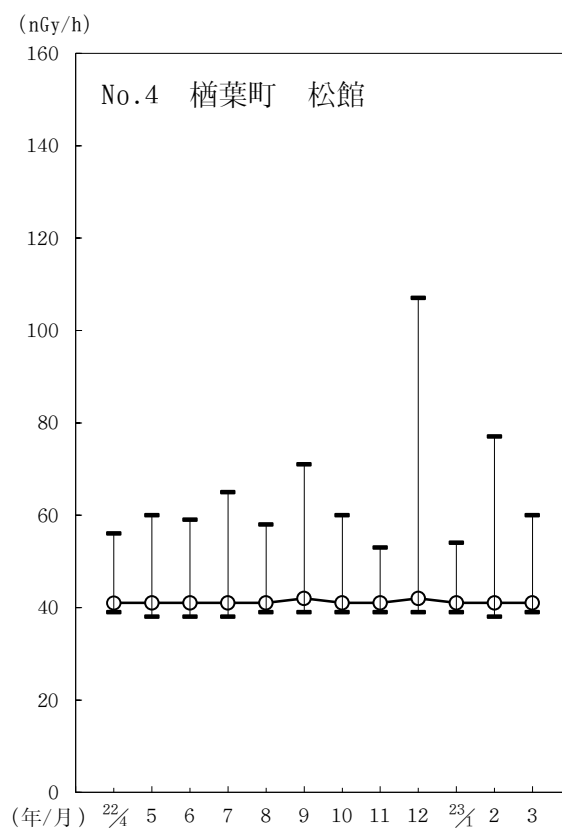
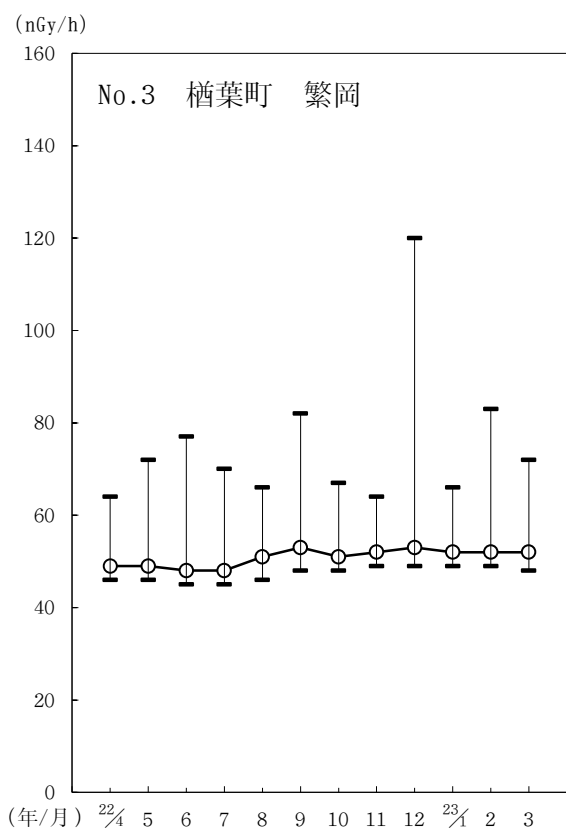
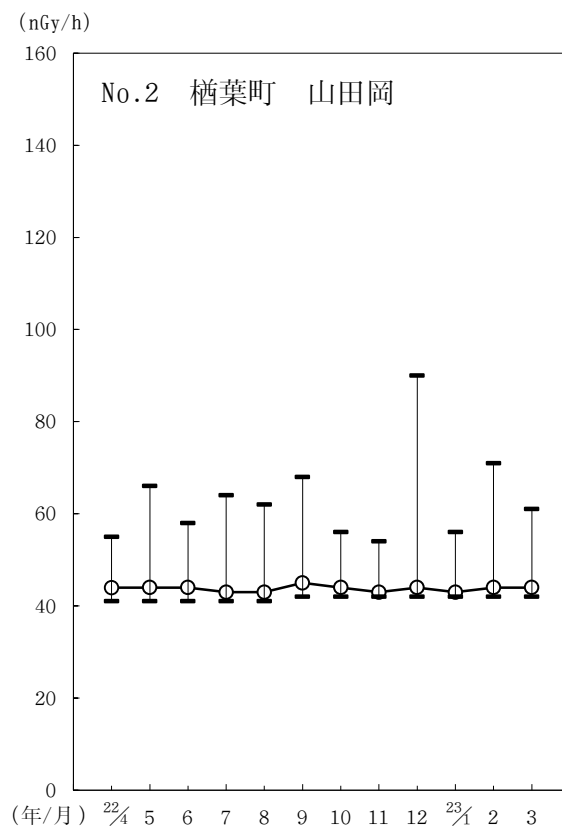
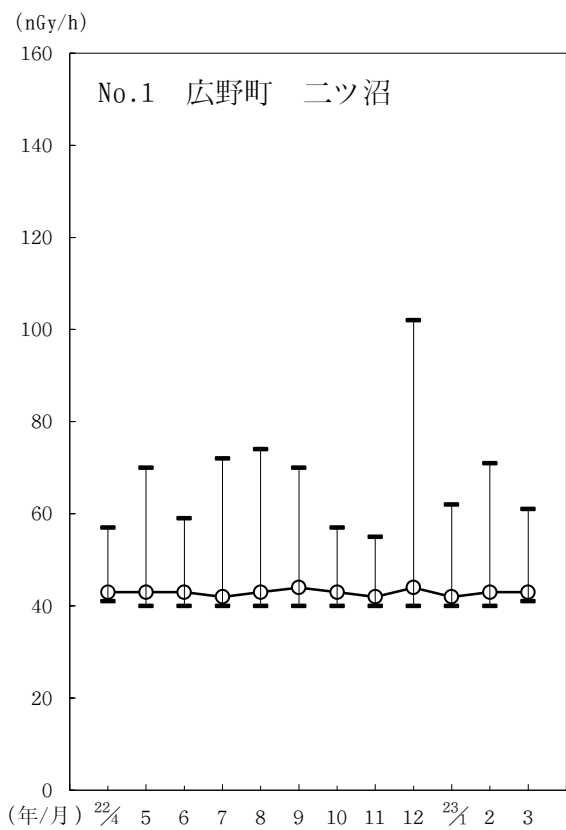
No.5, 8, 9 : 昭和55年度～平成21年度、	No.3 : 昭和56年度～平成21年度、
No.12, 14, 15, 16 : 昭和58年度～平成21年度、	No.21, 22, 23 : 昭和61年度～平成21年度、
No.1, 2, 4, 7, 10, 11, 13, 18, 19, 20 : 平成13年度～平成21年度、	
No.17 : 平成16年度～平成21年度、	No.6 : 平成19年度～平成21年度

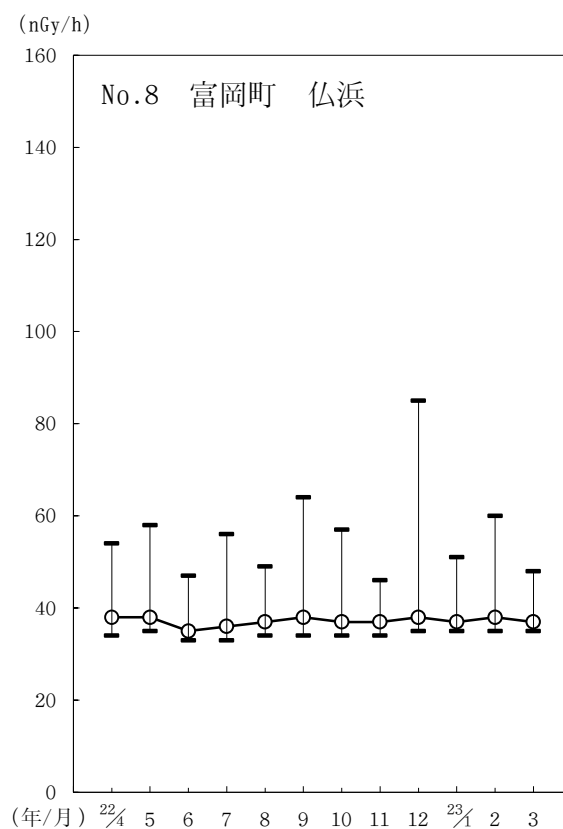
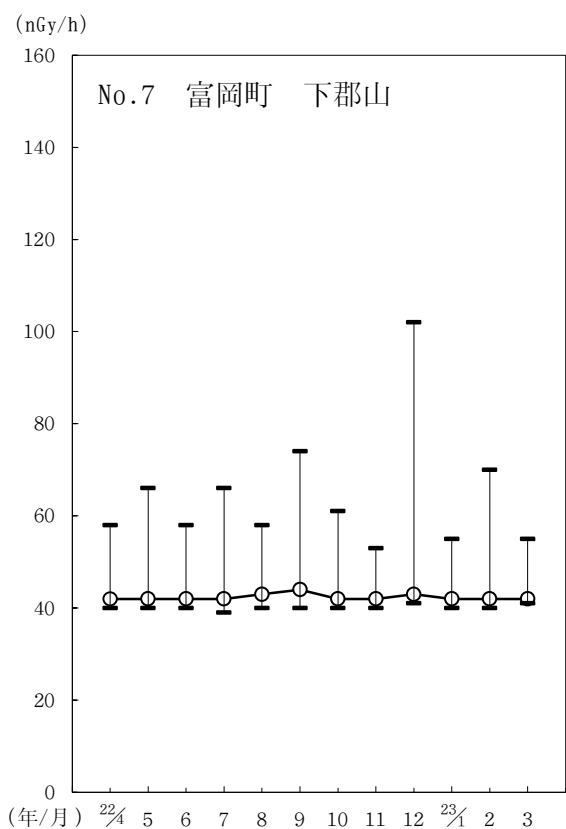
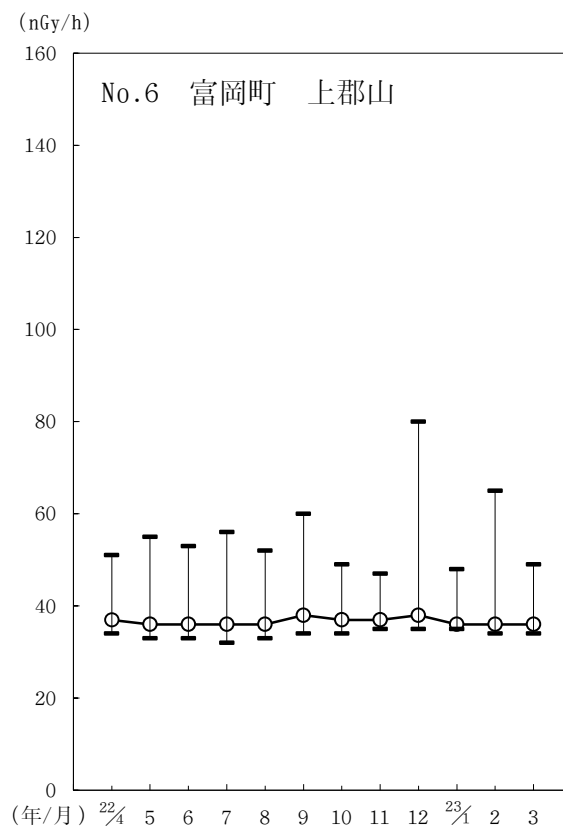
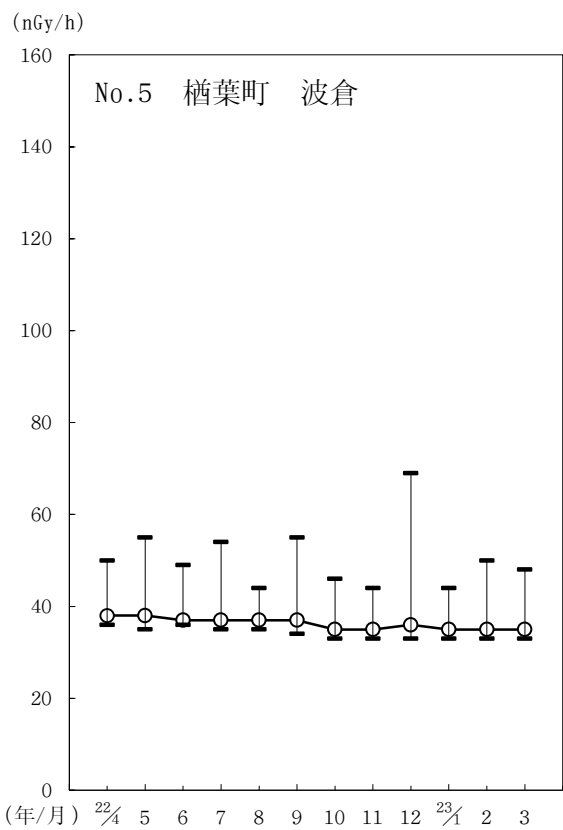
\*4 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaI(Tl)シンチレーション検出器, 単位: ナノグレイ/時) により行ったが、10,000 nGy/h (10 μGy/h) を超えた場合は、併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器, 単位: ナノグレイ/時) の測定値で補完。

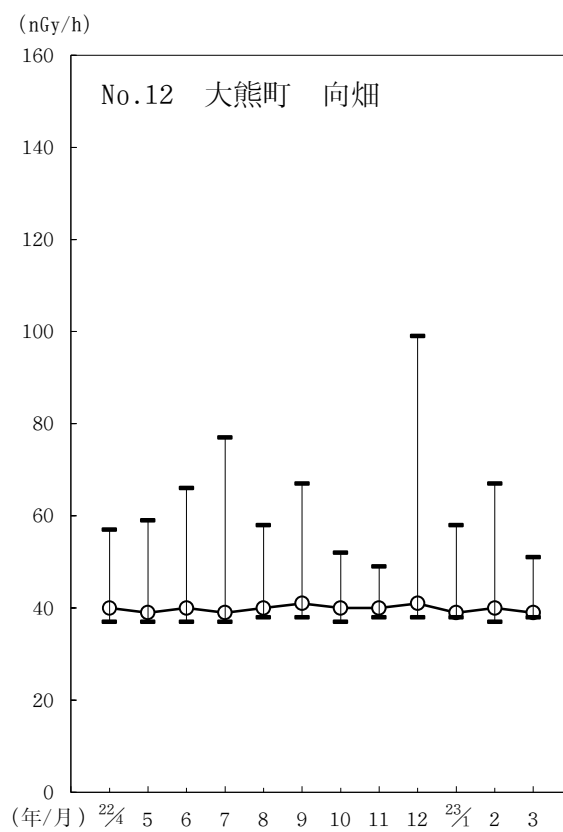
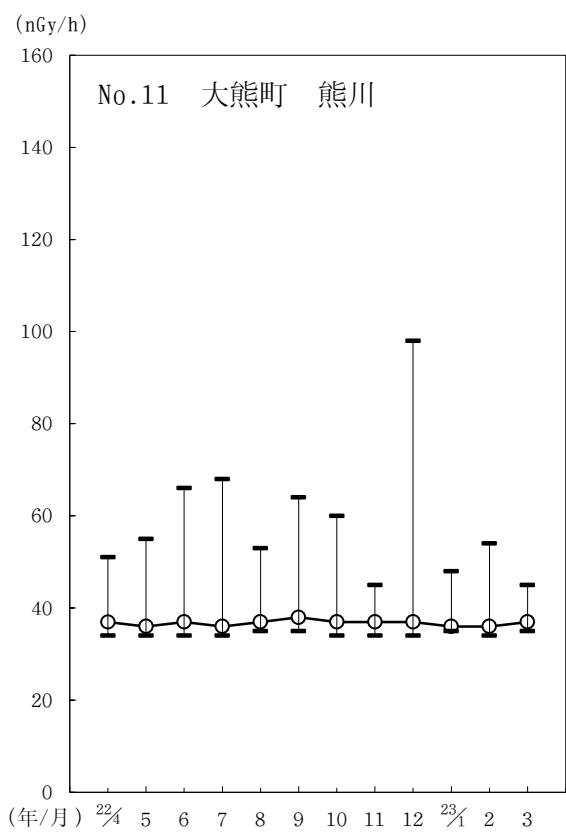
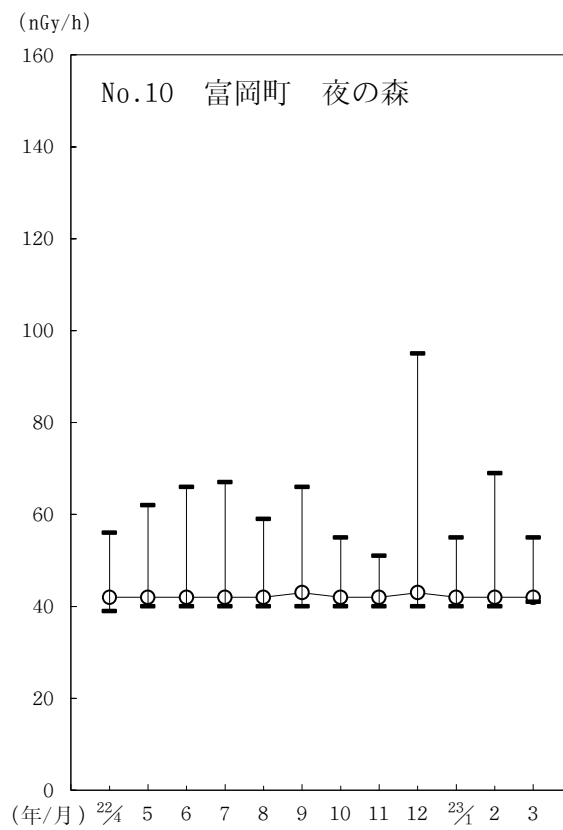
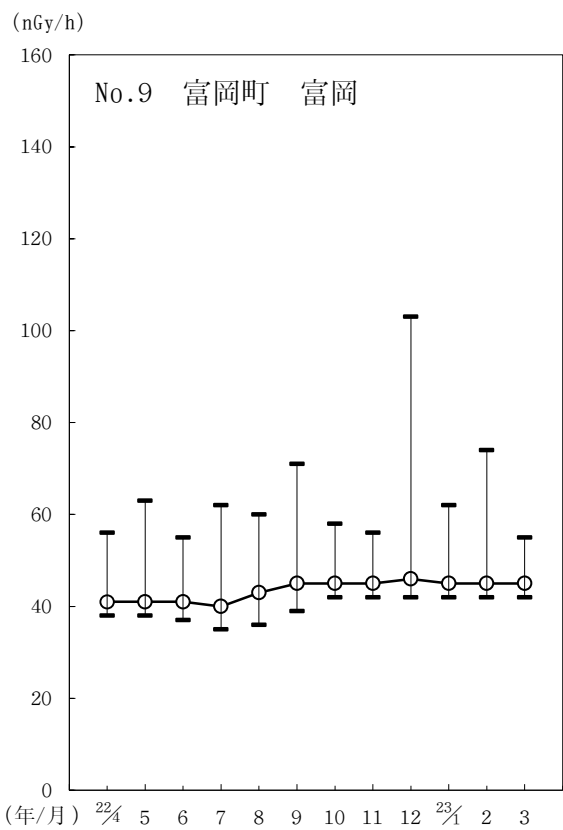
\*5 東日本大震災に伴い停電となり、自家用電源が途絶えてから、欠測となった。

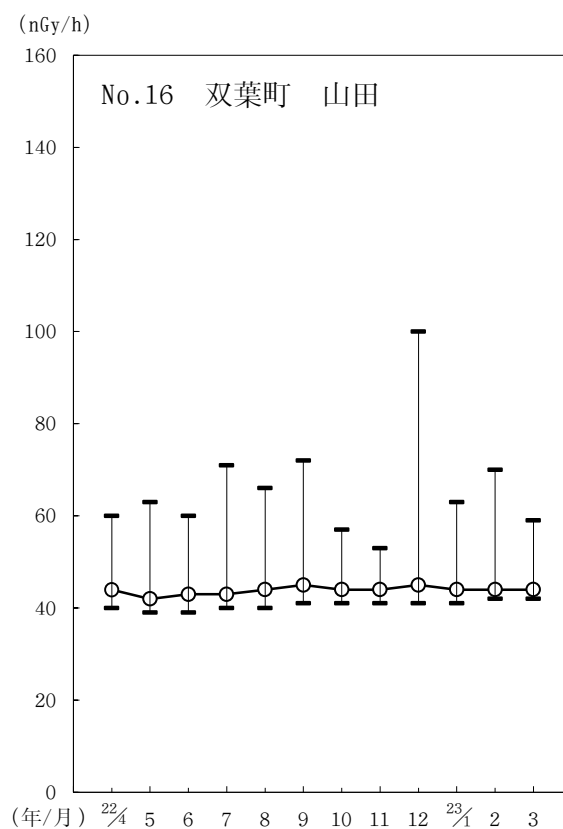
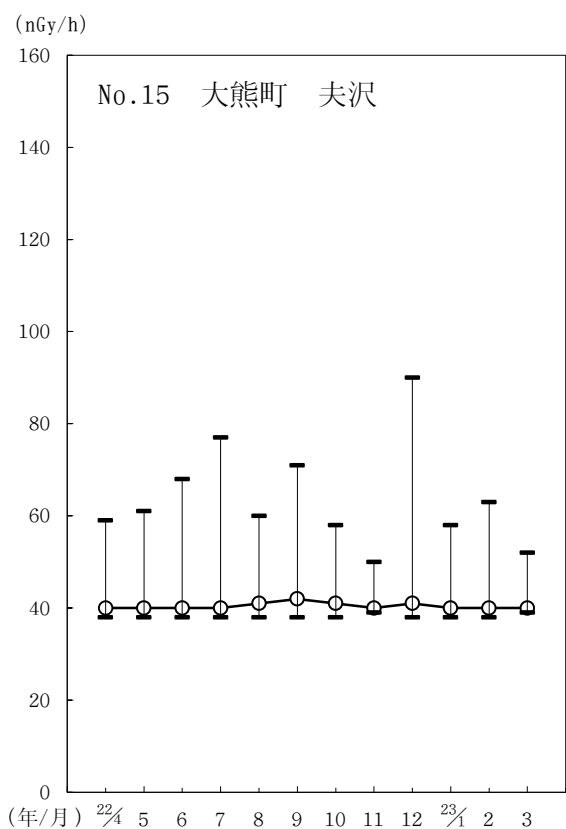
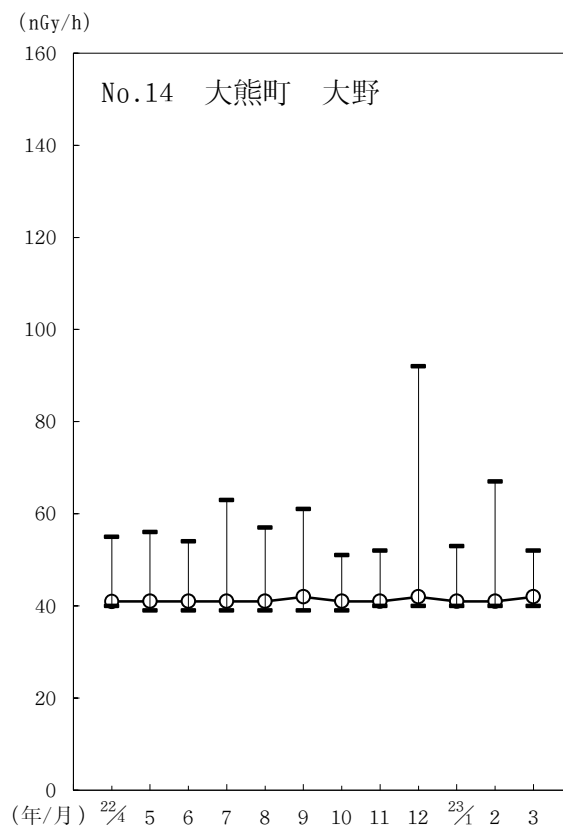
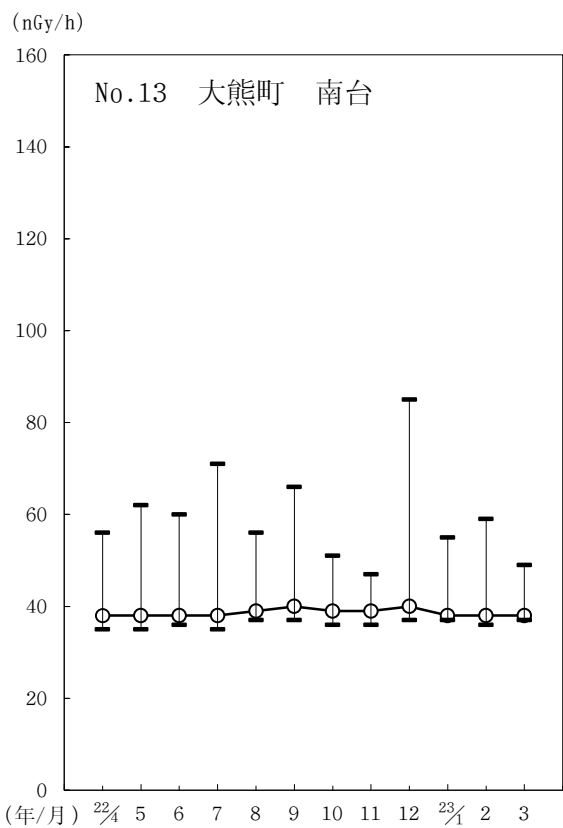
\*6 東日本大震災で発生した津波により局舎が流失したため、欠測となった。

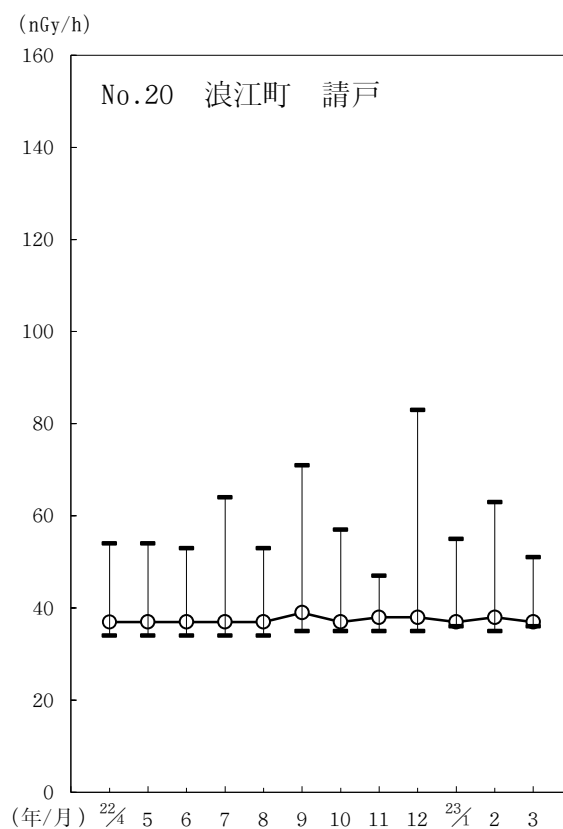
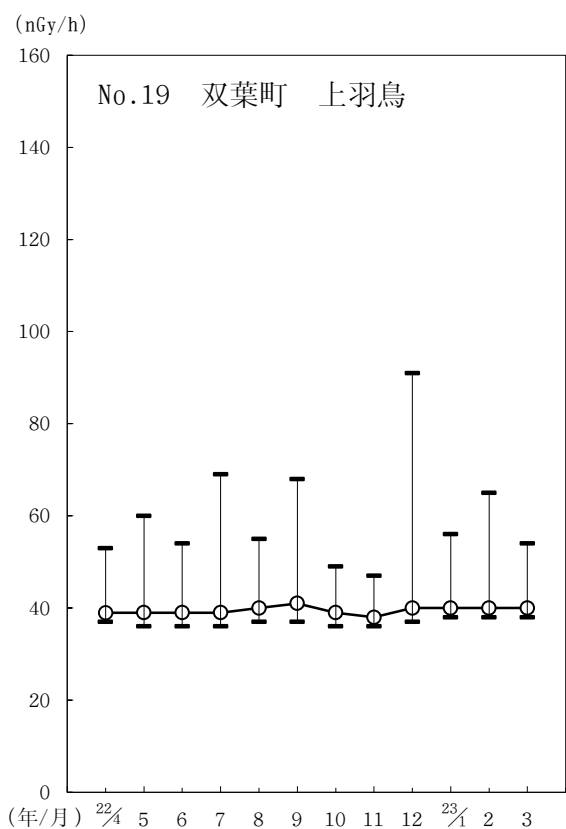
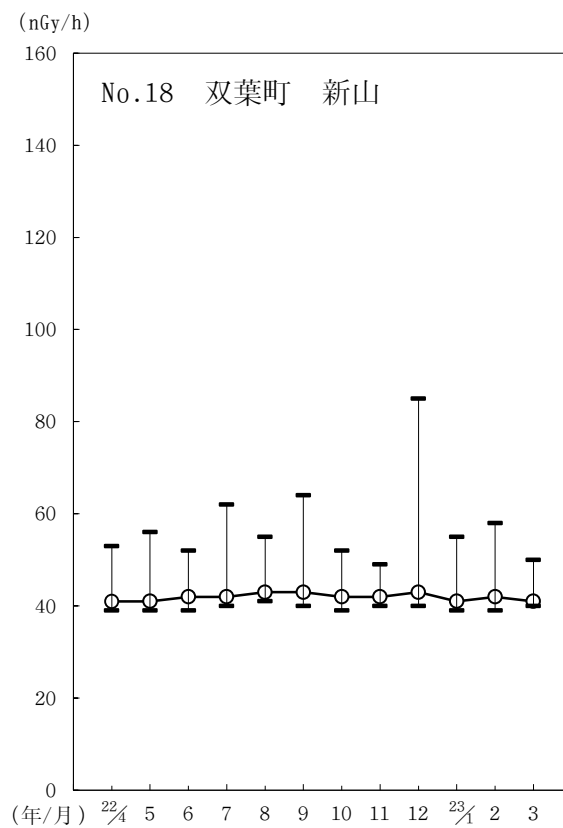
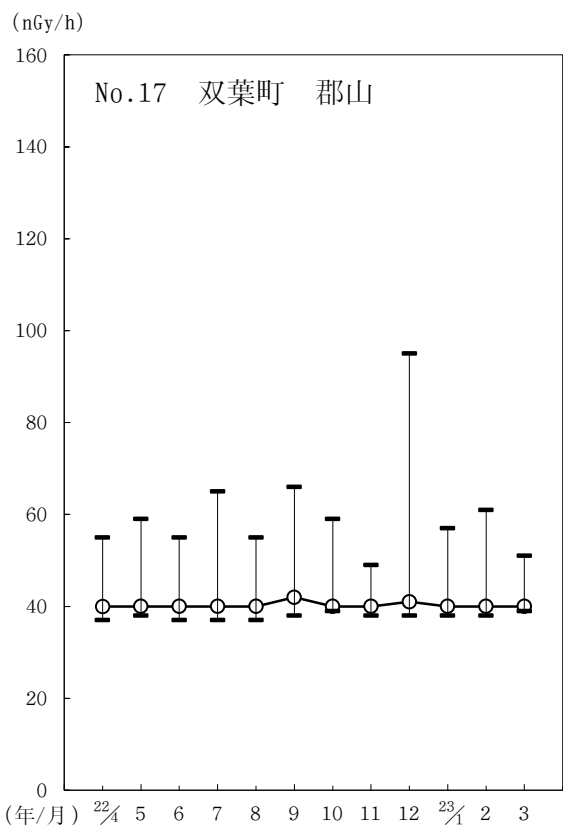
図4. 1 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移



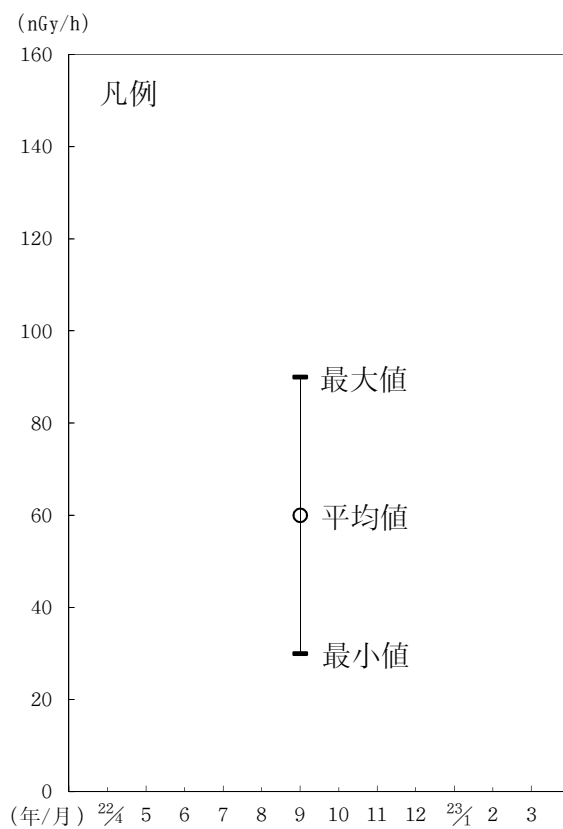
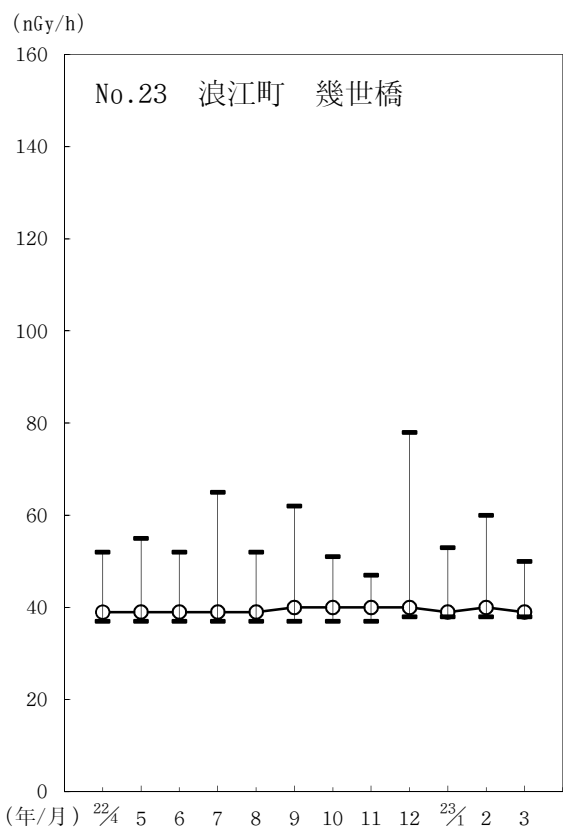
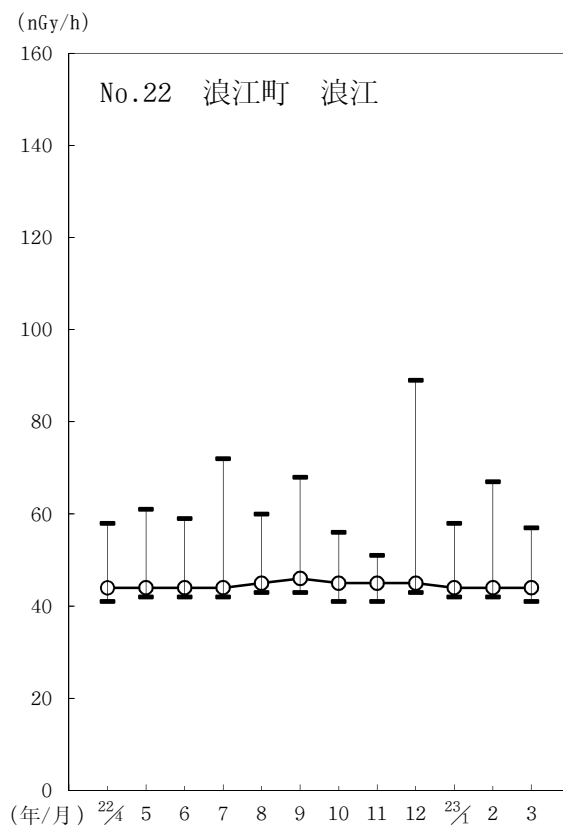
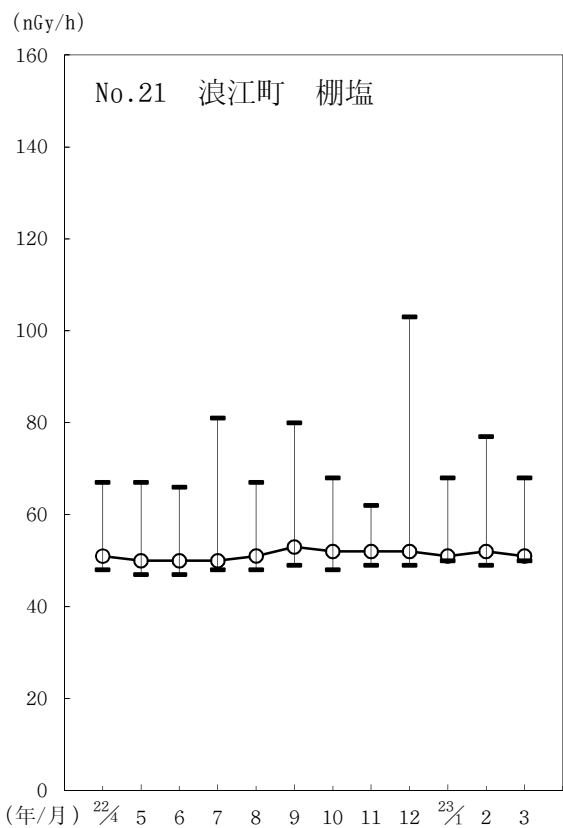












※東日本大震災の影響があった期間を除く3月10日までのデータを使用。

#### 4-1-1-(2) 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値\*1）を表 4.2 に示す。

今年度の測定値は全地点で過去の測定値を上回り、最大値は大熊町長者原の 130.94mGy で、最小値は浪江町幾世橋の 2.35mGy であり、福島第一原子力発電所事故の影響によるものと考えられる。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図 4.2 に示す。

なお、「TLDによる過去の測定値の範囲」は、平成 14 年度まで測定に用いていた熱蛍光線量計（TLD）によるものを参考値としている。

表 4.2 空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位 mGy）

No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値*2	TLDによる過去の測定値の範囲 (参考値)
1	檜葉町 やまだおか 山田岡	3.39	0.51～0.52	0.53～0.64
2	檜葉町 い で 井 出	4.56	0.53～0.55	0.53～0.64
3	檜葉町 かみしげおか 上 繁 岡	7.31	0.50～0.52	0.50～0.64
4	富岡町 お お た 太 田	7.86	0.48～0.51	0.49～0.62
5	富岡町 おらがはま 小良ヶ浜	26.82	0.47～0.52	0.46～0.59
6	富岡町 よのもりきた 夜の森北	20.92	0.47～0.48	0.45～0.58
7	大熊町 くまがわ 熊 川	—*4	0.48～0.52	0.52～0.67
8	大熊町 の が み 野 上	19.38	0.53～0.56	0.52～0.70
9	大熊町 ちょうじやはら 長者原	152.72	0.42～0.44	0.44～0.55
10	双葉町 きよとさく 清戸 迫	14.68	0.48～0.52	0.49～0.64
11	双葉町 こおりやま 郡 山	9.00	0.52～0.55*3	0.52～0.70
12	双葉町 な が つ か 長 塚	31.80	0.48～0.51	0.49～0.60
13	浪江町 お の だ 小 野 田	22.19	0.52～0.53	0.54～0.75
14	浪江町 う け ど 請 戸	—*4	0.52～0.56	0.56～0.70
15	浪江町 きよはし 幾世橋	2.69	0.50～0.52	0.51～0.75

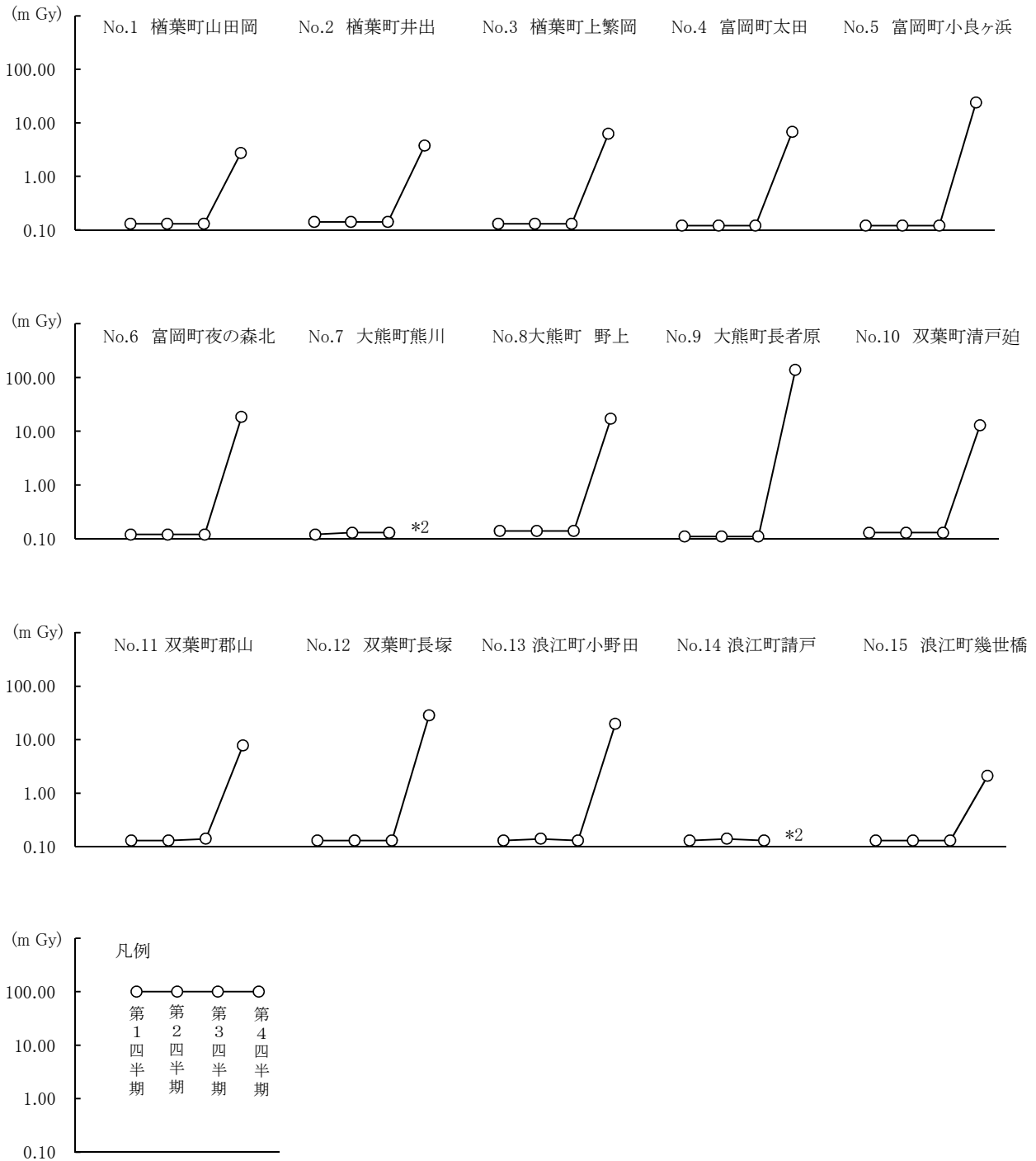
(注) \*1 年間相当値は、各四半期の測定値の和を 365 日相当に換算して求めた。

\*2 平成 15 年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、過去の測定値は平成 15 年度からの測定値。

\*3 局舎移転に伴い、平成 15 年 12 月 25 日に測定地点を移動したため、過去の測定値は平成 16 年度からの測定値。

\*4 東日本大震災で発生した津波により、素子設置箱が流失したため、欠測となった。

図4.2 空間積算線量(90日換算値<sup>\*1</sup>)の推移



(注) \*1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算。  
 \*2 東日本大震災で発生した津波により素子が流失したため、第4四半期は欠測となった。

#### 4-1-2 環境試料

##### 4-1-2-(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4.3に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は、0.019～0.026 Bq/m<sup>3</sup>、最大値は0.19～0.28 Bq/m<sup>3</sup>であり、全ベータ放射能の平均値は0.037～0.048 Bq/m<sup>3</sup>、最大値は0.26～0.43 Bq/m<sup>3</sup>であった。

今年度のこれらの測定値は、従来と同程度であったこと及び通常、自然界における全アルファ放射能と全ベータ放射能との間には一次の正の良い相関があり、今年度の測定結果も図4.3のように良い相関が認められたことから、すべて自然放射能レベルの変動であると考えられた。

表4.3 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

(単位 Bq/m<sup>3</sup>)

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲	
			平均値	最大値	平均値	最大値
1	榑葉町 <small>しげおか</small> 繁岡	全アルファ放射能	0.022	0.24	0.020～0.025	0.18～0.19
		全ベータ放射能	0.047	0.40	0.042～0.054	0.31～0.32
2	富岡町 <small>とみおか</small> 富岡	全アルファ放射能	0.023	0.19	0.021～0.028	0.16～0.35
		全ベータ放射能	0.040	0.26	0.039～0.048	0.22～0.48
3	大熊町 <small>おおの</small> 大野	全アルファ放射能	0.022	0.23	0.020～0.026	0.16～0.35
		全ベータ放射能	0.043	0.36	0.039～0.049	0.23～0.54
4	大熊町 <small>おつとざわ</small> 夫沢	全アルファ放射能	0.026	0.28	0.022～0.032	0.22～0.58
		全ベータ放射能	0.048	0.43	0.042～0.057	0.35～0.78
5	双葉町 <small>こおりやま</small> 郡山	全アルファ放射能	0.019	0.20	0.015～0.020	0.06～0.14
		全ベータ放射能	0.037	0.30	0.032～0.042	0.12～0.22

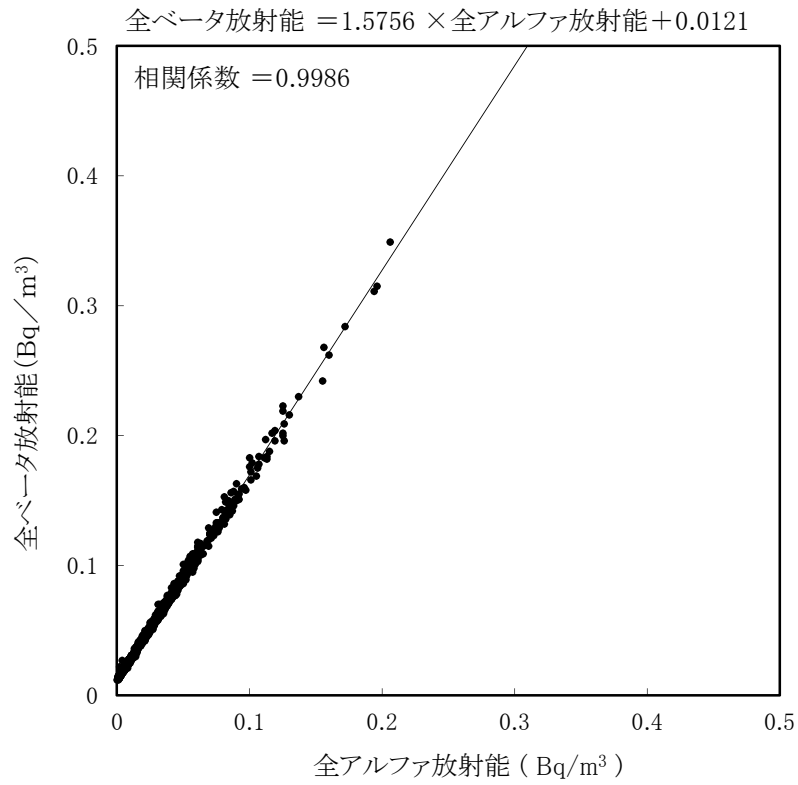
(注) \*1 平均値は、6時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して算出。

\*2 最大値は、6時間ごとの測定値の最大の値。

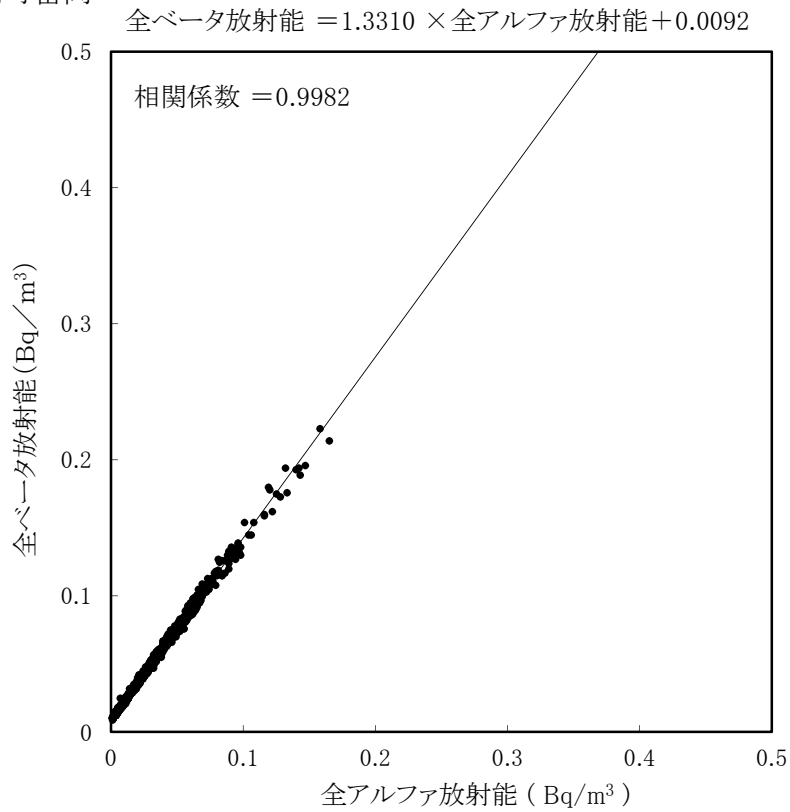
\*3 「過去の測定値の範囲」の適用期間は、機器更新、新たに測定機を設置、局舎を移転した年度以降の期間であり、No.1, 5は平成20年度から、No.2～No.4は平成11年度から、平成22年3月31日まで。

### 図4.3 全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

#### No.1 檜葉町繁岡

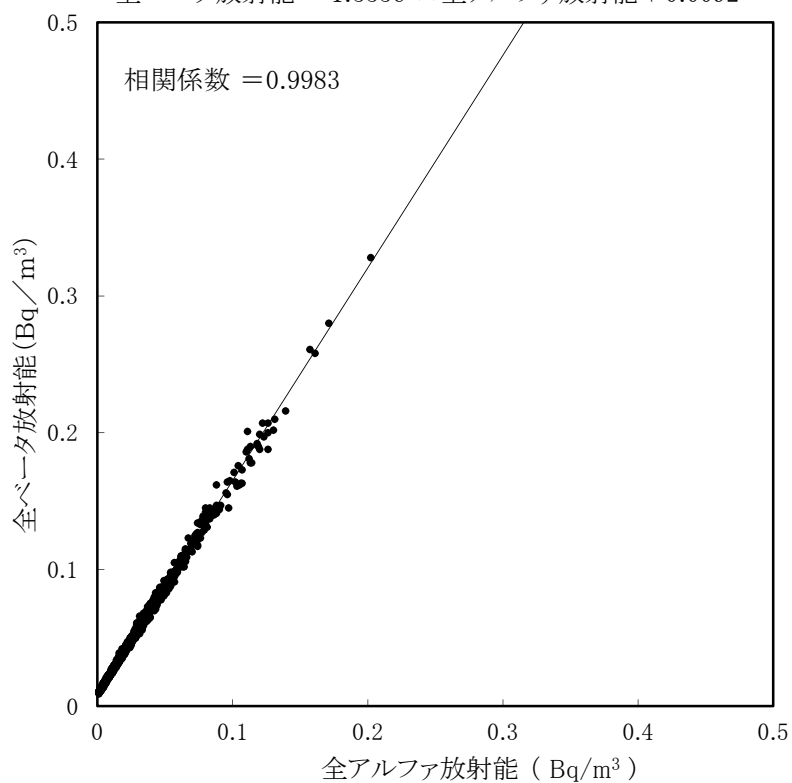


#### No.2 富岡町富岡



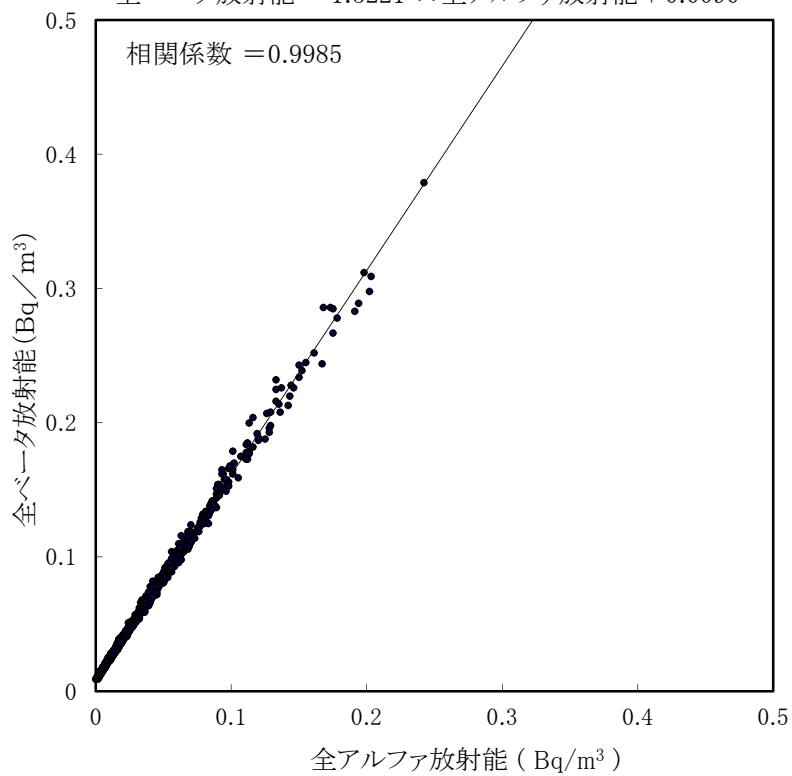
No.3 大熊町大野

$$\text{全ベータ放射能} = 1.5556 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0092$$

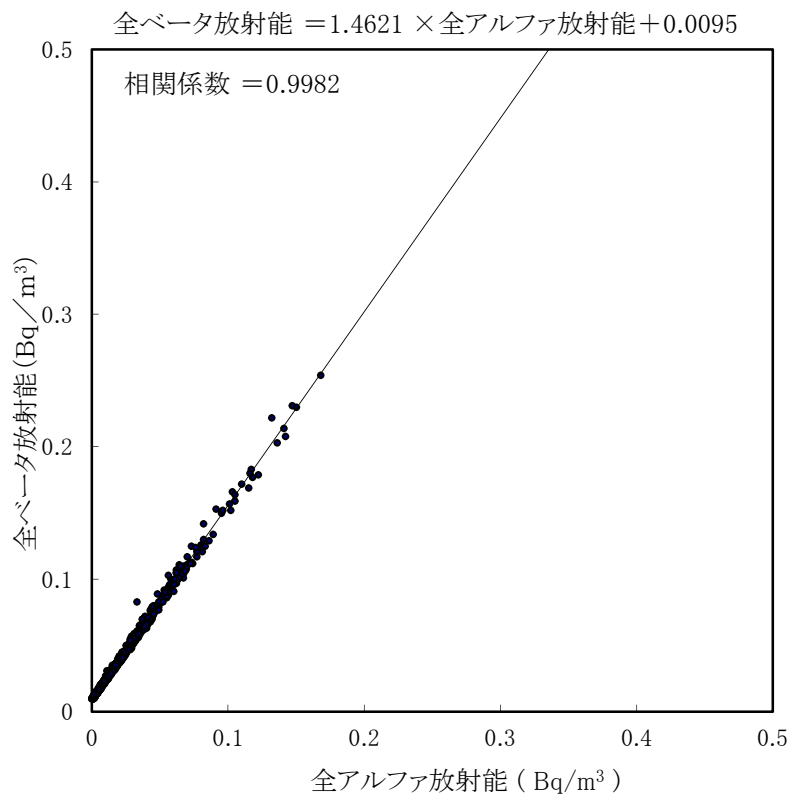


No.4 大熊町夫沢

$$\text{全ベータ放射能} = 1.5221 \times \text{全アルファ放射能} + 0.0090$$



No.5 双葉町郡山



#### 4-1-2-(2) 環境試料中の全ベータ放射能

今年度（平成22年4月1日から平成23年3月10日）の測定結果を表4. 4に示す。  
今年度の測定値は、従来と同程度であった。

表4. 4 環境試料中の全ベータ放射能測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値*1	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
陸 土	12 (2)	Bq/kg乾	272 ～ 805 ( 343 ～ 819 )	258 ～ 1064 ( 343 ～ 819 )
上 水	24 (2)	Bq/ℓ	0.02 ～ 0.11 ( ND ～ 0.06 )	ND ～ 0.11 ( ND ～ 0.06 )
海 水	26 (1)		ND ～ 0.02 ( 0.02 )	ND ～ 0.05 ( ND ～ 0.03 )
海底沈積物	26 (1)	Bq/kg乾	295 ～ 582 ( 399 )	181 ～ 840 ( 325 ～ 605 )
こ め	6 (2)	Bq/kg生	19 ～ 33 ( 19 ～ 20 )	16 ～ 34 ( 17 ～ 28 )
ほうれんそう	12 (2)		152 ～ 227 ( 200 ～ 205 )	104 ～ 294 ( 159 ～ 241 )
だ い こん	12 (2)		57 ～ 81 ( 70 ～ 72 )	43 ～ 115 ( 55 ～ 97 )
牛 乳	16 (4)		36 ～ 46 ( 45 ～ 47 )	38 ～ 51 ( 42 ～ 51 )
は く さ い	2 (1)		69 ～ 74 ( 74 )	61 ～ 99 ( 50 ～ 77 )
キ ャ ベ ツ	4 (1)		60 ～ 72 ( 62 )	49 ～ 86 ( 60 ～ 71 )
ば れ い し ょ	6 (2)		96 ～ 120 ( 116 ～ 118 )	87 ～ 168 ( 100 ～ 135 )
ぶ た 肉	1 (1)		96 ( 77 )	79 ～ 94 ( 83 ～ 127 )
鶏 卵	2 (2)		35 ～ 37 ( 38 ～ 39 )	36 ～ 41 ( 36 ～ 54 )
し ゅ ん ぎ く	1		134	124 ～ 173
ブ ロ ッ コ リ ー	1		94	101 ～ 157
こ か ぶ	1		61	78 ～ 103
ゆ ず	1		72	68 ～ 90
な し	1		36	29 ～ 36
キ ウ イ フ ル ー ツ	1		73	70 ～ 104
松 葉	28		59 ～ 94	41 ～ 115
か れ い 類	8 (2)		83 ～ 108 ( 127 ～ 135 )	80 ～ 128 ( 100 ～ 150 )
あ い な め	8 (2)		89 ～ 115 ( 121 )	67 ～ 127 ( 105 ～ 132 )
さ け	3		90 ～ 100	81 ～ 125
す ず き	2		105 ～ 115	96 ～ 176
し ら う お	2		92 ～ 113	85 ～ 112
こ う な ご	0*2		欠測	81 ～ 126
わ か め	2 (1)		109 ～ 123 ( 156 )	92 ～ 162 ( 114 ～ 220 )
ほ っ き が い	6*3 (1)	62 ～ 77 ( 87 )	69 ～ 89 ( 77 ～ 91 )	
た こ	2	49 ～ 72	52 ～ 86	
ほ ん だ わ ら	6*3	238 ～ 402	111 ～ 463	

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。上水、海水及び魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満。  
3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果。  
4. \*1:平成22年4月1日から平成23年3月10日までの測定値。  
5. \*2:原子力災害の影響により、試料を採取できなかった。  
6. \*3:試料は採取したが、原子力災害の影響で前処理が困難となったため、一部の試料で欠測となった。欠測となった試料は、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。



#### 4-1-2-(3)-ア 環境試料中の核種濃度(ガンマ線放出核種及びトリチウム)【平成23年3月10日まで】

今年度（平成22年4月1日から平成23年3月10日）の測定結果を表4. 5、表4. 6に示す。

今年度は、セシウム-137が降下物、陸土、海水、牛乳、キャベツ、ばれいしょ、ぶた肉、松葉、かれい類、あいなめ、さけ、すずき、しらうおから検出されたが、従来と同程度であった。

その他のガンマ線放出核種については検出されなかった。

また、トリチウムが大気中水分、上水及び海水から検出されたが、上水及び海水については従来と同程度であった。大気中水分については、捕集水中濃度で比較した場合、上水及び海水と同程度であった。

表4. 5. 1 環境試料中のセシウム-137濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値*1	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
降下物	22*2 (11*3)	MBq/km <sup>2</sup> ・月	ND ～ 0.040 ( ND )	ND ～ 0.15 ( ND ～ 0.093 )
大気浮遊じん	55*2	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND
陸土	12 (2)	Bq/kg乾	ND ～ 10 ( ND ～ 22 )	ND ～ 16 ( ND ～ 30 )
上水	24 (2)	Bq/ℓ	ND ( ND )	ND ( ND )
海水	26 (1)		ND ～ 0.002 ( 0.002 )	ND ～ 0.003 ( ND ～ 0.003 )
海底沈積物	26 (1)	Bq/kg乾	ND ( ND )	ND ～ 0.97 ( ND ～ 2.3 )
こめ	6 (2)	Bq/kg生	ND ( ND )	ND ～ 0.03 ( ND )
ほうれんそう	12 (2)		ND ( ND )	ND ～ 0.12 ( ND )
だいこん	12 (2)		ND ( ND )	ND ～ 0.03 ( ND ～ 0.02 )
牛乳	16*2 (4)		ND ～ 0.03 ( ND ～ 0.06 )	ND ～ 0.18 ( ND ～ 0.05 )
はくさい	2 (1)		ND ( ND )	ND ( ND )
キャベツ	4 (1)		ND ～ 0.06 ( ND )	ND ～ 0.06 ( ND ～ 0.02 )
ばれいしょ	6 (2)		ND ～ 0.06 ( ND )	ND ～ 0.11 ( ND )
ぶた肉	1 (1)		0.05 ( 0.04 )	0.03 ～ 0.27 ( 0.05 ～ 0.17 )
鶏卵	2 (2)		ND ( ND )	ND ～ 0.02 ( ND )
しゅんぎく	1		ND	ND
フロッコリー	1		ND	ND
こかぶ	1		ND	ND
ゆず	1		ND	ND ～ 0.04
なし	1		ND	ND
キウイフルーツ	1		ND	ND
松葉	28*2		ND ～ 0.08	ND ～ 1.2
かれい類	8 (2)		0.03 ～ 0.16 ( 0.06 ～ 0.10 )	0.02 ～ 0.17 ( 0.04 ～ 0.20 )
あいなめ	8 (2)		0.09 ～ 0.18 ( 0.11 ～ 0.12 )	0.07 ～ 0.17 ( 0.09 ～ 0.19 )
さけ	3		0.06 ～ 0.08	0.06 ～ 0.10

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
すずき	2	Bq/kg生	0.17 ～ 0.20	0.13 ～ 0.30
しろうお	2		0.11	0.09 ～ 0.19
こうなご	0 <sup>*4</sup>		欠測	ND ～ 0.08
わかめ	2 (1)		ND (ND)	ND (ND)
ほっきがい	2 <sup>*2</sup> (1)		ND (ND)	ND (ND ～ 0.04)
たこ	2		ND	ND ～ 0.03
ほんだわら	6 <sup>*2</sup>		ND	ND

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。上水、海水及び魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満。  
3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果。  
4. \*1:平成22年4月1日から平成23年3月10日までの測定値。  
5. \*2:試料は採取したが、東日本大震災及び原子力災害の影響で前処理が困難となったため、並びに試料が汚染している恐れがあることから、一部の試料が欠測となった。欠測となった試料は、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
6. \*3:試料は採取したが、誤って1月分と2月分を混ぜてしまったため、欠測となった。  
7. \*4:原子力災害の影響により、試料を採取できなかった。

表4.6.1 環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値 <sup>*1</sup>	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
大気中水分	55 <sup>*2</sup> (11 <sup>*2</sup> )	mBq/m <sup>3</sup>	ND ～ 16 (ND ～ 12)	ND ～ 23 <sup>*3</sup> (ND ～ 12 <sup>*3</sup> )
上水	24 (2)	Bq/ℓ	ND ～ 0.59 (ND)	ND ～ 1.2 (ND ～ 1.3)
海水	26 (1)		ND (ND)	ND ～ 2.9 (ND)

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。上水及び海水の供試料、大気中水分の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満である。  
3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果を示す。  
4. \*1:平成22年4月1日から平成23年1月4日までの測定値(比較対象地点を除く)。  
5. \*2:試料は採取したが、東日本大震災及び原子力災害の影響で前処理が困難となったため並びに停電により測定機器停止により一部試料にて欠測。欠測となった試料については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
6. \*3:大気中水分については、平成20年度から調査対象とした試料。なお、今年度の捕集水中濃度(参考値)は以下のとおり。

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値
大気中水分 (捕集水濃度)	55 <sup>*1</sup> (11 <sup>*1</sup> )	Bq/ℓ	ND ～ 1.0 (ND ～ 0.85)

#### 4-1-2-(3)-イ 環境試料中の核種濃度(ガンマ線放出核種及びトリチウム)【平成23年3月11日以降】

平成22年度（平成23年3月11日以降）の測定結果を表4. 5、表4. 6に示す。

今期間は、降下物のみ測定を行った。これ以外の試料は東日本大震災及び原子力災害の影響で試料が採取できず、又は測定機器の汚染により測定ができなかったため、欠測となった。

今年度の測定結果は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、セシウム-137、セシウム-134、セシウム-136テルル-129、テルル-129m、銀-110mが検出され、過去の測定値の範囲を大きく上回った。

その他のガンマ線放出核種については検出されなかった。

また、トリチウムが大気中水分から検出され、従来値を上回った。

表4. 5. 2 環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試料名	試料数	単位	核種 <sup>*1</sup>	今年度測定値 <sup>*2</sup>	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
降下物	2 (1)	MBq/km <sup>2</sup> ・月	Cs-137	1,000,000 ～ 5,600,000 (150,000)	ND ～ 0.15 (ND ～ 0.093)
			Cs-134	940,000 ～ 5,000,000 (140,000)	ND (ND)
			Cs-136	ND ～ 380,000 (ND)	— <sup>*3</sup>
			Te-129	74,000 ～ 300,000 (14,000)	— <sup>*3</sup>
			Te-129m	700,000 ～ 3,200,000 (150,000)	— <sup>*3</sup>
			Ag-110m	ND ～ 17,000 (750)	— <sup>*3</sup>

- (注) 1. 「試料数」は各採取地点毎の今期間内における採取回数の合計。  
 今期間は降下物のみ採取し、これ以外の試料は東日本大震災及び原子力災害の影響で試料が採取できず、又は測定機器の汚染により測定ができなかったため、欠測となった。  
 2. NDは、検出限界未満。  
 3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果。  
 4. 測定は平成23年7月1日以降に行った。  
 5. 上記核種その他、人工放射性核種は検出されなかった。  
 6. \*1 Cs:セシウム、Te:テルル、Ag:銀  
 7. \*2 平成23年3月11日から平成23年4月8日までの測定値。  
 8. \*3 平成21年度までは対象核種でなかったため、過去の測定値なし。

表4. 6. 2 環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	試料数	単位	今年度測定値 <sup>*1</sup>	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
大気中水分	0 <sup>*2</sup> (1)	mBq/m <sup>3</sup>	欠測 (41)	ND ～ 23 <sup>*3</sup> (ND ～ 12 <sup>*3</sup> )

- (注) 1. 「試料数」は各採取地点毎の今期間内における採取回数の合計。  
 2. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果。  
 3. \*1 平成23年3月11日から平成23年4月1日までの測定値。  
 4. \*2 停電により捕集装置が停止したため、欠測となった。  
 5. \*3 大気中水分については、平成20年度から調査対象とした試料。  
 なお、今期間の捕集水中濃度(参考値)は以下のとおり。

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値
大気中水分 (捕集水濃度)	0 <sup>*1</sup> (1 <sup>*1</sup> )	Bq/ℓ	欠測 (10)

#### 4-1-2-(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度

ストロンチウム-90濃度の測定結果を表4. 7に示す。

今年度は、陸土、上水、海水、ほうれんそう、だいこん、牛乳、ほんだわらから検出されたが、従来と同程度であった。

表4. 7 環境試料中のストロンチウム-90濃度の測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値*1	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
降下物	0*2 (0*2)	MBq/km <sup>2</sup> ・年	欠測 (欠測)	ND ～ 0.16 (ND ～ 0.29)
陸土	4 (1)	Bq/kg乾	ND ～ 2.6 (2.0)	ND ～ 3.5 (1.8 ～ 4.3)
上水	2 (1)	Bq/ℓ	0.001 (0.002)	0.001 ～ 0.002 (0.001 ～ 0.002)
海水	2 (1)		0.001 (0.001)	0.001 ～ 0.002 (0.001 ～ 0.002)
海底沈積物	5 (1)	Bq/kg乾	ND (ND)	ND (ND)
こめ	2 (1)	Bq/kg生	ND (ND)	ND (ND)
ほうれんそう	2 (1)		0.05 ～ 0.14 (0.04)	ND ～ 0.28 (ND ～ 0.14)
だいこん	2 (1)		0.03 ～ 0.06 (ND)	0.03 ～ 1.0 (ND ～ 0.09)
牛乳	2 (1)		0.02 (0.02)	ND ～ 0.03 (ND ～ 0.02)
かれい類	2 (1)		ND (ND)	ND (ND)
あいなめ	2 (1)		ND (ND)	ND (ND)
ほんだわら	2		0.05 ～ 0.08	0.04 ～ 0.19 ※

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。上水、海水及び魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
 2. NDは、検出限界未満。  
 3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果。  
 4. 「※」(ほんだわら)は、平成13年度から調査対象とした試料。  
 5. \*1:平成22年4月1日から平成23年3月10日までの測定値。  
 6. \*2:原子力災害の影響で前処理が困難となったため、欠測となった。

#### 4-1-2-(5) 環境試料中のプルトニウム放射能濃度

プルトニウム放射能濃度の測定結果を表4. 8に示す。

今年度は、陸土、海水、海底沈積物、ほんだわらから検出されたが、従来と同程度であった。

表4. 8 環境試料中のプルトニウム放射能(<sup>239+240</sup>Pu)濃度の測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値*1	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
降下物	0*2 (0*2)	MBq/km <sup>2</sup> ・年	欠測 (欠測)	ND ~ 0.0077 (ND ~ 0.0049)
陸土	4 (1)	Bq/kg乾	ND ~ 0.17 (0.79)	ND ~ 0.44 (0.40 ~ 0.85)
上水	2 (1)	mBq/ℓ	ND (ND)	ND (ND) ※
海水	2 (1)		ND ~ 0.01 (ND)	ND ~ 0.013 (ND ~ 0.012) ※
海底沈積物	5 (1)	Bq/kg乾	0.15 ~ 0.61 (0.20)	0.17 ~ 0.56 (0.13 ~ 0.46)
こめ	2 (1)	Bq/kg生	ND (ND)	ND (ND)
ほうれんそう	2 (1)		ND (ND)	ND (ND)
だいこん	2 (1)		ND (ND)	ND ※ (ND)
牛乳	2 (1)		ND (ND)	ND ※ (ND)
かれい類	2 (1)	Bq/kg生	ND (ND)	ND ※ (ND)
あいなめ	2 (1)		ND (ND)	ND (ND)
ほんだわら	2		0.0035 ~ 0.0068	0.0060 ~ 0.022 ※

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。上水、海水及び魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。
2. NDは、検出限界未満。
3. 欄中下段の( )内は、比較対照地点の結果を示す。
4. 「※」(海水、だいこん、牛乳、かれい類)は、平成13年度から調査対象とした試料。
5. \*1:平成22年4月1日から平成23年3月10日までの測定値。
6. \*2:原子力災害の影響で前処理が困難となったため、欠測となった。

## 4-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分

### 4-2-1 空間放射線

#### 4-2-1-1 空間線量率

今年度の測定結果を表4. 9に示す。

各測定地点の年間平均値は32～41nGy/h、最大値は67～96nGy/hであった。

年間平均値は従来と同程度であった。

また、各地点の最大値は、すべての地点において12月3日20時の降雨時に観測された。

過去の最大値を上回った地点はなかった。

各測定地点における空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移を図4. 4に示す。

表4. 9 空間線量率の測定結果（年間平均値及び最大値）

(単位：nGy/h)

No.	測定地点名				今年度測定値 (震災以前)		今年度測定値 (震災以降)		過去の測定値の範囲	
					平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
1	M	P	—	1	38	93	—*	—*	37 ～ 41	70 ～ 152
2	M	P	—	2	41	90	—*	—*	40 ～ 43	70 ～ 188
3	M	P	—	3	38	86	—*	—*	37 ～ 40	64 ～ 171
4	M	P	—	4	37	96	—*	—*	37 ～ 41	62 ～ 167
5	M	P	—	5	32	88	—*	—*	32 ～ 35	64 ～ 143
6	M	P	—	6	36	67	—*	—*	36 ～ 38	58 ～ 120
7	M	P	—	7	39	73	—*	—*	39 ～ 43	62 ～ 151
8	M	P	—	8	39	77	—*	—*	39 ～ 44	66 ～ 168

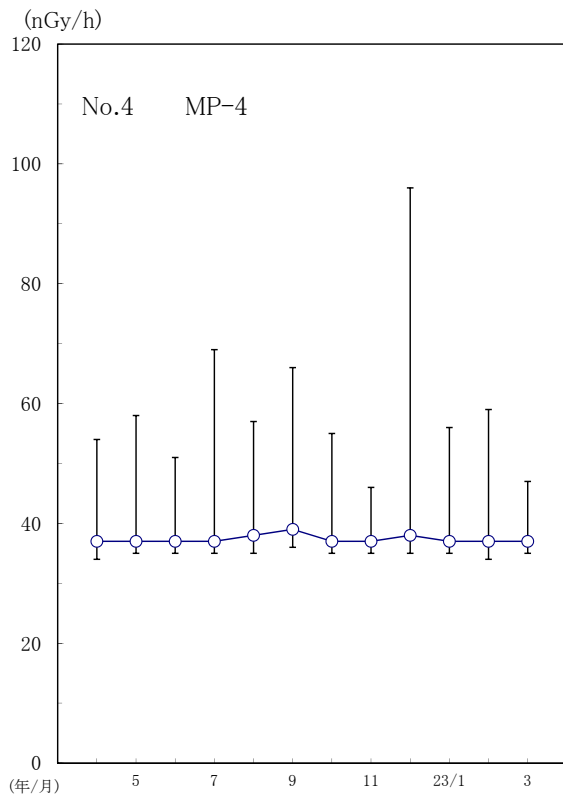
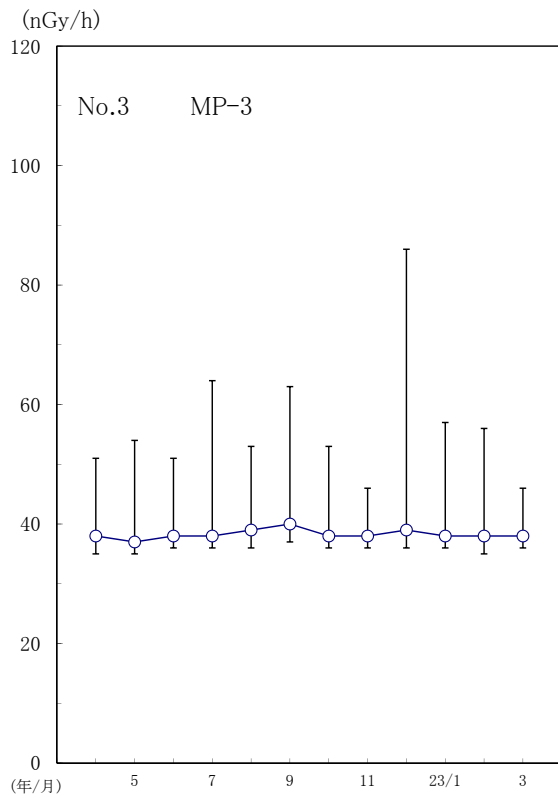
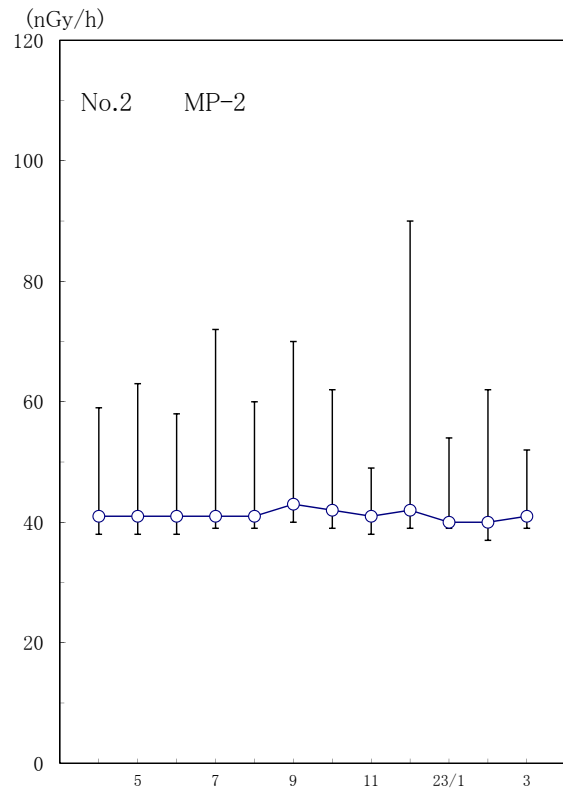
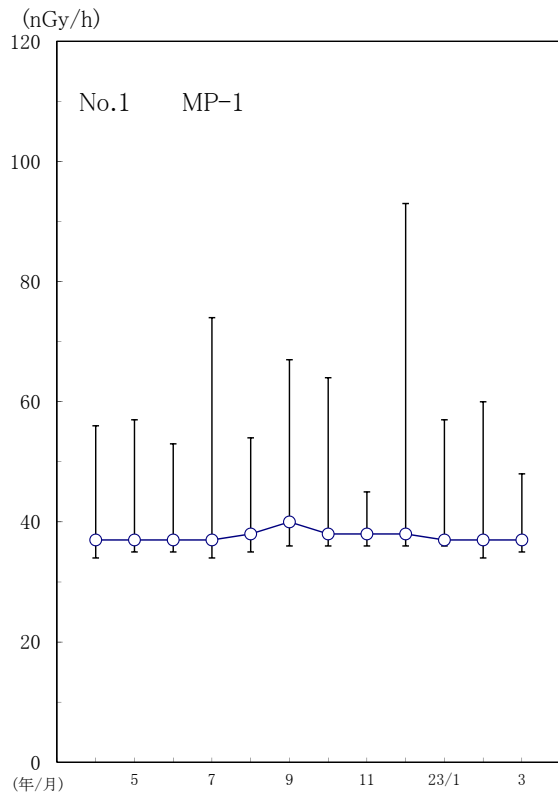
(注) 1. 平均値は、年間の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求めた。

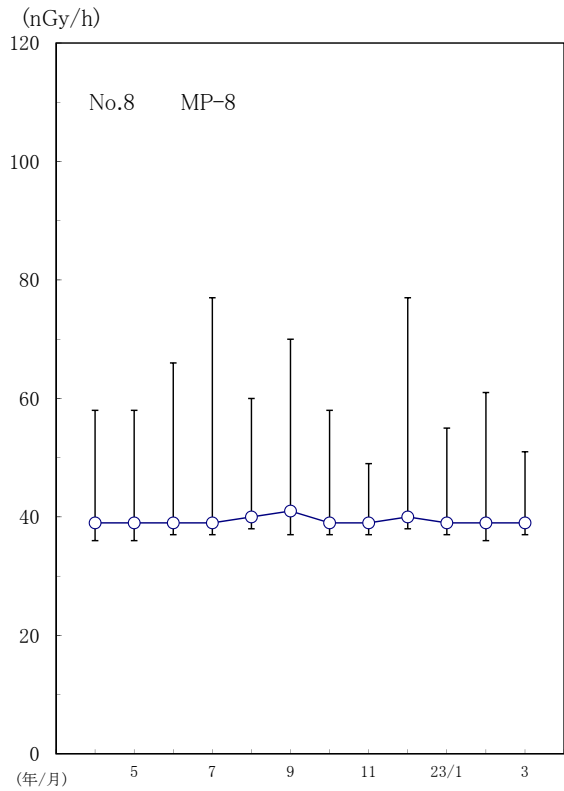
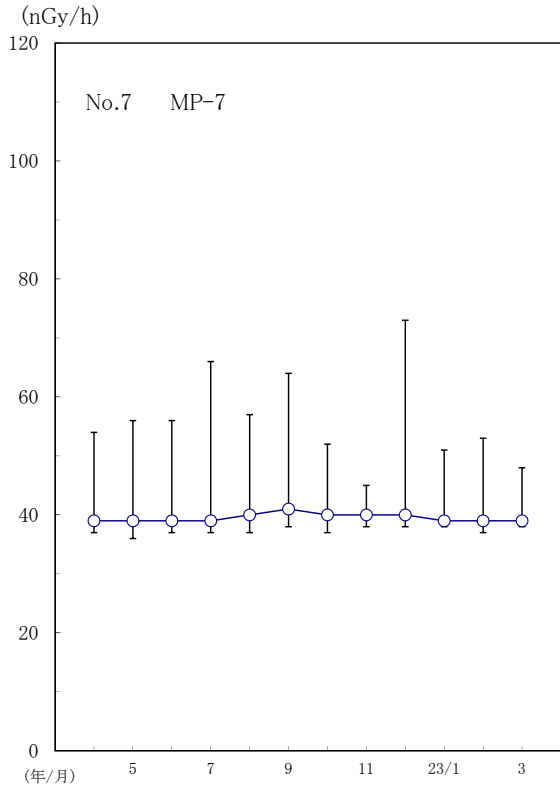
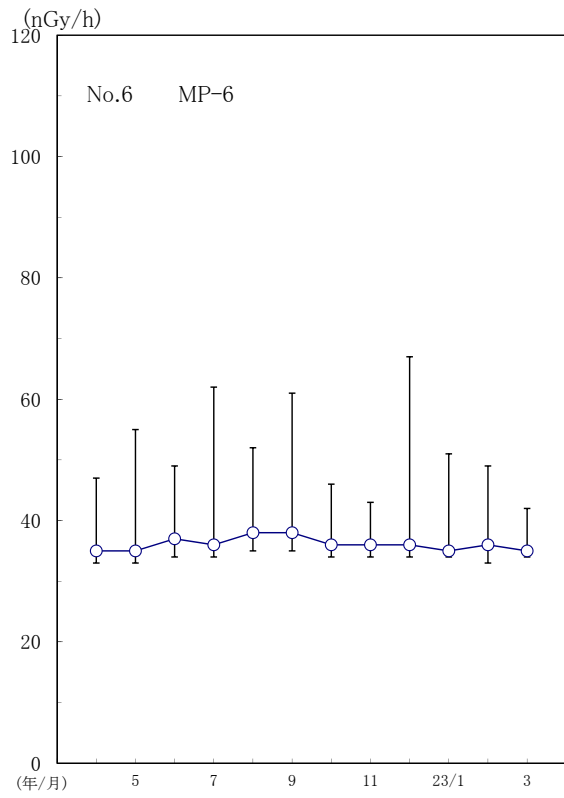
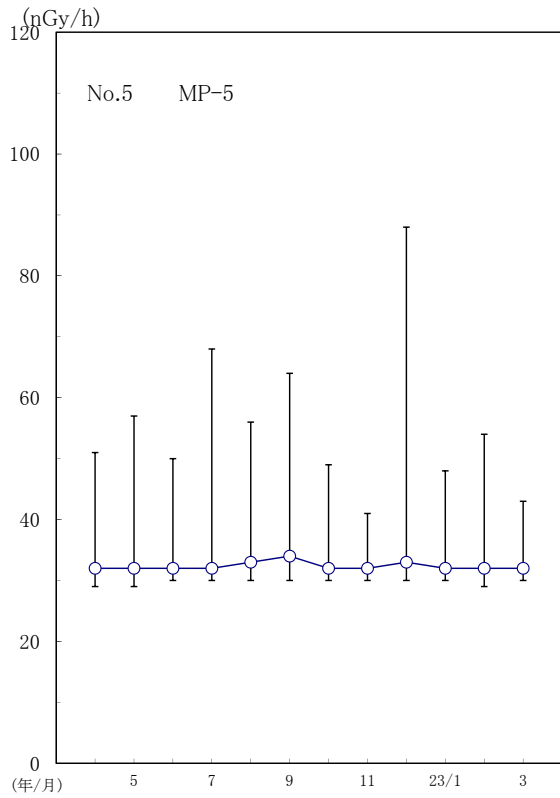
2. 最大値は、1時間値の最大を示す。

3. 「過去の測定値の範囲」の適用期間は、温度補償型検出器への更新後の年度以降の期間であり、昭和61年度からである。

\*東日本大震災の影響によりデータ通信ができず、欠測となった。

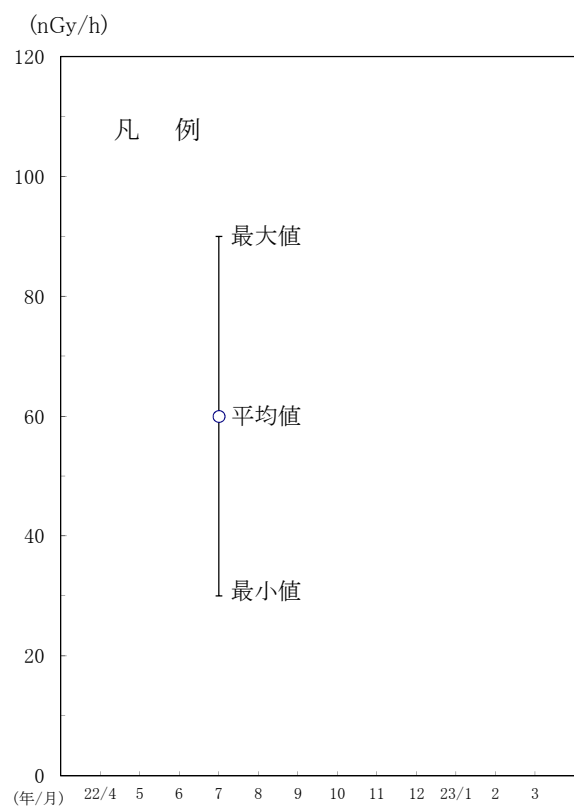
図4.4 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移





※東日本大震災の影響があった期間を除く3月10日までのデータを使用。





#### 4-2-1-(2) 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値<sup>\*1</sup>）を表4. 10に示す。

今年度の測定値は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値を大きく上回った。

最大値はMP-7の360.07mGyで、最小値は双葉町郡山堂ノ上の15.22mGyであった。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図4. 5に示す。

なお、「TLDによる過去の測定値の範囲」は、平成14年度まで測定に用いていた熱蛍光線量計（TLD）によるものを参考値としている。

表4. 10 空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位：mGy）

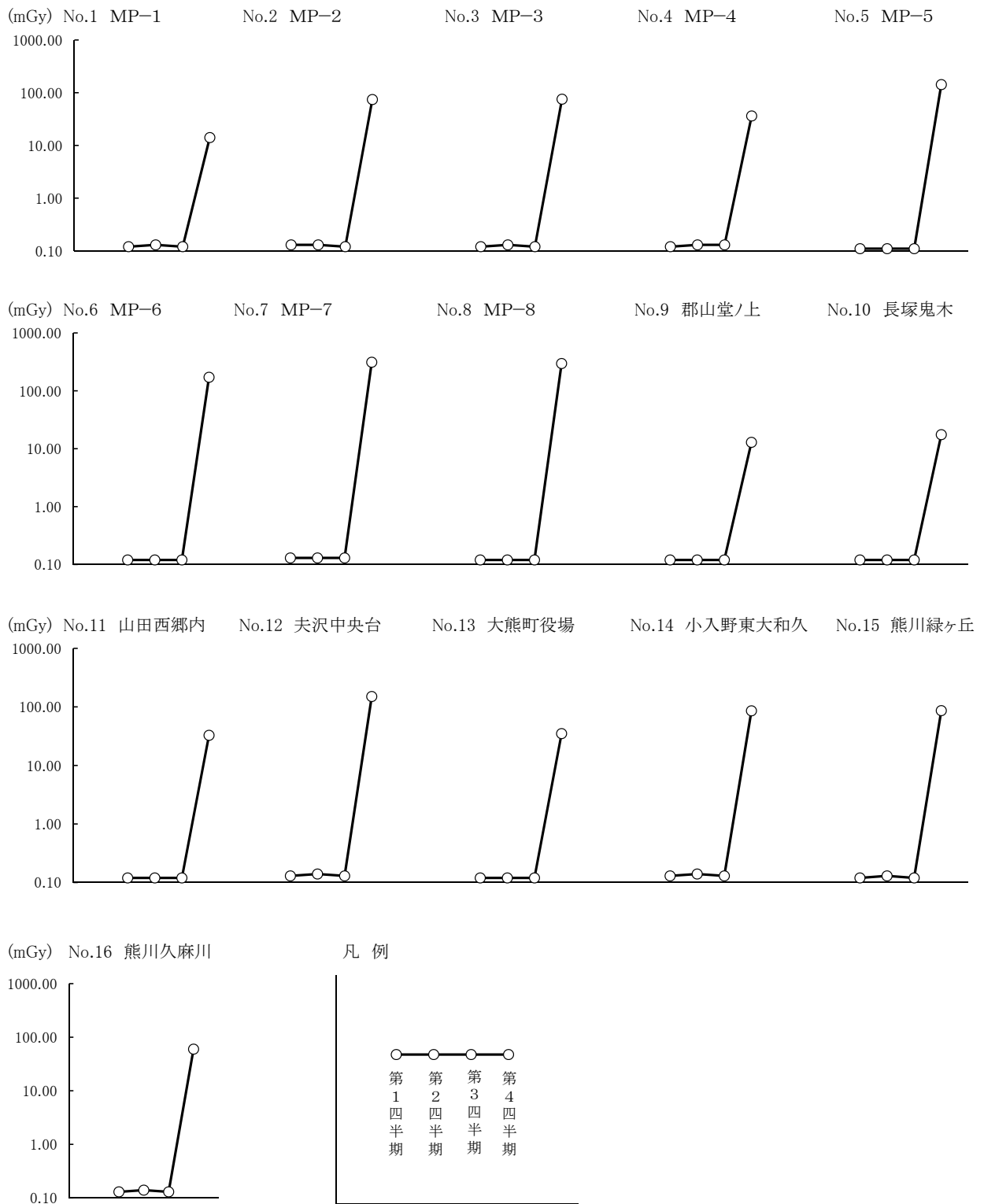
No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値 <sup>*2</sup>	TLDによる過去の測定値の範囲 （参考値）
1	M P - 1	16.61	0.47 ~ 0.48	0.46 ~ 0.57
2	M P - 2	86.00	0.48 ~ 0.49	0.48 ~ 0.58
3	M P - 3	87.37	0.47 ~ 0.48	0.47 ~ 0.60
4	M P - 4	42.17	0.48 ~ 0.50	0.48 ~ 0.60
5	M P - 5	164.79	0.42 ~ 0.44	0.41 ~ 0.50
6	M P - 6	198.03	0.47 ~ 0.48	0.46 ~ 0.57
7	M P - 7	360.07	0.51 ~ 0.52	0.50 ~ 0.59
8	M P - 8	341.88	0.47 ~ 0.48	0.46 ~ 0.57
9	双葉町 郡山堂ノ上	15.22	0.47 ~ 0.48	0.45 ~ 0.55
10	双葉町 長塚鬼木	20.53	0.47 ~ 0.48	0.48 ~ 0.56 <sup>*3</sup>
11	双葉町 山田西郷内	38.06	0.47 ~ 0.48	0.45 ~ 0.59
12	大熊町 夫沢中央台	173.94	0.52 ~ 0.56	0.49 ~ 0.62
13	大熊町 役場	40.70	0.45 ~ 0.48	0.44 ~ 0.60
14	大熊町 小入野東大和久	99.17	0.50 ~ 0.52	0.49 ~ 0.58
15	大熊町 熊川緑ヶ丘	99.92	0.47 ~ 0.48	0.47 ~ 0.58
16	大熊町 熊川久麻川	69.42	0.51 ~ 0.52	0.50 ~ 0.64

（注）\*1 年間相当値は、各四半期の測定値の和を365日相当に換算して求めた。

\*2 平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、過去の測定値は平成15年度から平成21年度の測定値である。

\*3 No. 10地点における「過去の測定値の範囲」は、平成2年4月に新山本町から長塚鬼木への変更後の

図4.5 空間積算線量(90日換算値<sup>\*1</sup>)の推移



(注) \*1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算した。

#### 4-2-2 環境試料

##### 4-2-2-(1) 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4. 11に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は0.014~0.016Bq/m<sup>3</sup>、最大値は0.096~0.10Bq/m<sup>3</sup>であり、全ベータ放射能の平均値は0.028~0.031Bq/m<sup>3</sup>、最大値は0.15Bq/m<sup>3</sup>であった。

今年度のこれらの測定値は、福島県測定分の既設地点の全アルファ放射能と全ベータ放射能の測定値と同程度であった。

通常、自然界における全アルファ放射能と全ベータ放射能との間には一次の正の良い相関があり、今年度の測定結果は図4. 6のように良い相関が認められた。

表4. 11 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値*		過去の測定値の範囲	
			平均値	最大値	平均値	最大値
1	M P - 3	全アルファ放射能	0.016	0.096	0.016~0.022	0.098~0.15
		全ベータ放射能	0.031	0.15	0.031~0.039	0.13~0.20
2	M P - 8	全アルファ放射能	0.014	0.10	0.014~0.020	0.089~0.17
		全ベータ放射能	0.028	0.15	0.029~0.037	0.13~0.24

(注) 1. 平均値は、6時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して求めた。

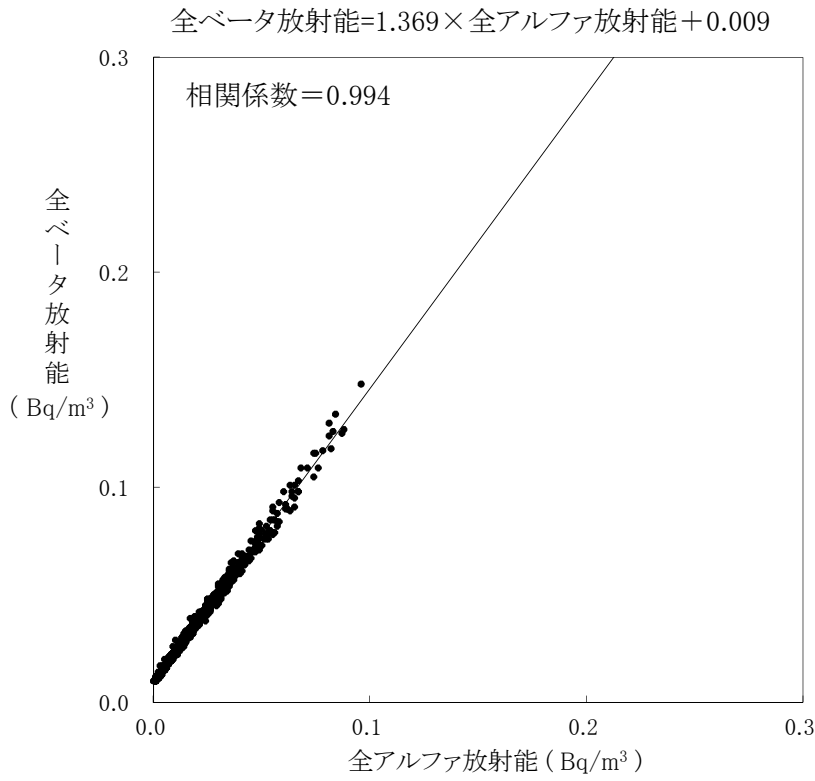
2. 最大値は、6時間ごとの測定値の最大を示す。

3. 「過去の測定値の範囲」は、機器変更後の平成13年9月から。

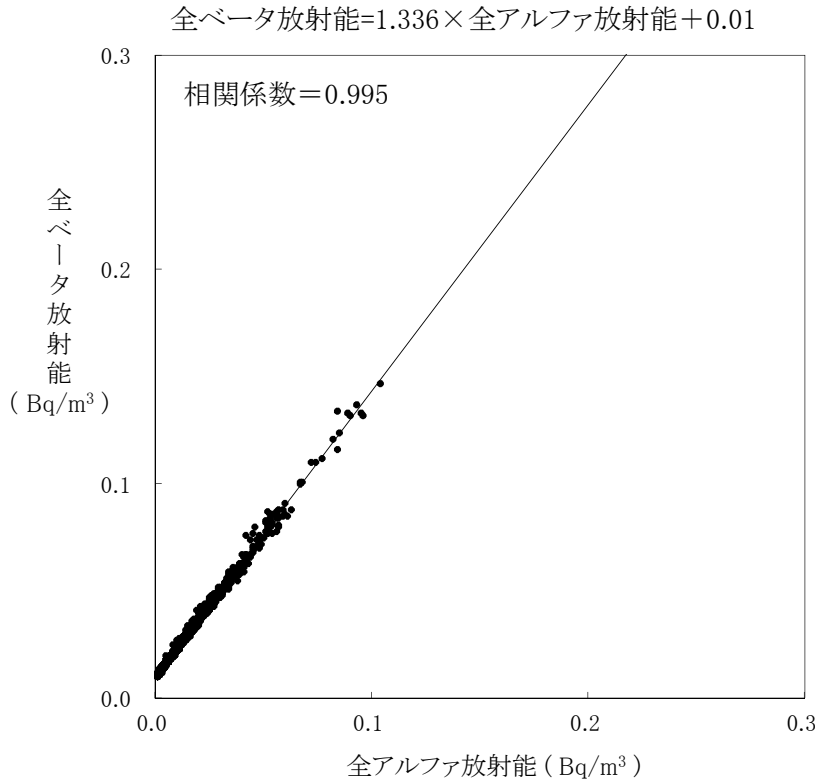
\* 「今年度の測定値」は、東日本大震災以前の平成23年3月10日までの測定値。

#### 図4.6 全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

No.1 MP-3



No.2 MP-8



※東日本大震災以前の平成23年3月10日までのデータを使用。

#### 4-2-2-(2) 環境試料中の全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4. 12に示す。

今年度の測定値は、従来と同程度であった。

**表4. 12 環境試料中の全ベータ放射能測定結果**

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
陸 土	8	Bq/kg乾	530 ～ 846	555 ～ 841
海 水	12	Bq/ℓ	0.02 ～ 0.05	0.01 ～ 0.06
海 底 沈 積 物	12	Bq/kg乾	208 ～ 736	223 ～ 764
こ め	2	Bq/kg生	19	16 ～ 27
ほ う れ ん そ う	4		123 ～ 215	130 ～ 233
だ い こ ん	2		61 ～ 70	54 ～ 87
牛 乳	4		41 ～ 44	33 ～ 51
松 葉	8		68 ～ 86	47 ～ 102
あ い な め	2		117 ～ 125	114 ～ 135
か れ い 類	1		115	100 ～ 128
し ら う お	1		99	94 ～ 107
ほ っ き が い	2		75 ～ 84	78 ～ 101
わ か め	1		134	84 ～ 212
ほ ん だ わ ら	2		272 ～ 337	195 ～ 458

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。

海水、魚介類の供試料の詳細は、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。

#### 4-2-2-(3) 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表4. 13、14に示す。

今年度は、セシウム-137が陸土、海水、海底沈積物、こめ、牛乳、松葉、あいなめ、かれい類、しらうおから検出されたが、従来と同程度であった。

その他のガンマ線放出核種については、検出されなかった。

また、トリチウムが海水から検出されたが、自然及び核実験の影響と判断される低いレベルであった。

表4. 13 環境試料中のセシウム - 137濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
大気浮遊じん	22	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND
陸土	8	Bq/kg乾	2.4 ~ 15	2.5 ~ 28
海水	12	Bq/l	ND ~ 0.003	ND ~ 0.003
海底沈積物	12	Bq/kg乾	ND ~ 0.78	ND ~ 1.4
こめ	2	Bq/kg生	ND ~ 0.02	ND ~ 0.03
ほうれんそう	4		ND	ND ~ 0.05
だいこん	2		ND	ND
牛乳	4		ND ~ 0.08	ND ~ 0.14
松葉	8		ND ~ 0.14	ND ~ 0.11
あいなめ	2		0.08 ~ 0.09	0.09 ~ 0.15
かれい類	1		0.06	0.05 ~ 0.12
しらうお	1		0.11	0.09 ~ 0.18
ほっきがい	2		ND	ND ~ 0.04
わかめ	1		ND	ND
ほんだわら	2		ND	ND

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計。  
海水、魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満。

**表4. 14 環境試料中のトリチウム濃度測定結果**

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
海 水	12	Bq/ℓ	ND～0.50	ND ～ 0.67

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。  
海水の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満である。

**4-2-2-(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度**

ストロンチウム-90濃度の測定結果を表4. 15に示す。

今年度は、陸土、海水、海底沈積物、こめ、ほうれんそう、だいこん、牛乳、わかめで検出されたが、従来と同程度であった。

しらうお、ほっきがいについては、東日本大震災及び原子力災害の影響により、欠測となった。

**表4. 15 環境試料中のストロンチウム-90濃度測定結果**

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
陸 土	1	Bq/kg乾	0.94	0.77 ～ 2.1
海 水	2	Bq/ℓ	0.002	0.001 ～ 0.003
海 底 沈 積 物	2	Bq/kg乾	0.14	ND ～ 0.17
こ め	1	Bq/kg生	0.02	ND ～ 0.02
ほ う れ ん そ う	1		0.24	0.18 ～ 0.46
だ い こ ん	1		0.17	0.11 ～ 0.32
牛 乳	1		0.03	0.01 ～ 0.04
し ら う お	1		欠測	ND ～ 0.03
ほ っ き が い	1		欠測	ND ～ 0.03
わ か め	1		0.02	0.02 ～ 0.04

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。  
海水、魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界未満。



#### 4-3 東京電力（株）福島第二原子力発電所測定分

##### 4-3-1 空間放射線

##### 4-3-1-（1） 空間線量率

今年度の測定結果を表4. 16に示す。

各測定地点の年間平均値は212 nGy/h～821 nGy/h、最大値は19,100～182,000 nGy/hであった。

年間平均値は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により、震災前の過去の測定値を大きく上回った。

また、最大値は東日本大震災の津波により流失したMP-7、津波の影響で停止したMP-6、点検中のMP-2を除く測定地点で、震災後の3月15日に観測された。

各測定地点における空間線量率月間平均値及び変動幅の推移を図4. 7に示す。

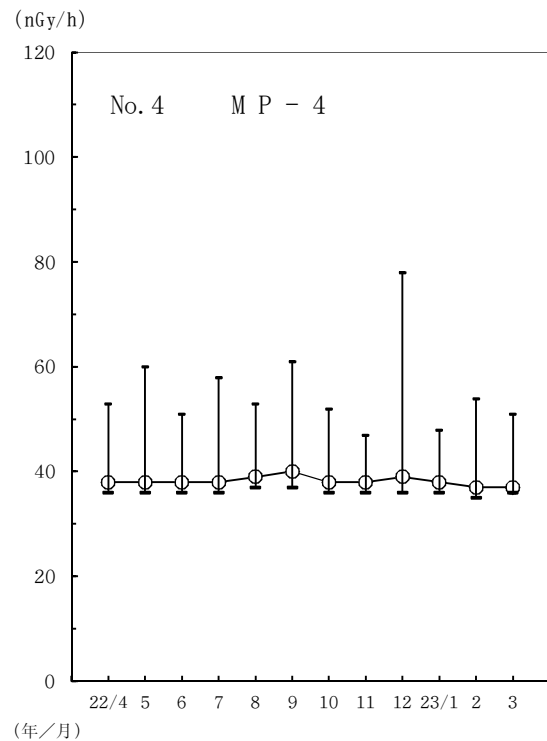
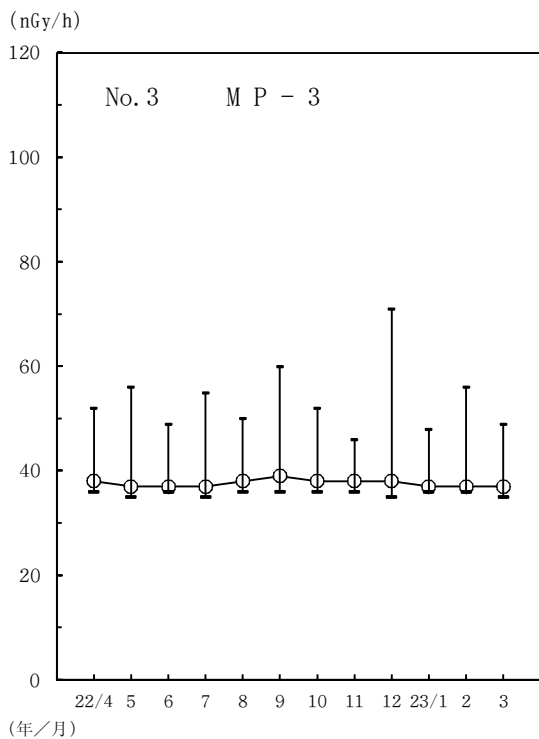
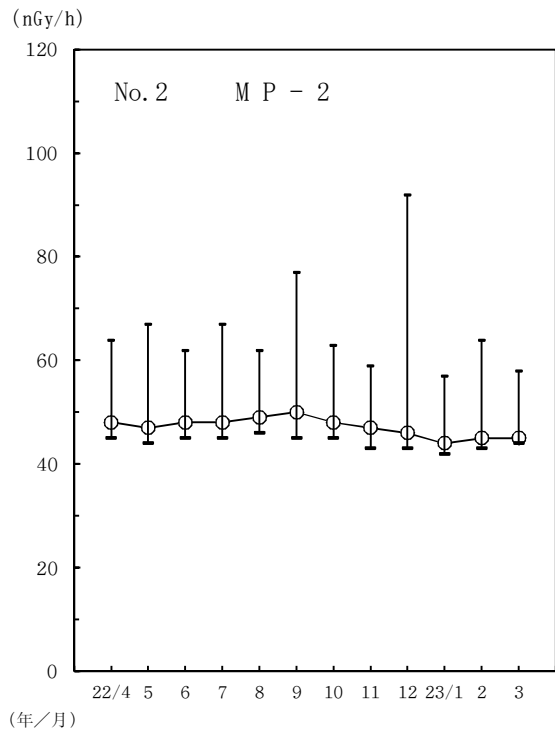
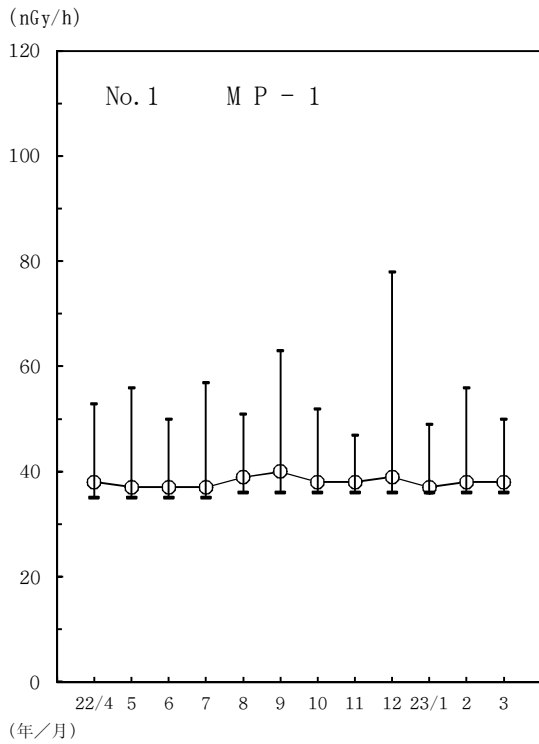
**表4. 16 空間線量率の測定結果（年間平均値及び最大値）**

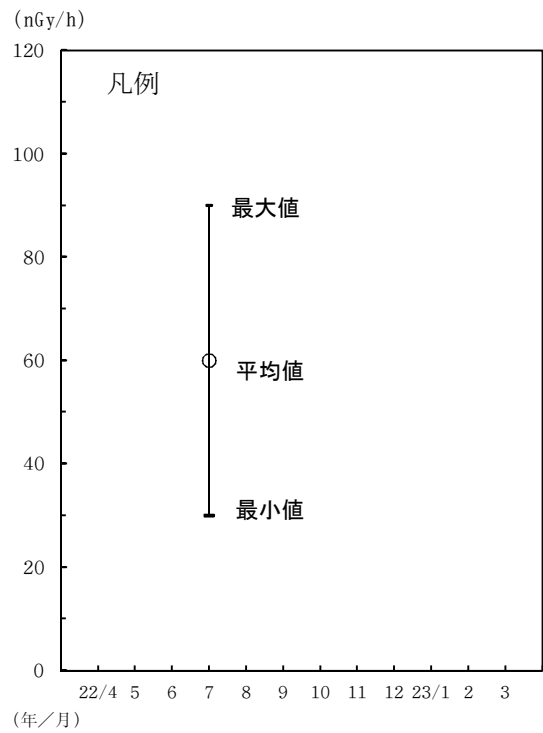
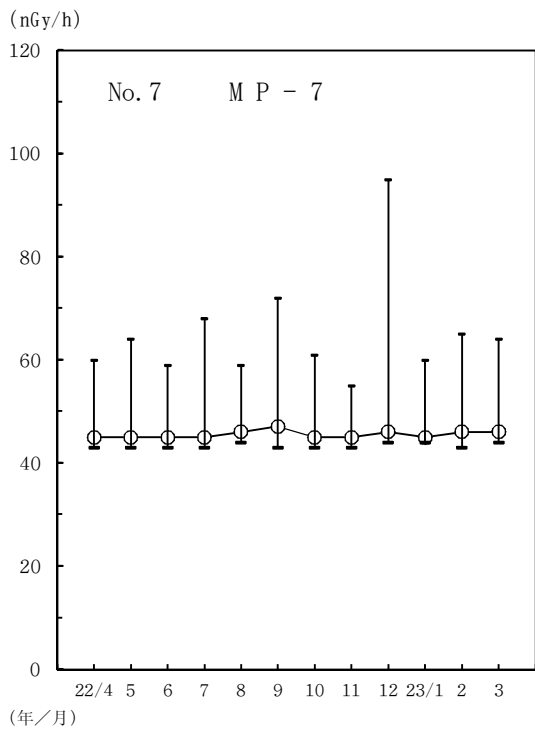
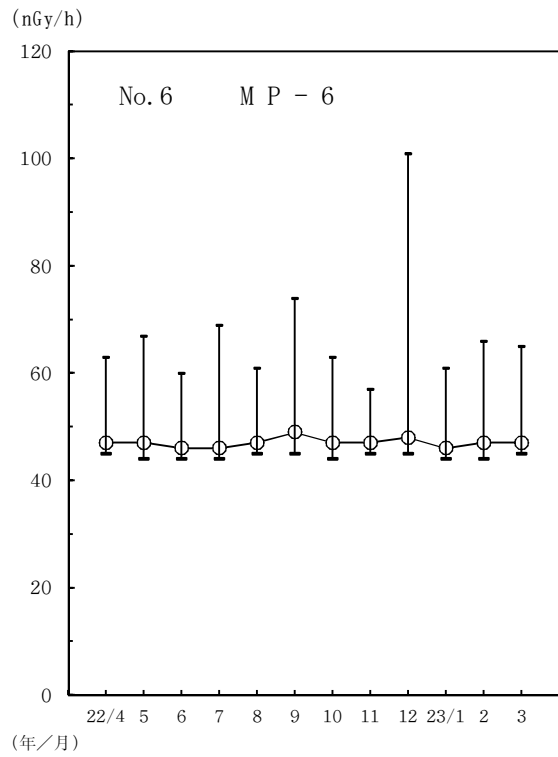
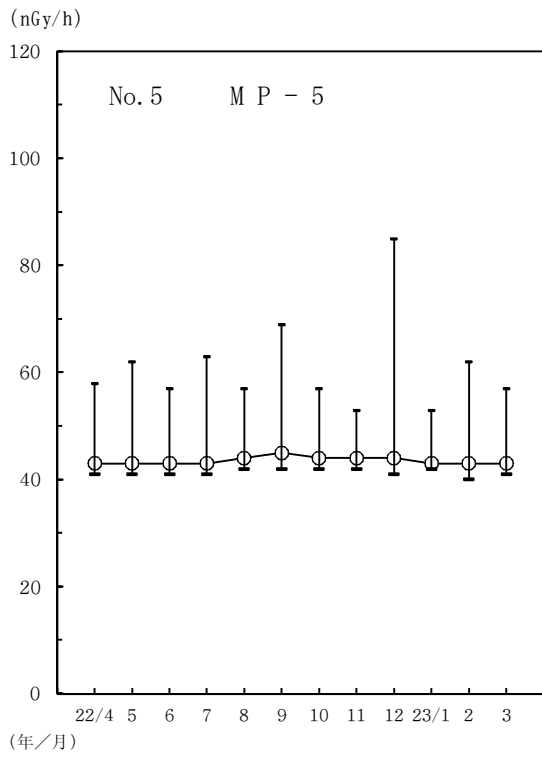
（単位：nGy/h）

No.	測定地点名	震災前 (H22. 4. 1～H23. 3. 10)		震災後 (H23. 3. 11～H23. 3. 31)		今年度測定値 (H22. 4. 1～ H23. 3. 31)		過去の測定値の範囲	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
1	M P - 1	38	78	13,353	130,000	802	130,000	38～40	61～142
2	M P - 2	47	92	7,481	31,428	333	31,428	45～47	72～134
3	M P - 3	38	71	13,695	182,000	821	182,000	38～39	56～79
4	M P - 4	38	78	9,950	145,000	604	145,000	38～40	60～91
5	M P - 5	44	85	9,368	157,000	574	157,000	43～44	64～108
6	M P - 6	47	101	8,693	26,418	411	26,418	46～48	71～145
7	M P - 7	46	95	4,513	19,100	212	19,100	46～47	69～162

- （注） 1. 震災前、震災後、今年度の平均値は、各々の期間の1時間の測定値の和を測定値の数で除して求めた。  
 2. 最大値は、1時間値の最大。  
 3. 「過去の測定値の範囲」の適用期間は、機器更新後の年度以降の期間であり、平成12年度から。

図4. 7 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移





※ 東日本大震災の影響があった期間を除く3月10日までのデータを使用。

#### 4-3-1-(2) 空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値<sup>\*1</sup>）を表4. 17に示す。

今年度の測定値は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により震災前の過去の測定値を大きく上回った。東日本大震災による津波の影響で、素子が流失したMP-7、富岡町仏浜釜田地点を除く。

最大値は、富岡町上の町社宅の14.53mGyで、最小値は楢葉町下繁岡一丁坪の5.16mGyであった。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図4. 8に示す。

なお、「TLDによる過去の測定値の範囲」は、平成14年度まで測定に用いていた熱蛍光線量計（TLD）のものを参考値として表示している。

表4. 17 空間積算線量の測定結果（年間相当値）（単位：mGy）

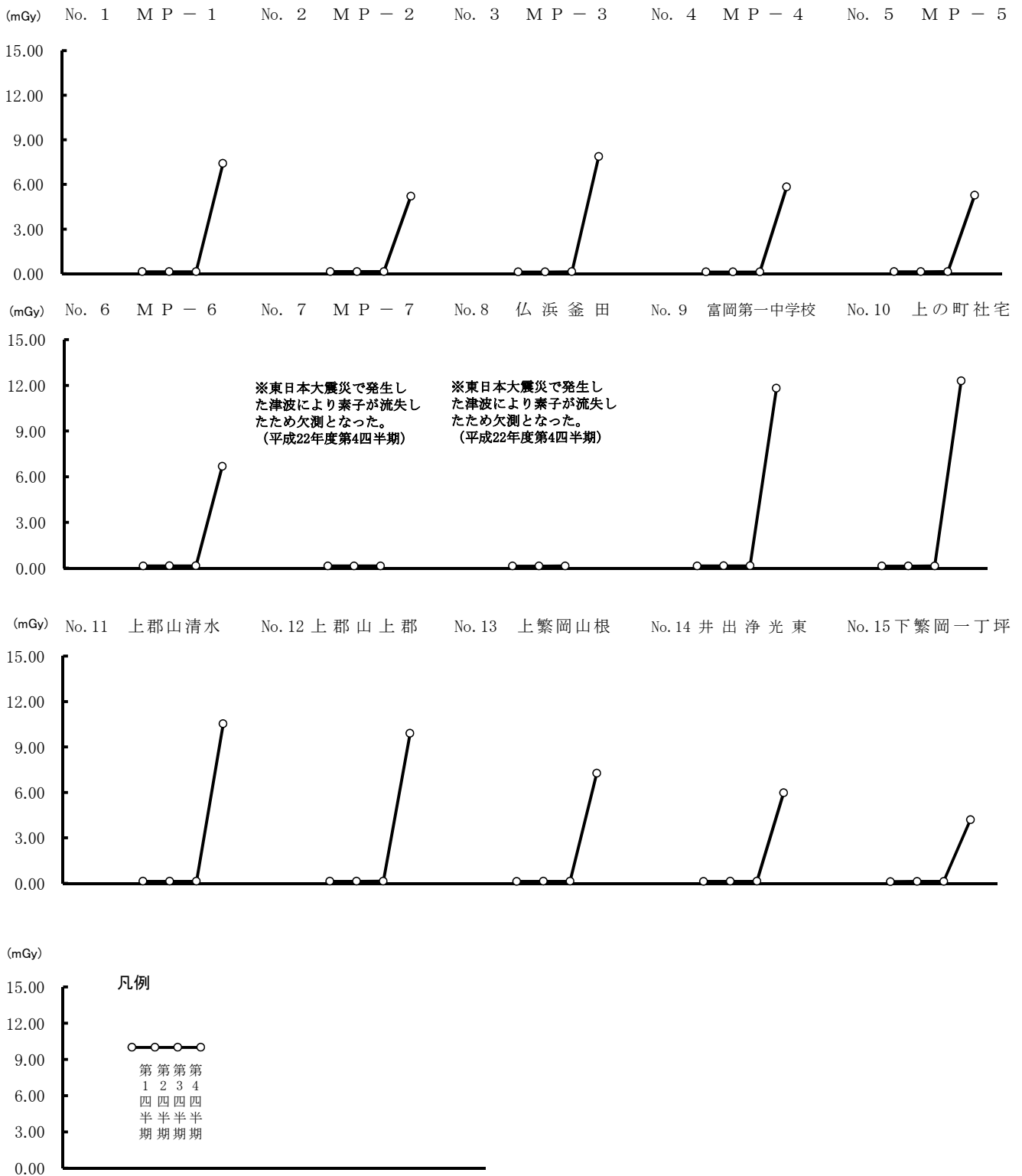
No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値 <sup>*2</sup>	TLDによる過去の測定値の範囲（参考値）
1	M P - 1	8.91	0.49～0.52	0.47～0.57
2	M P - 2	6.40	0.52～0.53	0.49～0.59
3	M P - 3	9.42	0.46～0.48	0.44～0.54
4	M P - 4	7.07	0.45～0.48	0.44～0.54
5	M P - 5	6.45	0.52～0.54	0.50～0.57
6	M P - 6	8.12	0.54～0.57	0.53～0.64
7	M P - 7	0.56 <sup>*3</sup>	0.53～0.56	0.51～0.62
8	富岡町 <small>ほとけ はま かま でん</small> 仏浜釜田	0.53 <sup>*3</sup>	0.52～0.53	0.49～0.59
9	富岡町富岡第一中学校	14.02	0.49～0.55	0.47～0.59
10	富岡町 <small>うえ (の) まち しゃたく</small> 上の町社宅	14.53	0.50～0.52	0.48～0.59
11	富岡町 <small>かみ こおりやま しみず</small> 上郡山清水	12.50	0.48～0.50	0.46～0.60
12	富岡町 <small>かみ こおりやま かみこおり</small> 上郡山上郡	11.78	0.49～0.52	0.48～0.60
13	楢葉町 <small>かみ しげ おか やま ね</small> 上繁岡山根	8.73	0.47～0.50	0.45～0.57
14	楢葉町 <small>いでじょうこうひがし</small> 井出浄光東	7.23	0.47～0.52	0.49～0.61
15	楢葉町 <small>しも しげおか いっちょうつぼ</small> 下繁岡一丁坪	5.16	0.44～0.45	0.42～0.51

\*1. 年間相当値は、各四半期の測定値の和を365日相当に換算して求めた。

\*2. 平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、過去の測定値は平成15年度から平成21年度までの測定値。

\*3. 東日本大震災で発生した津波の影響により素子が流失したため、平成22年度第1四半期から第4四半期までの測定値の和を365相当に換算して求めた。

図4. 8 空間積算線量（90日換算値\*1）の推移



(注) \* 1 90日換算値は、四半期ごとの測定値を換算した。

#### 4-3-2 環境試料

##### 4-3-2-1 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4. 18に示す。

今年度の測定値は、東日本大震災による津波の影響で、測定器が流失したため、平成22年4月1日から平成23年3月10日までの測定値である。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は、 $0.014\text{Bq/m}^3$ 、最大値は $0.10\sim 0.11\text{Bq/m}^3$ であり、全ベータ放射能の平均値は $0.030\sim 0.031\text{Bq/m}^3$ 、最大値は $0.16\text{Bq/m}^3$ であった。

今年度のこれらの測定値は、福島県測定分の既設地点の全アルファ放射能と全ベータ放射能の測定値と同程度であった。

通常、自然界における全アルファ放射能と全ベータ放射能との間には一次の正の良い相関があり、今年度の測定結果も図4. 9のように良い相関が認められた。

表4. 18 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

(単位： $\text{Bq/m}^3$ )

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値*		過去の測定値の範囲	
			平均値	最大値	平均値	最大値
1	富岡町 毛が萱	全アルファ放射能	0.014	0.10	0.006~0.030	0.035~0.20
		全ベータ放射能	0.030	0.16	0.020~0.058	0.061~0.29
2	M P - 7	全アルファ放射能	0.014	0.11	0.005~0.026	0.033~0.15
		全ベータ放射能	0.031	0.16	0.019~0.049	0.058~0.21

(注) 1. 平均値は、6時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して求めた。

2. 最大値は、6時間ごとの測定値の最大を示す。

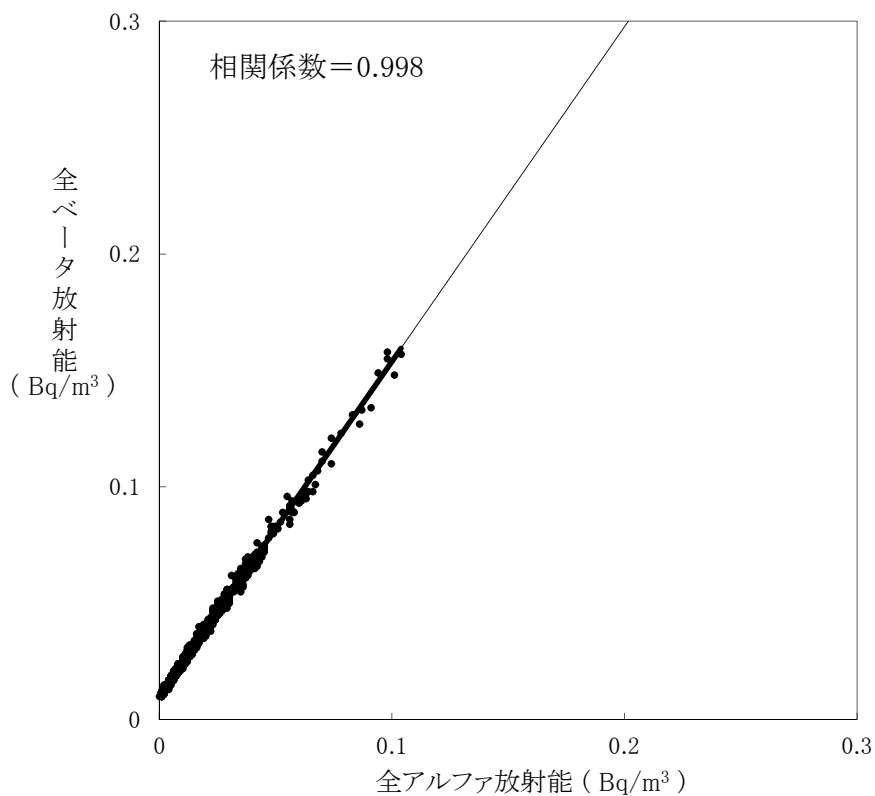
3. 「過去の測定値の範囲」は、機器更新後の平成13年9月から。

\* 東日本大震災で発生した津波の影響で測定器が流失したため、平成23年3月11日以降は欠測となった。

図4.9 全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

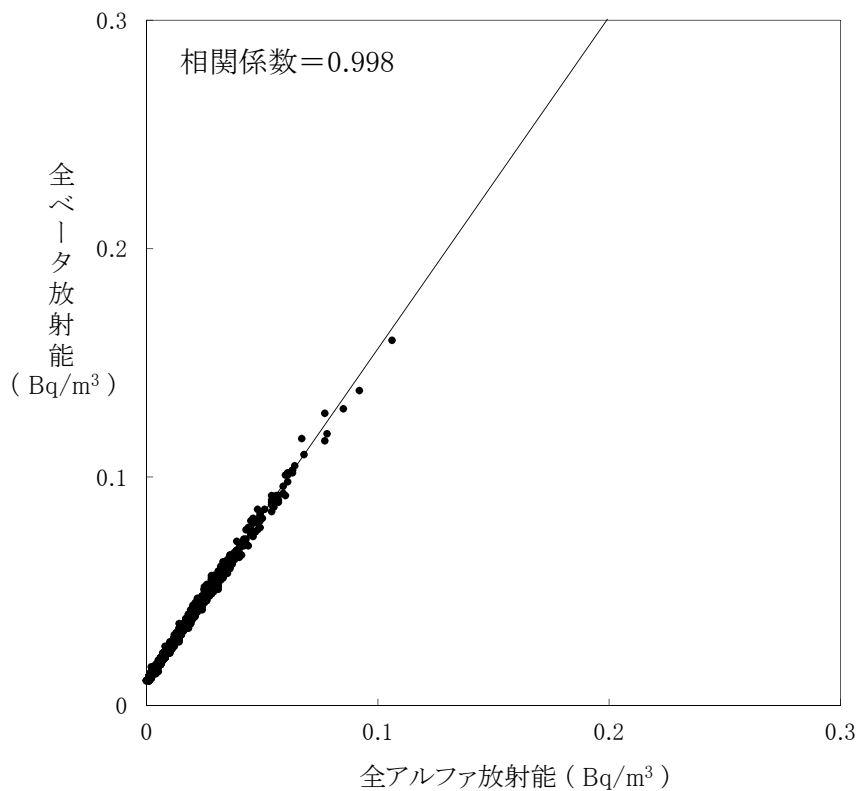
No.1 富岡町 毛 萱

$$\text{全ベータ放射能} = 1.438 \times \text{全アルファ放射能} + 0.010$$



No.2 MP-7

$$\text{全ベータ放射能} = 1.454 \times \text{全アルファ放射能} + 0.108$$



#### 4-3-2-(2) 環境試料中の全ベータ放射能

今年度の測定結果を表4. 19に示す。

今年度の測定値は、従来と同程度であった。

表4. 19 環境試料中の全ベータ放射能測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
陸 土	8	Bq/kg乾	515～665	482～658
海 水	12	Bq/ℓ	0.01～0.04	0.01～0.06
海 底 沈 積 物	12	Bq/kg乾	408～669	290～830
こ め	2	Bq/kg生	20～24	14～26
ほ う れ ん そ う	4		148～208	126～234
だ い こ ん	2		71～74	56～86
牛 乳	8		39～44	36～63
松 葉	8		67～106	47～97
あ い な め	2		121～125	111～130
か れ い 類	1		95	94～112
し ら う お	1		95	92～109
ほ っ き が い	1		採取できず欠測	採取できず欠測
わ か め	1		115	88～168
ほ ん だ わ ら	3		302～307	217～494

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数合計。海水、魚介類の供試料の詳細は、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。



#### 4-3-2-(3) 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表4. 20、21に示す。

今年度は、陸土、海水、牛乳、松葉、あいなめ、かれい類、しらうおからセシウム-137が検出されたが、従来と同程度であった。

その他のガンマ線放出核種については、検出されなかった。

また、海水のトリチウムが検出された。

**表4. 20 環境試料中のセシウム-137濃度測定結果**

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
大気浮遊じん	24	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND
陸土	8	Bq/kg乾	2.2～9.7	1.1～15
海水	12	Bq/ℓ	ND～0.003	ND～0.003
海底沈積物	12	Bq/kg乾	ND	ND～1.5
こめ	2	Bq/kg生	ND	ND～0.03
ほうれんそう	4		ND	ND～0.03
だいこん	2		ND	ND
牛乳	8		ND～0.01	ND～0.05
松葉	8		ND～0.04	ND～0.06
あいなめ	2		0.10～0.12	0.09～0.14
かれい類	1		0.05	0.06～0.09
しらうお	1		0.09	0.10～0.16
ほっきがい	1		採取できず欠測	採取できず欠測
わかめ	1		ND	ND
ほんだわら	3		ND	ND～0.06

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。海水、魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界（計数誤差の3倍）未満。

**表4. 21 環境試料中のトリチウム濃度測定結果**

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
海水	12	Bq/ℓ	ND～0.45	ND～0.77

- (注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。海水の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。  
2. NDは、検出限界（計数誤差の3倍）未満。

#### 4-3-2-(4) 環境試料中のストロンチウム-90濃度

ストロンチウム-90濃度の測定結果を表4. 22に示す。

今年度は、陸土、海水、海底沈積物、ほうれんそう、牛乳、わかめから検出されたが、従来と同程度であった。

表4. 22 環境試料中のストロンチウム-90濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	今年度測定値	過去の測定値の範囲 (平成12年度～平成21年度)
陸土	1	Bq/kg乾	1.5	1.4～2.8
海水	2	Bq/l	0.001	0.001～0.003
海底沈積物	2	Bq/kg乾	ND～0.10	ND～0.16
こめ	1	Bq/kg生	ND	ND～0.02
ほうれんそう	1		0.03	0.02～0.07
だいこん	1		ND	ND～0.45
牛乳	1		0.02	0.01～0.03
しらうお	1		*1	ND～0.02
ほっきがい	1		採取できず欠測	採取できず欠測
わかめ	1		0.05	0.02～0.04

(注) 1. 「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計。海水、魚介類の供試料の詳細については、6-2試料採取時の付帯データ集を参照。

2. NDは、検出限界（計数誤差の3倍）未満。

\*1 東日本大震災及び原子力災害の影響により、測定機器が使用できず、欠測となった。

5-1 福島県測定分

5-1-1 空間放射線

5-1-1-1 (1) ア 空間線量率 (東日本大震災発生日前日まで)

単位: 線量率:nGy/h  
測定時間:h  
上段:平均値  
下段:(最大値)

No.	測定年月 測定項目 地点名	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3 (3.1~3.10) *1	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	広野町 二ツ沼	43 (57)	720	43 (70)	741	43 (59)	720	42 (72)	742	43 (74)	744	44 (70)	720	43 (57)	744	42 (55)	720	44 (102)	743	42 (62)	744	43 (71)	672	43 (61)	240
2	楢葉町 山田岡	44 (55)	720	44 (66)	741	44 (58)	720	43 (64)	743	43 (62)	744	45 (68)	720	44 (56)	744	43 (54)	720	44 (90)	743	43 (56)	744	44 (71)	672	44 (61)	240
3	楢葉町 繁岡	49 (64)	720	49 (72)	744	48 (77)	720	48 (70)	742	51 (66)	733	53 (82)	719	51 (67)	744	52 (64)	720	53 (120)	744	52 (66)	739	52 (83)	671	52 (72)	240
4	楢葉町 松館	41 (56)	720	41 (60)	741	41 (59)	720	41 (65)	743	41 (58)	744	42 (71)	720	41 (60)	744	41 (53)	720	42 (107)	743	41 (54)	744	41 (77)	672	41 (60)	240
5	楢葉町 波倉	38 (50)	720	38 (55)	744	37 (49)	720	37 (54)	743	37 (44)	735	37 (55)	718	35 (46)	744	35 (44)	720	36 (69)	744	35 (44)	742	35 (50)	672	35 (48)	240
6	富岡町 上郡山	37 (51)	720	36 (55)	744	36 (53)	720	36 (56)	743	36 (52)	734	38 (60)	719	37 (49)	744	37 (47)	720	38 (80)	743	36 (48)	743	36 (65)	672	36 (49)	240
7	富岡町 下郡山	42 (58)	720	42 (66)	742	42 (58)	720	42 (66)	743	43 (58)	744	44 (74)	720	42 (61)	744	42 (53)	720	43 (102)	743	42 (55)	744	42 (70)	672	42 (55)	240
8	富岡町 仏浜	38 (54)	720	38 (58)	744	35 (47)	720	36 (56)	727	37 (49)	733	38 (64)	719	37 (57)	744	37 (46)	720	38 (85)	744	37 (51)	742	38 (60)	672	37 (48)	240
9	富岡町 富岡	41 (56)	720	41 (63)	743	41 (55)	720	40 (62)	742	43 (60)	733	45 (71)	719	45 (58)	744	45 (56)	720	46 (103)	744	45 (62)	742	45 (74)	671	45 (55)	240
10	富岡町 夜の森	42 (56)	720	42 (62)	741	42 (66)	720	42 (67)	743	42 (59)	744	43 (66)	720	42 (55)	744	42 (51)	719	43 (95)	744	42 (55)	744	42 (69)	672	42 (55)	240
11	大熊町 熊川	37 (51)	720	36 (55)	741	37 (66)	720	36 (68)	743	37 (53)	744	38 (64)	720	37 (60)	744	37 (45)	719	37 (98)	744	36 (48)	744	36 (54)	672	37 (45)	240

単位: 線量率:nGy/h  
測定時間:h

上段:平均値  
下段:(最大値)

測定年月 測定 地点名 No.	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3 (3.1~ 3.10) *1	
	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
12	40 (57)	720	39 (59)	741	40 (66)	720	39 (77)	742	40 (58)	744	41 (67)	720	40 (52)	744	40 (49)	718	41 (99)	744	39 (58)	744	40 (67)	672	39 (51)	240
13	38 (56)	720	38 (62)	741	38 (60)	720	38 (71)	743	39 (56)	744	40 (66)	720	39 (51)	744	39 (47)	719	40 (85)	744	38 (55)	744	38 (59)	672	38 (49)	240
14	41 (55)	720	41 (56)	741	41 (54)	720	41 (63)	741	41 (57)	742	42 (61)	720	41 (51)	744	41 (52)	719	42 (92)	744	41 (53)	744	41 (67)	672	42 (52)	240
15	40 (59)	720	40 (61)	741	40 (68)	720	40 (77)	743	41 (60)	742	42 (71)	720	41 (58)	744	40 (50)	719	41 (90)	744	40 (58)	744	40 (63)	672	40 (52)	240
16	44 (60)	720	42 (63)	741	43 (60)	720	43 (71)	743	44 (66)	744	45 (72)	720	44 (57)	744	44 (53)	720	45 (100)	743	44 (63)	744	44 (70)	669	44 (59)	240
17	40 (55)	720	40 (59)	744	40 (55)	716	40 (65)	743	40 (55)	740	42 (66)	720	40 (59)	744	40 (49)	720	41 (95)	743	40 (57)	744	40 (61)	672	40 (51)	240
18	41 (53)	720	41 (56)	741	42 (52)	720	42 (62)	743	43 (55)	744	43 (64)	720	42 (52)	744	42 (49)	720	43 (85)	743	41 (55)	744	42 (58)	672	41 (50)	240
19	39 (53)	720	39 (60)	742	39 (54)	720	39 (69)	743	40 (55)	744	41 (68)	720	39 (49)	744	38 (47)	720	40 (91)	743	40 (56)	744	40 (65)	672	40 (54)	240
20	37 (54)	720	37 (54)	741	37 (53)	720	37 (64)	743	37 (53)	744	39 (71)	720	37 (57)	744	38 (47)	720	38 (83)	743	37 (55)	744	38 (63)	672	37 (51)	240
21	51 (67)	720	50 (67)	744	50 (66)	718	50 (81)	742	51 (67)	744	53 (80)	720	52 (68)	744	52 (62)	720	52 (103)	743	51 (68)	744	52 (77)	672	51 (68)	240
22	44 (58)	720	44 (61)	744	44 (59)	717	44 (72)	743	45 (60)	744	46 (68)	720	45 (56)	744	45 (51)	720	45 (89)	743	44 (58)	744	44 (67)	672	44 (57)	240
23	39 (52)	720	39 (55)	744	39 (52)	718	39 (65)	742	39 (52)	744	40 (62)	720	40 (51)	744	40 (47)	720	40 (78)	743	39 (53)	744	40 (60)	672	39 (50)	240

注) \*1 平成23年3月分については、東日本大震災の影響があった期間を除き、3月1日から3月10日までの期間の測定値により算出。

5-1-1-(1)-イ 空間線量率（東日本大震災発生日以降）

単位：測定時間：h  
 線量率：nGy/h  
 上段：平均値  
 下段：(最大値)

測定年月		H23.3 (3.11～3.31) *1			
No.	測定地点名	測定項目	線量率	測定時間	備考
1	広野町 ニッ沼		4,672 (54,607)	504	
2	楮葉町 山田岡		3,460 (146000)	504	
3	楮葉町 繁岡		3,376 (118852)	103	停電*3 により平成23年3月15日8時以降の測定値なし
4	楮葉町 松館		8,069 (49265)	504	
5	楮葉町 波倉		153 (5497)	96	停電*3 平成23年3月15日1時以降の測定値なし
6	富岡町 上郡山		36 (42)	89	停電*3 により平成23年3月14日18時以降の測定値なし
7	富岡町 下郡山		81 (2984)	95	停電*3 平成23年3月15日0時以降の測定値なし
8	富岡町 仏茨		37 (37)	16	流失*4 により平成23年3月11日17時以降の測定値なし
9	富岡町 雷岡		46 (61)	87	停電*3 平成23年3月14日16時以降の測定値なし
10	富岡町 夜の森		4,420 (186000)	115	停電*3 平成23年3月15日20時以降の測定値なし
11	大熊町 藤川		36 (37)	16	流失*4 により平成23年3月11日17時以降の測定値なし
12	大熊町 向畑		110 (1759)	94	停電*3 平成23年3月14日23時以降の測定値なし
13	大熊町 南台		301 (7273)	92	停電*3 平成23年3月14日21時以降の測定値なし
14	大熊町 大野		20245 (390454)	137	停電*3 平成23年3月16日18時以降の測定値なし

線量率:nGy/h 上段:平均値  
 単位: 測定時間:h 下段:(最大値)

No.	測定年月 測定地点名	H23.3 (3.11～3.31) *1			備考
		線量率	測定時間	備	
15	大熊町 茨沢 <small>つばさわ</small>	624 (12968)	92	平成23年3月14日21時以降の測定値なし	停電*3
16	双葉町 山田 <small>やまだ</small>	148521 (1018174)	504		
17	双葉町 郡山 <small>こがね</small>	6822 (72452)	62	平成23年3月13日15時以降の測定値なし	停電*3
18	双葉町 新山 <small>しんざん</small>	176000 (904000)	96	平成23年3月15日1時以降の測定値なし	停電*3
19	双葉町 上羽鳥 <small>かみはねとり</small>	58454 (1591066)	84	平成23年3月14日13時以降の測定値なし	停電*3
20	浪江町 請戸 <small>まじ</small>	37 (37)	16	により平成23年3月11日17時以降の測定値なし	流失*4
21	浪江町 棚塩 <small>たなぼ</small>	51 (52)	16	により平成23年3月11日17時以降の測定値なし	流失*4
22	浪江町 浪江 <small>なみえ</small>	9380 (134000)	504		
23	浪江町 幾世橋 <small>よこせはし</small>	4920 (59700)	88	平成23年3月14日17時以降の測定値なし	停電*3

注) \*1 東日本大震災の発生日以降(3月11日から3月31日までの期間)の測定値により算出。

\*2 空間線量率の測定はモニタリングポスト(NaI(Tl)シンチレーション検出器)により行ったが、10,000nGy/hを超えた場合には併設している高線量測定用モニタリングポスト(電離箱検出器)の測定値で補完した。ただし、10,000nGy/hを超えた時間帯において、高線量測定用モニタリングポストの測定値がない場合には、モニタリングポストの測定値があっても欠測とした。

\*3 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による停電のため、自家用電源が途絶えて以降の測定値なし。

\*4 平成23年3月11日に発生した東日本大震災で発生した津波によりモニタリングポストが流失したため、以降の測定値なし。

5-1-1-(2) 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定期間 H22. 4. 1 ～ H22. 7. 1		H22. 7. 1 ～ H22. 10. 6		H22. 10. 6 ～ H23. 1. 6		H23. 1. 6 ～ H23. 4. 21	
		積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
1	榑葉町 山田岡	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	3.18 ( 2.73 )	105
2	榑葉町 井出	0.14 ( 0.14 )	91	0.15 ( 0.14 )	97	0.14 ( 0.14 )	92	4.38 ( 3.75 )	105
3	榑葉町 上繁岡	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	7.31 ( 6.27 )	105
4	富岡町 太田	0.12 ( 0.12 )	91	0.13 ( 0.12 )	97	0.12 ( 0.12 )	92	7.92 ( 6.79 )	105
5	富岡町 小良ヶ浜	0.12 ( 0.12 )	91	0.13 ( 0.12 )	97	0.12 ( 0.12 )	92	27.92 ( 23.93 )	105
6	富岡町 夜の森北	0.12 ( 0.12 )	91	0.13 ( 0.12 )	97	0.12 ( 0.12 )	92	21.70 ( 18.60 )	105
7	大熊町 熊が川	0.12 ( 0.12 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	—*1 ( —*1 )	—*1
8	大熊町 野上	0.14 ( 0.14 )	91	0.15 ( 0.14 )	97	0.14 ( 0.14 )	92	20.01 ( 17.15 )	105
9	大熊町 長者原	0.11 ( 0.11 )	91	0.12 ( 0.11 )	97	0.11 ( 0.11 )	92	160.75 ( 137.79 )	105
10	双葉町 清戸廻	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	15.08 ( 12.93 )	105
11	双葉町 郡山	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.14 ( 0.14 )	92	9.08 ( 7.78 )	105
12	双葉町 長塚	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	33.14 ( 28.41 )	105
13	浪江町 小野田	0.13 ( 0.13 )	91	0.15 ( 0.14 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	23.00 ( 19.71 )	105
14	浪江町 請戸	0.13 ( 0.13 )	91	0.15 ( 0.14 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	—*1 ( —*1 )	—*1
15	浪江町 幾世橋	0.13 ( 0.13 )	91	0.14 ( 0.13 )	97	0.13 ( 0.13 )	92	2.44 ( 2.09 )	105

(注) 1 ( ) 内は90日換算値

2 \*1: 東日本大震災で発生した津波により素子が流失したため、欠測となった。

5-1-2-1 (1) 大気浮遊じん<sup>1</sup>の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:測定値:Bq/m<sup>3</sup> 測定時間:h  
 上段:平均値 (下段):最大値

No.	測定地点名	測定項目	測定年月		H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3			
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間		
1	榑葉町 しんがき	全アルファ放射能	0.016	714	0.020	732	0.023	684	0.026	744	0.038	744	0.020	720	0.019	744	0.023	720	0.015	744	0.016	744	0.016	744	0.023	648	0.014	240 <sup>*1</sup>	0.014	240 <sup>*1</sup>
			(0.17)		(0.13)		(0.12)		(0.11)		(0.20)		(0.20)		(0.13)		(0.14)		(0.13)		(0.10)		(0.090)		(0.090)		(0.21)	(0.10)	(0.10)	
2	富岡町 とみ	全ベータ放射能	0.037	714	0.043	732	0.048	684	0.053	744	0.072	744	0.044	720	0.042	744	0.048	720	0.036	744	0.038	744	0.038	744	0.048	648	0.035	240 <sup>*1</sup>	0.035	240 <sup>*1</sup>
			(0.28)		(0.20)		(0.20)		(0.18)		(0.32)		(0.22)		(0.23)		(0.22)		(0.18)		(0.18)		(0.16)		(0.16)		(0.35)	(0.18)	(0.18)	
3	大熊町 おほ	全アルファ放射能	0.018	720	0.020	708	0.020	720	0.023	744	0.039	744	0.040	744	0.060	744	0.039	720	0.043	744	0.018	744	0.017	744	0.024	672	0.015	240 <sup>*1</sup>	0.015	240 <sup>*1</sup>
			(0.089)		(0.13)		(0.084)		(0.096)		(0.17)		(0.14)		(0.22)		(0.19)		(0.13)		(0.089)		(0.096)		(0.093)		(0.14)	(0.050)	(0.050)	
4	大熊町 おほ	全ベータ放射能	0.036	720	0.040	708	0.044	720	0.047	744	0.079	744	0.047	744	0.045	744	0.024	720	0.043	744	0.016	744	0.015	744	0.022	672	0.012	240 <sup>*1</sup>	0.012	240 <sup>*1</sup>
			(0.21)		(0.21)		(0.15)		(0.14)		(0.33)		(0.20)		(0.28)		(0.20)		(0.17)		(0.14)		(0.065)		(0.061)		(0.22)	(0.059)	(0.059)	
5	双葉町 ふたば	全アルファ放射能	0.017	720	0.022	708	0.022	720	0.028	744	0.047	744	0.062	744	0.081	744	0.026	720	0.024	744	0.018	744	0.019	744	0.033	672	0.015	240 <sup>*1</sup>	0.015	240 <sup>*1</sup>
			(0.13)		(0.16)		(0.15)		(0.25)		(0.16)		(0.38)		(0.25)		(0.24)		(0.18)		(0.10)		(0.14)		(0.083)		(0.20)	(0.062)	(0.062)	
5	双葉町 ふたば	全ベータ放射能	0.036	720	0.042	708	0.043	720	0.052	744	0.081	744	0.062	744	0.081	744	0.050	720	0.046	744	0.036	744	0.038	744	0.058	672	0.031	240 <sup>*1</sup>	0.031	240 <sup>*1</sup>
			(0.23)		(0.25)		(0.24)		(0.25)		(0.38)		(0.25)		(0.38)		(0.29)		(0.16)		(0.16)		(0.21)		(0.13)		(0.31)	(0.11)	(0.11)	
5	双葉町 ふたば	全アルファ放射能	0.013	720	0.016	732	0.019	702	0.023	726	0.040	744	0.023	726	0.040	744	0.020	720	0.018	744	0.011	744	0.010	744	0.015	660	0.010	240 <sup>*1</sup>	0.010	240 <sup>*1</sup>
			(0.067)		(0.11)		(0.10)		(0.11)		(0.17)		(0.17)		(0.11)		(0.17)		(0.14)		(0.059)		(0.043)		(0.033)		(0.049)	(0.028)	(0.028)	
5	双葉町 ふたば	全ベータ放射能	0.029	720	0.033	732	0.037	702	0.044	726	0.068	744	0.044	726	0.068	744	0.039	720	0.036	744	0.037	720	0.024	744	0.032	660	0.025	240 <sup>*1</sup>	0.025	240 <sup>*1</sup>
			(0.11)		(0.16)		(0.17)		(0.17)		(0.17)		(0.25)		(0.17)		(0.25)		(0.21)		(0.095)		(0.11)		(0.057)		(0.078)	(0.054)	(0.054)	

注) \*1 東日本大震災に伴い停電によって以降、欠測となった。





5-1-2-(3) 大気浮遊じんの核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )																	
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>110m</sup> Ag	<sup>129m</sup> Te	<sup>129</sup> Te	<sup>134</sup> Cs	<sup>136</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	<sup>131</sup> I		
1	檜葉町 繁 <small>しげ</small> 岡 <small>おか</small>	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H22. 5. 1 ~ H22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 6. 1 ~ H22. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 7. 1 ~ H22. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 8. 1 ~ H22. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 9. 1 ~ H22. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 10. 1 ~ H22. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 11. 1 ~ H22. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 12. 1 ~ H22. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 1. 1 ~ H23. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 2. 1 ~ H23. 2. 28	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	
				欠測 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	富岡町 富 <small>とみ</small> 岡 <small>おか</small>	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
				H22. 5. 1 ~ H22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H22. 6. 1 ~ H22. 6. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 7. 1 ~ H22. 7. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 8. 1 ~ H22. 8. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 9. 1 ~ H22. 9. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 10. 1 ~ H22. 10. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 11. 1 ~ H22. 11. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H22. 12. 1 ~ H22. 12. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H23. 1. 1 ~ H23. 1. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H23. 2. 1 ~ H23. 2. 28	— <sup>*1</sup>			— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	
				欠測 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	大熊町 大 <small>お</small> 野 <small>の</small>			H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
				H22. 5. 1 ~ H22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 6. 1 ~ H22. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 7. 1 ~ H22. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 8. 1 ~ H22. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 9. 1 ~ H22. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 10. 1 ~ H22. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 11. 1 ~ H22. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 12. 1 ~ H22. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 1. 1 ~ H23. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 2. 1 ~ H23. 2. 28	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	— <sup>*1</sup>	
				欠測 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )																
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>110m</sup> Ag	<sup>129</sup> Te	<sup>129m</sup> Te	<sup>134</sup> Cs	<sup>136</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	<sup>131</sup> I	
4	大熊町 おつとぎわ 夫沢	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 5. 1 ~ H22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 6. 1 ~ H22. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 7. 1 ~ H22. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 8. 1 ~ H22. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 9. 1 ~ H22. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 10. 1 ~ H22. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 11. 1 ~ H22. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 12. 1 ~ H22. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H23. 1. 1 ~ H23. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H23. 2. 1 ~ H23. 2. 28	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1
		欠測*2			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	双葉町 こおりやま 郡山	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 5. 1 ~ H22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 6. 1 ~ H22. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 7. 1 ~ H22. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 8. 1 ~ H22. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 9. 1 ~ H22. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 10. 1 ~ H22. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 11. 1 ~ H22. 11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 12. 1 ~ H22. 12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 1. 1 ~ H23. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 2. 1 ~ H23. 2. 28	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	—*1	
		欠測*2			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「—」：欠測

2 \*1：平成23年2月は試料を採取したが、停電による測定機器停止及び試料汚染の恐れが生じたため、欠測となった。

3 \*2：停電によりダストサンプラナーが停止したため、欠測となった。

5-1-2-(4) 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	榎葉町 しげおか 繁岡	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	4.7	0.74	大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> ) 6.4
		H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	4.8	0.52	9.3
		H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	10	0.70	14
		H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	7.7	0.44	17
		H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	18
		H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	ND	ND	15
		H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	4.5	0.41	11
		H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	ND	ND	6.8
		H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	ND	ND	3.9
		H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	—*3	—*3	—*3
		H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	5.0	0.77	6.4
		H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	5.8	0.61	9.5
H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	8.4	0.62	14		
2	富岡町 とみおか 富岡	H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	10	0.59	17
		H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	19
		H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	ND	ND	15
		H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	ND	ND	11
		H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	ND	ND	7.0
		H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	ND	ND	4.7
		H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	—*3	—*3	—*3
		H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	4.1	0.64	6.5
		H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	6.9	0.73	9.5
		H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	14	0.94	15
		H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	12	0.59	20
		H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	21
H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	ND	ND	16		
3	大熊町 おおの 大野	H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	8.6	0.72	12
		H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	ND	ND	7.0
		H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	ND	ND	5.1
		H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	—*3	—*3	—*3

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
4	大熊町 おとせお 夫沢	H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	6.1	0.88	6.9
		H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	7.1	0.69	10
		H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	13	0.89	14
		H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	—*1	—*1	15
		H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	18
		H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	9.6	0.59	16
		H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	5.8	0.48	12
		H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	3.8	0.50	7.5
		H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	2.3	0.48	4.7
		H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2
		H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	—*3	—*3	—*3
		H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	6.0	0.91	6.6
		H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	5.8	0.57	10
H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	16	1.0	15		
H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	15	0.85	20		
H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	21		
H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	ND	ND	17		
H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	9.0	0.74	12		
H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	ND	ND	7.3		
H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	ND	ND	5.3		
H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2		
H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2		
H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	—*3	—*3	—*3		
H22. 4. 1 ~ H22. 4. 30	4.0	0.67	5.9		
H22. 4. 30 ~ H22. 6. 1	4.9	0.53	9.2		
H22. 6. 1 ~ H22. 7. 1	12	0.85	14		
H22. 7. 1 ~ H22. 8. 2	11	0.60	18		
H22. 8. 2 ~ H22. 9. 1	ND	ND	18		
H22. 9. 1 ~ H22. 10. 1	ND	ND	18		
H22. 10. 1 ~ H22. 11. 1	5.1	0.46	11		
H22. 11. 1 ~ H22. 12. 1	ND	ND	6.4		
H22. 12. 1 ~ H23. 1. 4	ND	ND	4.7		
H23. 1. 4 ~ H23. 2. 1	—*2	—*2	—*2		
H23. 2. 1 ~ H23. 3. 1	—*2	—*2	—*2		
H23. 3. 1 ~ H23. 4. 1	41	10	4.0		
※	福島市				

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「—」：欠測

2 「※」：比較対象地点

3 \*1：試料採取中に大気を吸引するホースがねじれ吸引が停止した。積算吸引量から試料採取期間が半分に満たなかったと推定されたため、欠測となった。

4 \*2：平成23年1月分及び2月分は採取したが、停電による測定機器停止及び試料汚染の恐れが生じたため、欠測となった。

5 \*3：停電により捕集装置が停止したため、欠測となった。









試料名	種類 又は 部位	採取 年月日	採取地点番号 及び採取地点名	単位	全ベータ 放射能 測定値	核種濃度														天然 核種						
						<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>110m</sup> Ag	<sup>129m</sup> Te	<sup>129m</sup> Te	<sup>134</sup> Cs	<sup>136</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs		<sup>144</sup> Ce	<sup>3</sup> H	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>238</sup> 240Pu	<sup>40</sup> K
海底沈積物	砂 または 海底土	H22. 5. 28	第二(発)沖合	Bq/kg乾	580	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.61	528		
		H22. 10. 8			485	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	441	
こめ	精白米	H22. 7. 8	相馬市松川浦	Bq/kg生	399	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	382		
		H22. 11. 2	1 広野町 下北迫		22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	22		
		H22. 11. 2	2 榑葉町 波倉		30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	
		H22. 11. 8	3 富岡町 本岡		19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18	
		H22. 11. 2	4 大熊町 夫沢		24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	21	
		H22. 11. 2	5 双葉町 郡山		33	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	33	
		H22. 11. 2	6 浪江町 北幾世橋		24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	24	
		H22. 11. 5	※ 福島市		20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	23
		H22. 11. 5	※ 郡山市		19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	23
		H22. 4. 21	1 広野町 下北迫		179	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	202
ほうれんそう	葉 茎	H22. 12. 6	榑葉町 波倉	Bq/kg生	190	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	212		
		H22. 4. 12			181	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	198		
		H22. 12. 6			223	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	237	
		H22. 4. 12			185	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	200	
		H22. 12. 7			203	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	224
		H22. 4. 13			152	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	173
だいこん	根 部	H22. 11. 30	富岡町 小良ヶ浜	Bq/kg生	222	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	246		
		H22. 4. 13			194	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	227		
		H22. 11. 15			213	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	238		
		H22. 4. 20			179	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	202	
		H22. 11. 18			227	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	234
		H22. 11. 17			205	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	238	
だいこん	根 部	H22. 11. 17	※ 郡山市	200	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	231			
		H22. 6. 25	1 広野町 下北迫	63	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	75			
		H22. 11. 16	2 榑葉町 波倉	64	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	60			
だいこん	根 部	H22. 6. 25	富岡町 本岡	Bq/kg生	69	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	76		
		H22. 11. 16			58	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	53		
H22. 6. 21	66	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	75			
H22. 11. 16	70	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	74			











5-2 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分

5-2-1 空間放射線  
5-2-1-1 (1) 空間線量率

単位: 線量率:nGy/h  
測定時間:h  
上段:平均値  
下段:(最大値)

測定年月 測定項目 測定地点名 No.	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3 (震災前)*1		3 (震災後)*2		
	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	
1 M P - 1	37 (56)	720	37 (57)	736	37 (53)	719	37 (74)	744	38 (54)	744	40 (67)	720	38 (64)	744	38 (45)	718	38 (93)	744	37 (57)	744	37 (60)	672	37 (48)	240	- (-)	-	-
2 M P - 2	41 (59)	720	41 (63)	737	41 (58)	718	41 (72)	744	41 (60)	744	43 (70)	720	42 (62)	744	41 (49)	718	42 (90)	744	40 (54)	744	40 (62)	672	41 (52)	240	- (-)	-	-
3 M P - 3	38 (51)	720	37 (54)	737	38 (51)	718	38 (64)	744	39 (53)	744	40 (63)	720	38 (53)	744	38 (46)	718	39 (86)	744	38 (57)	744	38 (56)	672	38 (46)	240	- (-)	-	-
4 M P - 4	37 (54)	720	37 (58)	737	37 (51)	718	37 (69)	744	38 (57)	744	39 (66)	720	37 (55)	744	37 (46)	718	38 (96)	744	37 (56)	744	37 (59)	672	37 (47)	240	- (-)	-	-
5 M P - 5	32 (51)	720	32 (57)	737	32 (50)	718	32 (68)	744	33 (56)	744	34 (64)	720	32 (49)	744	32 (41)	718	33 (88)	744	32 (48)	744	32 (54)	672	32 (43)	240	- (-)	-	-
6 M P - 6	35 (47)	720	35 (55)	736	37 (49)	718	36 (62)	744	38 (52)	744	38 (61)	720	36 (46)	744	36 (43)	718	36 (67)	743	35 (51)	744	36 (49)	672	35 (42)	240	- (-)	-	-
7 M P - 7	39 (54)	720	39 (56)	744	39 (56)	711	39 (66)	744	40 (57)	744	41 (64)	720	40 (52)	744	40 (45)	718	40 (73)	744	39 (51)	744	39 (53)	672	39 (48)	240	- (-)	-	-
8 M P - 8	39 (58)	720	39 (58)	744	39 (66)	710	39 (77)	744	40 (60)	744	41 (70)	720	39 (58)	744	39 (49)	718	40 (77)	744	39 (55)	744	39 (61)	672	39 (51)	240	- (-)	-	-

\* 1 : 平成23年3月1日～平成23年3月10日までの測定値。

\* 2 : 平成23年3月11日～平成23年3月31日までの測定値。

5-2-1-1-(2) 空間積算線量

(単位:mGy)

No.	測定地点名	H22.4.1		H22.7.1		H22.10.6		H22.10.6		H23.1.6	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	M P - 1	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	17.42 (14.11)	111
2	M P - 2	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	91.76 (74.34)	111
3	M P - 3	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	93.24 (75.51)	111
4	M P - 4	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	0.13 (0.13)	92	44.80 (36.28)	111
5	M P - 5	0.11 (0.11)	91	0.12 (0.11)	97	0.11 (0.11)	92	0.11 (0.11)	92	176.25 (142.74)	111
6	M P - 6	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	211.84 (171.57)	111
7	M P - 7	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	0.13 (0.13)	92	385.40 (312.25)	111
8	M P - 8	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	365.93 (296.48)	111
9	双葉町郡山堂ノ上	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	15.94 (12.91)	111
10	双葉町長塚鬼木	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	21.62 (17.51)	111
11	双葉町山田西郷内	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	40.42 (32.74)	111
12	大熊町夫沢中英台	0.13 (0.13)	91	0.15 (0.14)	97	0.13 (0.13)	92	0.13 (0.13)	92	185.85 (150.62)	111
13	大熊町役場	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	43.24 (35.03)	111
14	大熊町小入野東大和久	0.13 (0.13)	91	0.15 (0.14)	97	0.13 (0.13)	92	0.13 (0.13)	92	105.85 (85.76)	111
15	大熊町熊川緑ヶ丘	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.12 (0.12)	92	0.12 (0.12)	92	106.68 (86.43)	111
16	大熊町熊川久麻川	0.13 (0.13)	91	0.15 (0.14)	97	0.13 (0.13)	92	0.13 (0.13)	92	73.98 (59.94)	111

(注) 1.( )内は、90日換算値。



5-2-2 環境試料

5-2-2-2(1) 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位： 測定値: Bq/m<sup>3</sup> 上段: 平均値  
測定時間: h 下段: (最大値)

No.	測定地点名	測定年月	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3		*	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間		
1	M P - 3	全アルファ放射能	0.013	696	0.015	744	0.016	708	0.016	744	0.016	744	0.027	744	0.015	720	0.013	744	0.018	708	0.013	744	0.012	744	0.016	672	0.011	240
			(0.057)		(0.081)		(0.067)		(0.082)		(0.065)		(0.057)		(0.082)		(0.040)		(0.065)		(0.057)		(0.036)		(0.063)		(0.030)	
			0.027	696	0.030	744	0.031	708	0.032	744	0.047	744	0.031	720	0.028	744	0.034	708	0.027	744	0.034	708	0.025	744	0.031	672	0.024	240
			(0.085)		(0.12)		(0.15)		(0.098)		(0.10)		(0.13)		(0.062)		(0.101)		(0.082)		(0.101)		(0.057)		(0.090)		(0.051)	
2	M P - 8	全アルファ放射能	0.011	696	0.013	744	0.015	708	0.016	744	0.025	744	0.025	744	0.015	720	0.012	744	0.015	708	0.010	744	0.009	744	0.014	672	0.009	240
			(0.053)		(0.084)		(0.082)		(0.072)		(0.10)		(0.044)		(0.089)		(0.044)		(0.053)		(0.041)		(0.032)		(0.063)		(0.029)	
			0.024	696	0.027	744	0.029	708	0.031	744	0.044	744	0.030	720	0.026	744	0.030	708	0.024	744	0.024	744	0.022	744	0.028	672	0.022	240
			(0.080)		(0.12)		(0.12)		(0.11)		(0.15)		(0.13)		(0.067)		(0.083)		(0.063)		(0.083)		(0.063)		(0.051)		(0.088)	

\* 東日本大震災の影響により測定値の確認ができた3月1日～10日のみ使用

5-2-2-(2) 大気浮遊じんの核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )															
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce					
1	MP-3	H22. 4.1 ~ H22. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 5.1 ~ H22. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 6.1 ~ H22. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 7.1 ~ H22. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 8.1 ~ H22. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 9.1 ~ H22. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 10.1 ~ H22. 10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 11.1 ~ H22. 11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H22. 12.1 ~ H22. 12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H23. 1.1 ~ H23. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H23. 2.1 ~ H23. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
*H23. 3.1 ~ H23. 3.31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
2	MP-8	H22. 4.1 ~ H22. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 5.1 ~ H22. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 6.1 ~ H22. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 7.1 ~ H22. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 8.1 ~ H22. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 9.1 ~ H22. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 10.1 ~ H22. 10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 11.1 ~ H22. 11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H22. 12.1 ~ H22. 12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H23. 1.1 ~ H23. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
H23. 2.1 ~ H23. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
*H23. 3.1 ~ H23. 3.31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

(注) 1. 「ND」：検出限界未満 「—」：欠測

\* 東日本大震災及び原子力災害の影響により、試料が採取できなかったため、欠測となった。





5-3 東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分

5-3-1 空間放射線  
5-3-1-1 空間線量率

単位：  
線量率：nGy/h  
測定時間：h

上段：平均値  
下段：(最大値)

測定年月	測定項目	測定地点名	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3 (3.1~3.10)		3 (3.11~3.31)	
			線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	MP-1		38 (53)	720	37 (56)	739	37 (50)	720	37 (57)	744	39 (51)	744	40 (63)	718	38 (52)	743	38 (47)	719	39 (78)	744	37 (49)	744	38 (56)	672	38 (50)	207	13353 (130000)	504
2	MP-2		48 (64)	720	47 (67)	739	48 (62)	720	48 (67)	744	49 (62)	744	50 (77)	719	48 (63)	743	47 (59)	719	46 (92)	742	44 (57)	716	45 (64)	670	45 (58)	240	7481 (31428)	337
3	MP-3		38 (52)	720	37 (56)	739	37 (49)	720	37 (55)	744	38 (50)	744	39 (60)	718	38 (52)	741	38 (46)	720	38 (71)	744	37 (48)	744	37 (56)	671	37 (49)	218	13695 (182000)	504
4	MP-4		38 (53)	720	38 (60)	744	38 (51)	715	38 (58)	744	39 (53)	744	40 (61)	719	38 (52)	743	38 (47)	719	39 (78)	744	38 (48)	727	37 (54)	671	37 (51)	235	9950 (145000)	504
5	MP-5		43 (58)	720	43 (62)	744	43 (57)	715	43 (63)	744	44 (57)	744	45 (69)	718	44 (57)	743	44 (53)	719	44 (85)	744	43 (53)	744	43 (62)	672	43 (57)	240	9368 (157000)	504
6	MP-6		47 (63)	720	47 (67)	744	46 (60)	715	46 (69)	744	47 (61)	744	49 (74)	719	47 (63)	743	47 (57)	719	48 (101)	744	46 (61)	726	47 (66)	672	47 (65)	240	8693 (26418)	370
7	MP-7		45 (60)	720	45 (64)	744	45 (59)	715	45 (68)	744	46 (59)	744	47 (72)	719	45 (61)	743	45 (55)	719	46 (95)	744	45 (60)	744	46 (65)	671	46 (64)	240	4513 (19100)	288

5-3-1-1-(2) 空間積算線量

(単位：mGy)

No.	測定地点名	測定期間		H22.7.1		H22.10.6		H23.1.6	
		測定項目	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量
1	M P - 1	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	9.15 (7.41)	111
2	M P - 2	0.14 (0.14)	91	0.15 (0.14)	97	0.14 (0.14)	92	6.43 (5.21)	111
3	M P - 3	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.13 (0.13)	92	9.71 (7.87)	111
4	M P - 4	0.12 (0.12)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	7.21 (5.84)	111
5	M P - 5	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.14 (0.14)	92	6.50 (5.27)	111
6	M P - 6	0.14 (0.14)	91	0.16 (0.15)	97	0.15 (0.15)	92	8.25 (6.68)	111
7	M P - 7	0.14 (0.14)	91	0.15 (0.14)	97	0.14 (0.14)	92	—*	—
8	富岡町 仏 浜 釜 田	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.14 (0.14)	92	—*	—
9	富岡町 富岡第一中学校	0.14 (0.14)	91	0.16 (0.15)	97	0.15 (0.15)	92	14.57 (11.81)	111
10	富岡町 上の 町 社 宅	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.14 (0.14)	92	15.16 (12.29)	111
11	富岡町 上の 郡 山 清水	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	12.99 (10.53)	111
12	富岡町 上の 郡 山 上 郡	0.13 (0.13)	91	0.14 (0.13)	97	0.14 (0.14)	92	12.21 (9.90)	111
13	楡葉町 上の 郡 山 根	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	8.96 (7.26)	111
14	楡葉町 井 出 浄 光 東	0.12 (0.12)	91	0.14 (0.13)	97	0.13 (0.13)	92	7.36 (5.97)	111
15	楡葉町 下の 郡 山 二 丁 坪	0.11 (0.11)	91	0.13 (0.12)	97	0.12 (0.12)	92	5.17 (4.19)	111

(注) 1 ( ) 内は、90日換算値。

\* 東日本大震災で発生した津波により素子が流失したため、欠測となった。

5-3-2 環境試料  
5-3-2-(1) 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

測定値: Bq/m<sup>3</sup>  
測定時間: h

単位:  
上段: 平均値  
下段: (最大値)

測定年月	H22.4		5		6		7		8		9		10		11		12		H23.1		2		3*		
	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	
1 富岡町毛萱 <sup>※</sup>	全アルファ放射能	0.011 (0.062)	720	0.012 (0.064)	744	0.012 (0.064)	696	0.013 (0.056)	744	0.028 (0.10)	744	0.015 (0.094)	720	0.014 (0.045)	744	0.016 (0.053)	708	0.009 (0.040)	744	0.010 (0.038)	744	0.015 (0.063)	672	0.009 (0.025)	240
	全ベータ放射能	0.026 (0.096)	720	0.027 (0.098)	744	0.027 (0.10)	696	0.029 (0.096)	744	0.049 (0.16)	744	0.031 (0.15)	720	0.031 (0.072)	744	0.034 (0.089)	708	0.024 (0.069)	744	0.025 (0.065)	744	0.031 (0.097)	672	0.024 (0.051)	240
2 MP-7	全アルファ放射能	0.010 (0.045)	720	0.012 (0.059)	744	0.014 (0.063)	696	0.016 (0.063)	744	0.026 (0.11)	744	0.016 (0.077)	720	0.014 (0.043)	744	0.015 (0.048)	708	0.010 (0.042)	744	0.009 (0.030)	744	0.012 (0.057)	672	0.008 (0.026)	240
	全ベータ放射能	0.025 (0.078)	720	0.028 (0.096)	744	0.030 (0.10)	696	0.033 (0.10)	744	0.048 (0.16)	744	0.033 (0.13)	720	0.032 (0.071)	744	0.034 (0.081)	708	0.026 (0.071)	744	0.024 (0.056)	744	0.029 (0.090)	672	0.023 (0.050)	240

\* 東日本大震災による津波の影響で測定器が流失したため、平成23年3月10日までの測定値。

5-3-2-2 (2) 大気浮遊じんの核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )																			
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce									
1	富岡町 毛 葺	22. 4. 1~22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND					
		22. 5. 1~22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		22. 6. 1~22. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		22. 7. 1~22. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		22. 8. 1~22. 8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		22. 9. 1~22. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		22.10. 1~22.10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		22.11. 1~22.11. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		22.12. 1~22.12. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		23. 1. 1~23. 1. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		23. 2. 1~23. 2. 28 <sup>*1</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		欠測 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		2	MP-7	22. 4. 1~22. 4. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
				22. 5. 1~22. 5. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
22. 6. 1~22. 6. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22. 7. 1~22. 7. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22. 8. 1~22. 8. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22. 9. 1~22. 9. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22.10. 1~22.10. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22.11. 1~22.11. 30	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
22.12. 1~22.12. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
23. 1. 1~23. 1. 31	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
23. 2. 1~23. 2. 28 <sup>*1</sup>	—			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
欠測 <sup>*2</sup>	—			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 1 「ND」は検出限界未満である。

\*1 東日本大震災及び原子力災害の影響により、欠測となった。

\*2 東日本大震災で発生した津波により測定器が流失したため、平成23年3月11日以降欠測となった。







## 6-1 原子力発電所の運転状況等

### 6-1-1 (1) 福島県の原子力発電所一覧

発電所名	所在地	認可出力 (MW) (注)	原子炉設置 許可年月日	工事認可 年月日	運転開始 年月日
東京電力(株)福島 第一原子力発電所	(1号機)	460	41.12.1	42.9.29	46.3.26
	(2号機)	784	43.3.29	44.5.27	49.7.18
	(3号機)	784	45.1.23	45.10.17	51.3.27
	(4号機)	784	47.1.13	47.5.8	53.10.12
	(5号機)	784	46.9.23	46.12.22	53.4.18
	(6号機)	1,100	47.12.12	48.3.16	54.10.24
東京電力(株)福島 第二原子力発電所	(1号機)	1,100	49.4.30	50.8.21	57.4.20
	(2号機)	1,100	53.6.26	54.1.23	59.2.3
	(3号機)	1,100	55.8.4	55.11.10	60.6.21
	(4号機)	1,100	55.8.4	55.11.10	62.8.25
東北電力(株)浪江 小高原子力発電所	(1号機)	825	建設予定		

(注) 1MW=1,000kW

### 6-1-1 (2) 平成22年度設備利用率(月別)

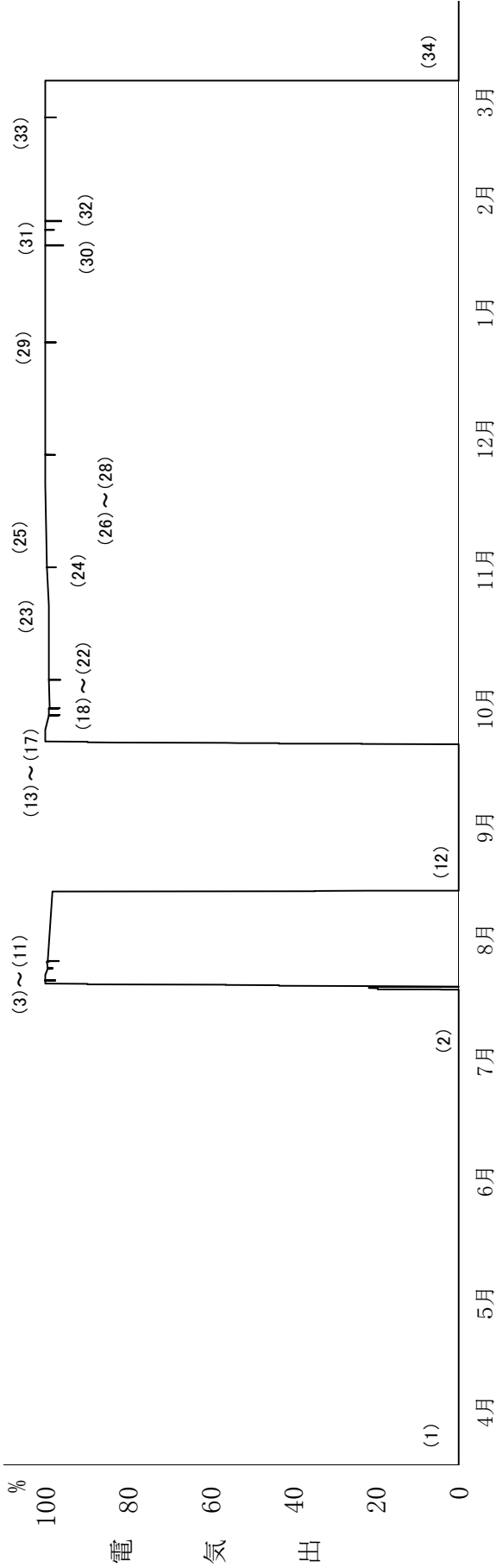
発電所名	年月 認可 出力(MW)	H22.										H23.			計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
東京電力(株) 福島第一 原子力発電所	1号機	460	0.0	0.0	0.0	8.6	66.9	10.9	99.2	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9	34.2	51.5
	2号機	784	100.0	100.0	55.4	39.0	99.9	49.2	0.0	38.1	100.4	100.5	100.5	34.4	67.9	
	3号機	784	100.7	100.5	59.8	0.0	0.0	21.3	100.5	100.9	100.9	100.6	101.0	34.6	68.1	
	4号機	784	100.4	100.4	100.3	100.1	99.9	99.5	99.7	95.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.5	
	5号機	784	105.1	105.0	104.5	103.7	103.6	103.1	103.5	6.2	20.4	6.0	0.0	0.0	63.8	
	6号機	1,100	104.7	104.5	104.2	103.8	42.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	
東京電力(株) 福島第二 原子力発電所	1号機	1,100	101.4	101.4	40.2	0.0	0.0	18.6	100.9	101.2	101.2	101.3	101.4	34.7	66.6	
	2号機	1,100	0.0	0.0	90.9	100.4	100.3	100.0	100.1	100.6	100.8	100.9	100.9	34.6	77.3	
	3号機	1,100	100.9	100.9	100.6	100.5	100.3	97.7	100.2	100.4	100.6	100.7	100.7	34.2	94.7	
	4号機	1,100	100.9	100.9	100.2	100.6	100.3	99.8	99.7	26.2	0.0	12.7	101.2	34.7	72.8	

(注) 設備利用率 =  $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100 (\%)$

# 6-1- (3) 運 転 状 況

福島第一原子力発電所 平成22年度

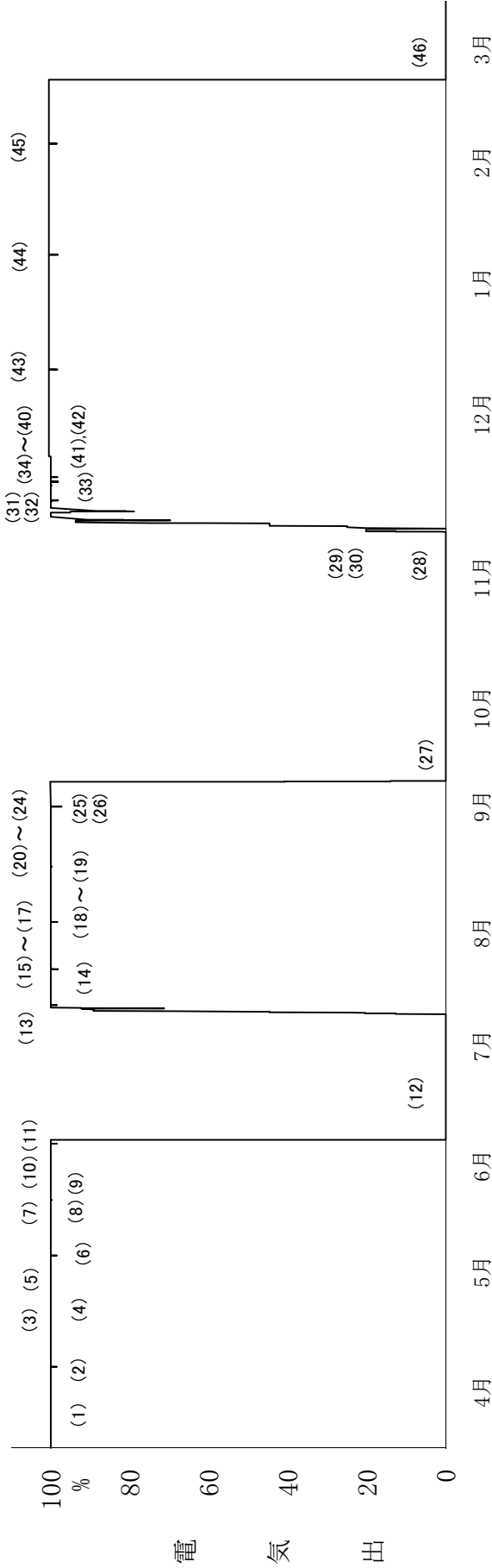
1号機 認可出力 460MW



記 事
(1) 第26回定期検査の停止期間(22.3.25 0:00 ~ 22.7.29 2:27)
(2) タービン調整(22.7.28 7:40 ~ 22.7.29 0:31)
(3) 発電機並列後の出力上昇(22.7.29 2:27 ~ 22.8.2 10:00)
(4) 調整運転(22.7.29 2:27 ~ 22.8.21 24:00)
(5) 海水温度上昇による出力低下(22.8.2 10:00 ~ 22.8.2 14:04)
(6) 高圧注水系の機能検査(社内)に伴う出力低下(22.8.2 14:04 ~ 22.8.2 18:15)
(7) 海水温度上昇による出力低下(22.8.2 18:15 ~ 22.8.4 6:02)
(8) 高圧注水系の確認運転に伴う出力低下(22.8.4 6:02 ~ 22.8.4 6:52)
(9) 海水温度上昇による出力低下(22.8.4 6:52 ~ 22.8.4 9:24)
(10) 高圧注水系の機能検査に伴う出力低下(22.8.4 9:24 ~ 22.8.4 12:15)
(11) 海水温度上昇による出力低下(22.8.4 12:15 ~ 22.8.21 18:00)
(12) 高圧タービンケーシングからの漏えい箇所点検修理に伴う中間停止(22.8.22 0:00 ~ 22.9.27 10:01)
(13) 発電機並列後の出力上昇(22.9.27 10:01 ~ 22.10.1 10:00)
(14) 調整運転(22.9.27 10:01 ~ 22.10.15 16:30 総合負荷性能検査合格)
(15) 海水温度上昇による出力低下(22.10.1 10:00 ~ 22.10.4 13:59)
(16) 高圧注水系の機能検査(社内)に伴う出力低下(22.10.4 13:59 ~ 22.10.4 17:45)
(17) 海水温度上昇による出力低下(22.10.4 17:45 ~ 22.10.6 6:26)
(18) 高圧注水系の確認運転に伴う出力低下(22.10.6 6:26 ~ 22.10.6 7:08)
(19) 海水温度上昇による出力低下(22.10.6 7:08 ~ 22.10.6 9:12)
(20) 高圧注水系の機能検査に伴う出力低下(22.10.6 9:12 ~ 22.10.6 11:19)
(21) 海水温度上昇による出力低下(22.10.6 11:19 ~ 22.10.13 10:50)
(22) 高圧注水系の定期試験に伴う出力低下(22.10.13 10:50 ~ 22.10.13 11:33)
(23) 海水温度上昇による出力低下(22.10.13 11:33 ~ 22.11.10 10:53)
(24) 高圧注水系の定期試験に伴う出力低下(22.11.10 10:53 ~ 22.11.10 11:40)
(25) 海水温度上昇による出力低下(22.11.10 11:40 ~ 22.11.25 7:00)
(26) 炉心流量出力調整(22.11.25 7:00 ~ 22.12.8 11:47)
(27) 高圧注水系の定期試験に伴う出力低下(22.12.8 11:47 ~ 22.12.8 12:25)
(28) 炉心流量出力調整(22.12.8 12:25 ~ )
(29) 高圧注水系の定期試験の自動停止後の再起動に伴う出力低下(23.1.5 11:01 ~ 23.1.5 11:50)
(30) 原子炉冷却材浄化系の再起動に伴う出力低下(23.1.29 13:35 ~ 23.1.29 17:20)
(31) 高圧注水系の定期試験に伴う出力低下(23.2.2 11:49 ~ 23.2.2 12:05)
(32) 原子炉冷却材浄化系の再起動に伴う出力低下(23.2.4 15:00 ~ 23.2.4 18:00)
(33) 高圧注水系の定期試験に伴う出力低下(23.3.2 11:23 ~ 23.3.2 12:13)
(34) 東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止(23.3.11 14:46 ~ )

福島第一原子力発電所 平成22年度

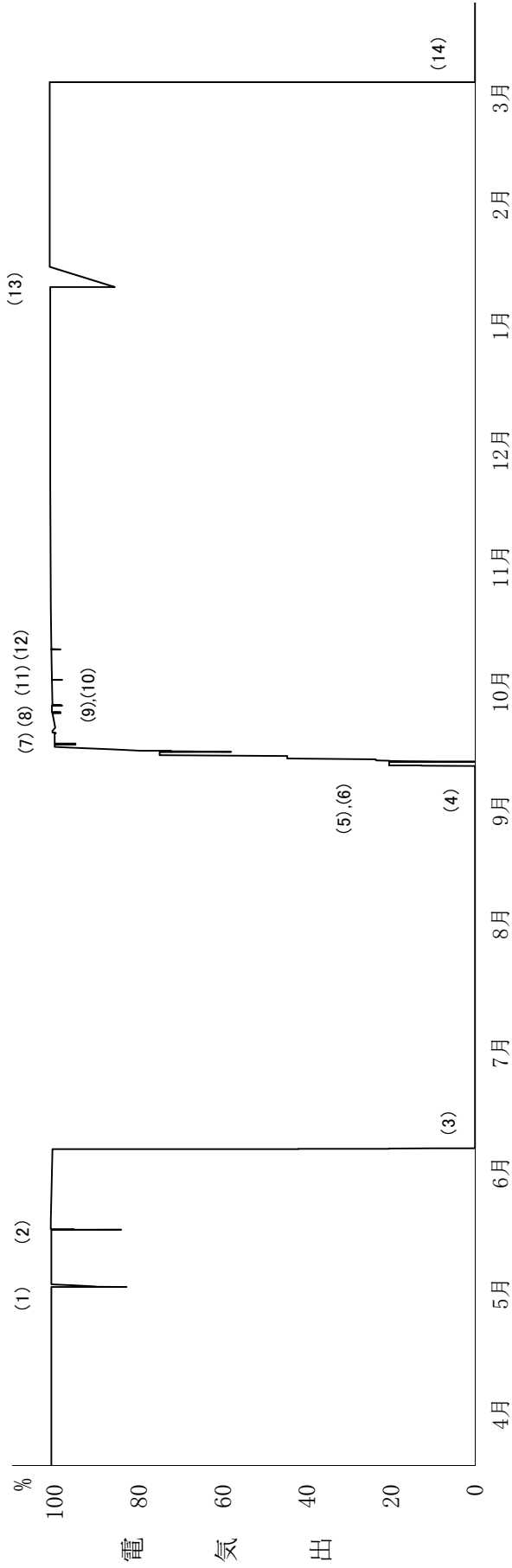
2号機 認可出力 784MW



記	事
(1)	炉心流量出力調整(22.3.24 12:54 ~ 22.4.21 11:30)
(2)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.4.21 11:30 ~ 22.4.21 11:45)
(3)	炉心流量出力調整(22.4.21 11:45 ~ 22.4.28 14:00)
(4)	制御棒バスターン調整(22.4.28 14:00 ~ 22.4.30 15:00)
(5)	炉心流量出力調整(22.4.30 15:00 ~ 22.5.19 11:44)
(6)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.5.19 11:44 ~ 22.5.19 12:02)
(7)	炉心流量出力調整(22.5.19 12:02 ~ 22.6.2 11:18)
(8)	原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下(22.6.2 11:18 ~ 22.6.2 11:38)
(9)	炉心流量出力調整(22.6.2 11:38 ~ 22.6.16 14:37)
(10)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.6.16 14:37 ~ 22.6.16 15:04)
(11)	炉心流量出力調整(22.6.16 15:04 ~ 22.6.17 14:52)
(12)	所内電源喪失による中間停止(22.6.17 14:52 ~ 22.7.19 6:34)
(13)	発電機並列後の出力上昇(22.7.19 6:34 ~ 22.7.26 15:00)
(14)	炉心流量出力調整(22.7.26 15:00 ~ 22.7.30 13:44)
(15)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.7.30 13:44 ~ 22.7.30 14:22)
(16)	炉心流量出力調整(22.7.30 14:22 ~ 22.7.30 16:32)
(17)	原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下(22.7.30 16:32 ~ 22.7.30 16:42)
(18)	炉心流量出力調整(22.7.30 16:42 ~ 22.8.11 11:32)
(19)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.8.11 11:32 ~ 22.8.11 11:49)
(20)	炉心流量出力調整(22.8.11 11:49 ~ 22.8.19 21:00)
(21)	海水温度上昇による出力低下(22.8.19 21:00 ~ 22.8.25 10:57)
(22)	原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下(22.8.25 10:57 ~ 22.8.25 11:14)
(23)	海水温度上昇による出力低下(22.8.25 11:14 ~ 22.9.9 12:00)
(24)	制御棒バスターン調整(22.8.25 14:05 ~ 22.8.31 15:00)
(25)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.9.9 12:00 ~ 22.9.9 12:13)
(26)	海水温度上昇による出力低下(22.9.9 12:13 ~ 22.9.15 18:00)
(27)	第25回定期検査の停止期間(22.9.16 0:00 ~ 22.11.18 13:35)
(28)	タービン調整(22.11.17 17:39 ~ 22.11.18 12:08)
(29)	発電機並列後の出力上昇(22.11.18 13:35 ~ 22.11.26 17:00)
(30)	調整運転(22.11.18 13:35 ~ 22.12.15 16:00 総合負荷性能検査合格)
(31)	原子炉隔離時冷却系の機能検査(注内)に伴う出力降下(22.11.25 10:01 ~ 22.11.25 11:41)
(32)	高圧注水系の機能検査(注内)に伴う出力降下(22.11.25 14:25 ~ 22.11.25 17:12)
(33)	炉心流量出力調整(22.11.26 17:00 ~ 22.11.29 9:29)
(34)	原子炉隔離時冷却系の機能検査に伴う出力降下(22.11.29 9:29 ~ 22.11.29 11:15)
(35)	炉心流量出力調整(22.11.29 11:15 ~ 22.11.30 6:05)
(36)	高圧注水系の確認運転に伴う出力降下(22.11.30 6:05 ~ 22.11.30 7:11)
(37)	炉心流量出力調整(22.11.30 7:11 ~ 22.11.30 9:12)
(38)	高圧注水系の機能検査に伴う出力降下(22.11.30 9:12 ~ 22.11.30 11:15)
(39)	炉心流量出力調整(22.11.30 11:15 ~ 22.12.1 11:51)
(40)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.12.1 11:51 ~ 22.12.1 12:09)
(41)	炉心流量出力調整(22.12.1 12:09 ~ 22.12.6 17:24)
(42)	定格熱出力一定運転開始(22.12.6 17:24 ~)
(43)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22.12.28 13:44 ~ 22.12.28 15:05)
(44)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(23.1.26 11:25 ~ 23.1.26 12:42)
(45)	高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(23.2.23 10:59 ~ 23.2.23 11:59)
(46)	東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止(23.3.11 14:46 ~)

福島第一原子力発電所 平成22年度

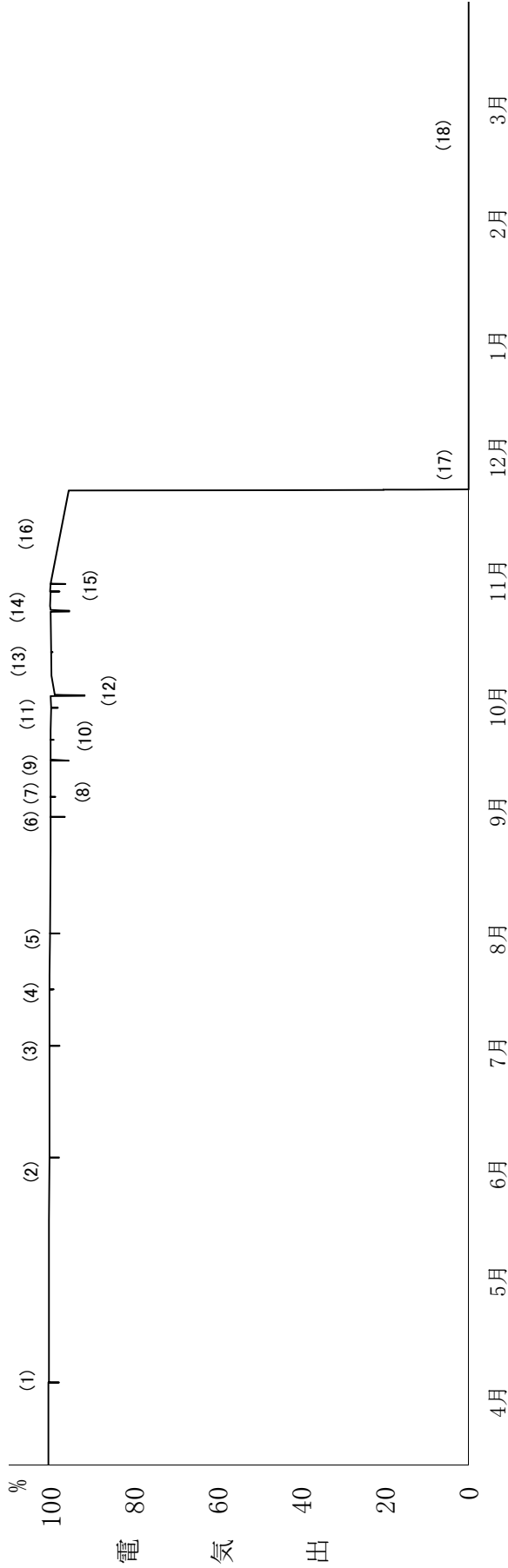
3号機 認可出力 784MW



記	<p>(1)制御棒パターン調整(22. 5. 12 16:00 ~ 22. 5. 17 15:00)</p> <p>(2)制御棒パターン調整(22. 5. 29 16:00 ~ 22. 6. 1 15:00)</p> <p>(3)第24回定期検査の停止期間(22. 6. 19 0:00 ~ 22. 9. 23 7:46)</p> <p>(4)タービン調整(22. 9. 22 6:08 ~ 22. 9. 23 6:53)</p> <p>(5)発電機並列後の出力上昇(22. 9. 23 7:46 ~ 22. 9. 30 13:30)</p> <p>(6)調整運転(22. 9. 23 7:46 ~ 22. 10. 26 16:30 総合負荷性能検査合格)</p> <p>(7)定格熱出力一定運転開始(22. 9. 30 13:30 ~)</p> <p>(8)高圧注水系の機能検査(社内)に伴う出力降下(22. 10. 5 10:03 ~ 22. 10. 5 15:17)</p> <p>(9)高圧注水系の確認運転に伴う出力降下(22. 10. 7 6:06 ~ 22. 10. 7 7:02)</p> <p>(10)高圧注水系の機能検査に伴う出力降下(22. 10. 7 10:05 ~ 22. 10. 7 11:40)</p> <p>(11)高圧注水系の定例試験に伴う出力降下(22. 10. 13 15:53 ~ 22. 10. 13 16:56)</p> <p>(12)高圧注水系の確認運転に伴う出力降下(22. 10. 21 6:40 ~ 22. 10. 21 7:54)</p> <p>(13)制御棒パターン調整(23. 1. 19 13:00 ~ 23. 1. 24 15:00)</p> <p>(14)東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止(23. 3. 11 14:47 ~)</p>
事	

福島第一原子力発電所 平成22年度

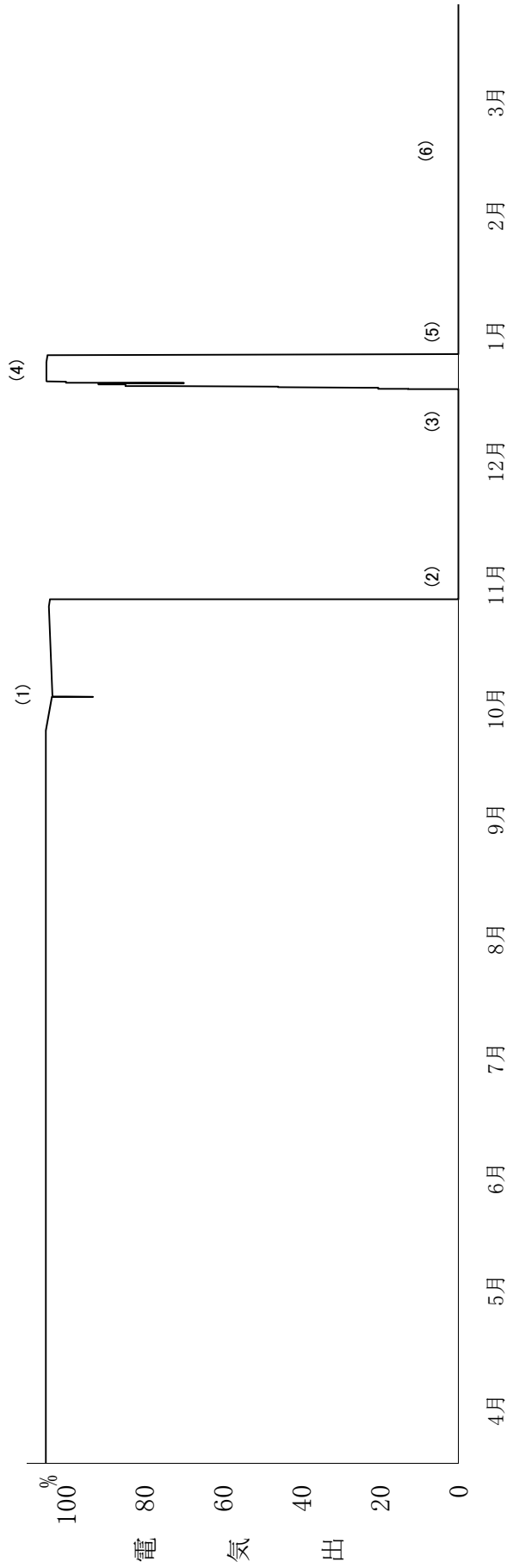
4号機 認可出力 784MW



記 事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 4. 21 13:42 ~ 22. 4. 21 14:50)											
(2) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 6. 16 13:47 ~ 22. 6. 16 15:00)											
(3) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 7. 14 10:09 ~ 22. 7. 14 11:03)											
(4) 原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下	(22. 7. 28 10:29 ~ 22. 7. 28 11:32)											
(5) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 8. 11 9:45 ~ 22. 8. 11 10:26)											
(6) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 9. 9 10:37 ~ 22. 9. 9 11:23)											
(7) 制御棒パターン調整	(22. 9. 13 10:00 ~ 22. 9. 14 9:57)											
(8) 原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下	(22. 9. 14 9:57 ~ 22. 9. 14 10:26)											
(9) 制御棒パターン調整	(22. 9. 14 10:26 ~ 22. 9. 28 15:00)											
(10) 原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下	(22. 9. 28 15:12 ~ 22. 9. 28 15:46)											
(11) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 10. 6 14:32 ~ 22. 10. 6 15:20)											
(12) 制御棒パターン調整	(22. 10. 9 13:00 ~ 22. 10. 14 15:00)											
(13) 原子炉隔離時冷却系の定例試験に伴う出力降下	(22. 10. 20 10:54 ~ 22. 10. 20 11:53)											
(14) 制御棒パターン調整	(22. 10. 30 13:00 ~ 22. 11. 9 15:00)											
(15) 高圧注水系の定例試験に伴う出力降下	(22. 11. 4 13:32 ~ 22. 11. 4 14:37)											
(16) コースタダウン	(22. 11. 17 18:00 ~ 22. 11. 29 18:00)											
(17) 第24回定期検査の停止期間	(22. 11. 30 0:00 ~)											
(18) 東北地方太平洋沖地震に伴う停止	(23. 3. 11 ~)											

福島第一原子力発電所 平成22年度

5号機 認可出力 784MW



(1)制御棒パターン調整(22.10.9 10:00 ~ 22.10.9 11:30)

(2)原子炉給水系の不具合による故障停止(22.11.2 19:12 ~ 22.12.25 6:27)

(3)発電機並列後の出力上昇(22.12.25 6:27 ~ 22.12.28 12:00)

(4)定格熱出力一定運転開始(22.12.27 4:00 ~)

(5)第24回定期検査の停止期間(23.1.3 0:00 ~)

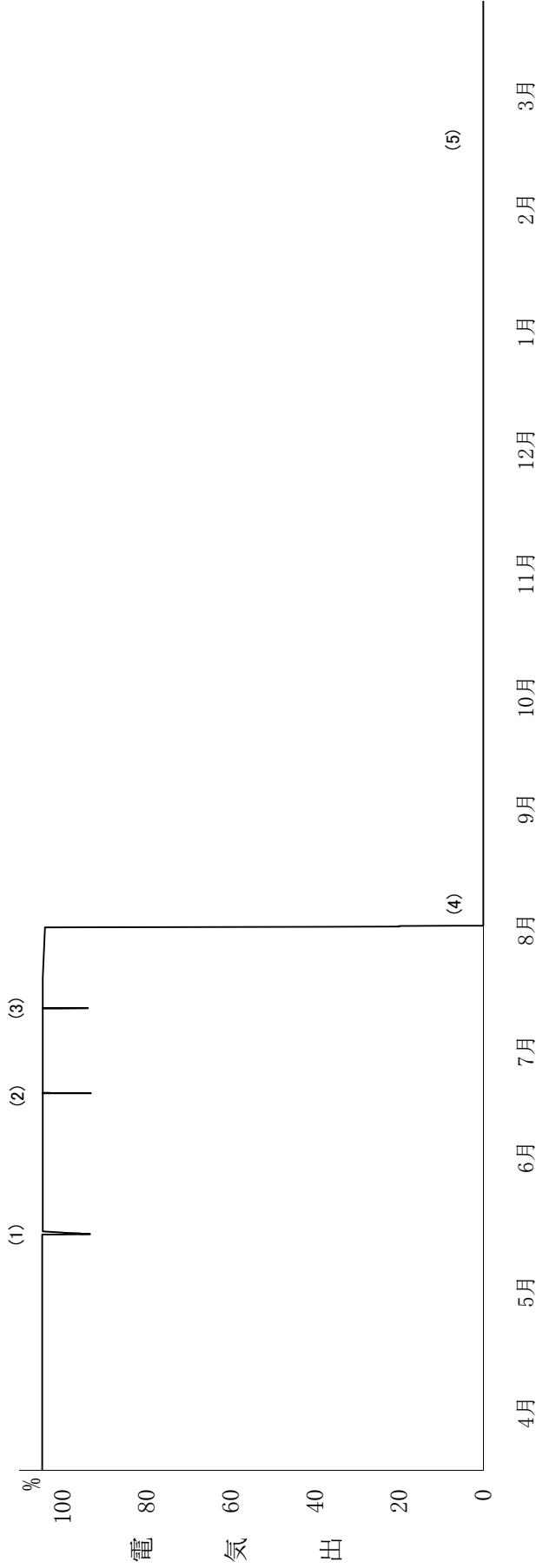
(6)東北地方太平洋沖地震に伴う停止(23.3.11 ~)

記 事



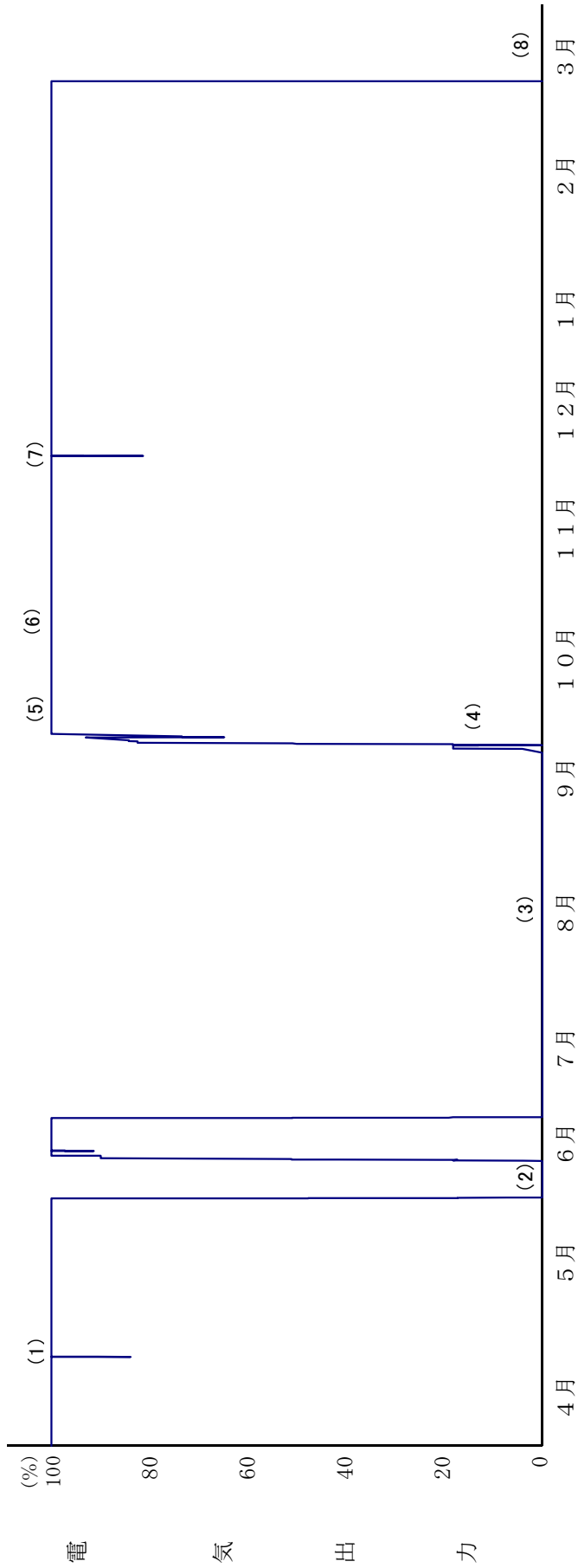
福島第一原子力発電所 平成22年度

6号機 認可出力 1,100MW



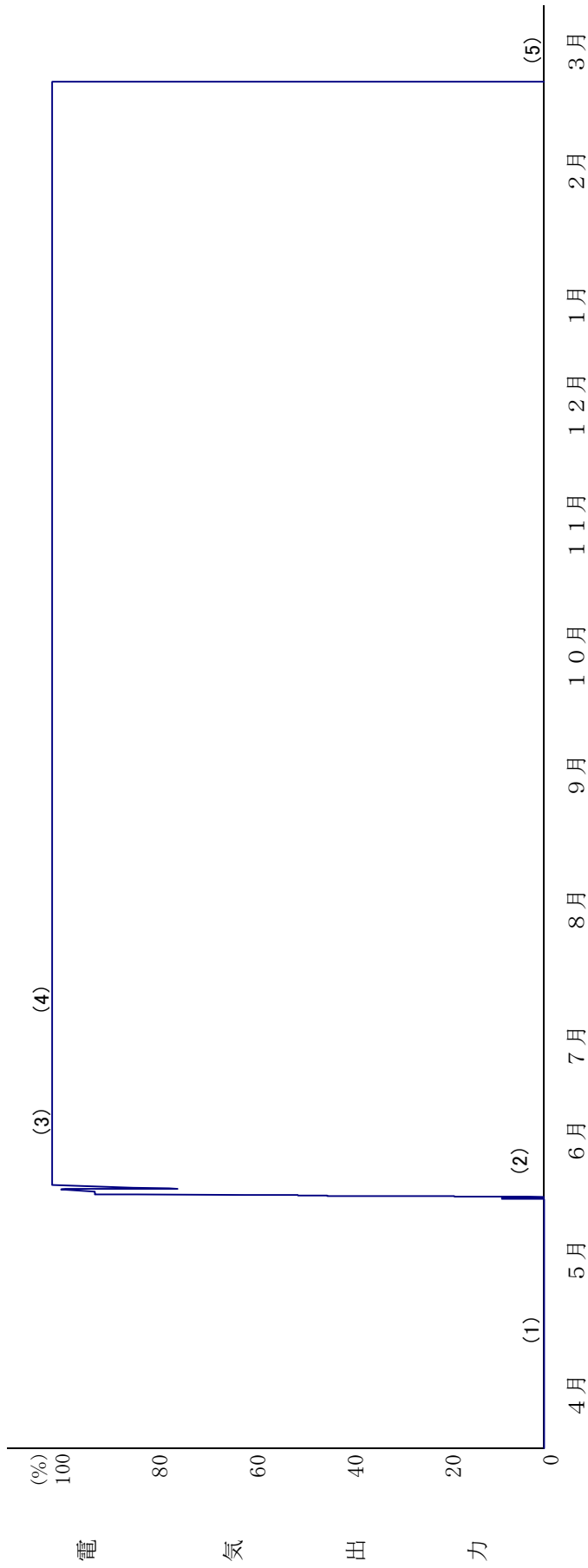
記 事	<p>(1)制御棒パターン調整 (22. 5. 29 10:00 ~ 22. 6. 23 15:00 )                  (2)制御棒パターン調整 (22. 7. 3 10:09 ~ 22. 7. 3 12:46)                  (3)制御棒パターン調整 (22. 7. 24 11:00 ~ 22. 7. 24 13:30)                  (4)第22回定期検査の停止期間 (22. 8. 13 23:55 ~ )                  (5)東北地方太平洋沖地震に伴う停止 (23. 3. 11 ~ )</p>
--------	--

福島第二原子力発電所 平成22年度  
1号機 認可出力 1,100MW



<p>記</p> <p>(1) 4/23 (2) 6/2~6/11 (3) 6/23~9/24 (4) 9/24 (5) 9/27 (6) 10/22 (7) 12/6~12/7 (8) 3/11~</p>	<p>制御棒パターン調整 原子炉隔離時冷却系蒸気隔離弁不具合に伴う中間停止 第21回定期検査の停止期間 発電機並列 定格熱出力一定運転開始 定期検査終了(総合負荷性能検査合格) 制御棒パターン調整 東北太平洋沖地震に伴う事故停止</p>
<p>※定格熱出力一定運転中</p>	

福島第二原子力発電所 平成22年度  
2号機 認可出力 1,100MW



(1) 3/6 (平成21年度) ~6/3

(2) 6/3

(3) 6/6

(4) 7/2

(5) 3/11~

第19回定期検査の停止期間

発電機並列

定格熱出力一定運転開始

定期検査終了(総合負荷性能検査合格)

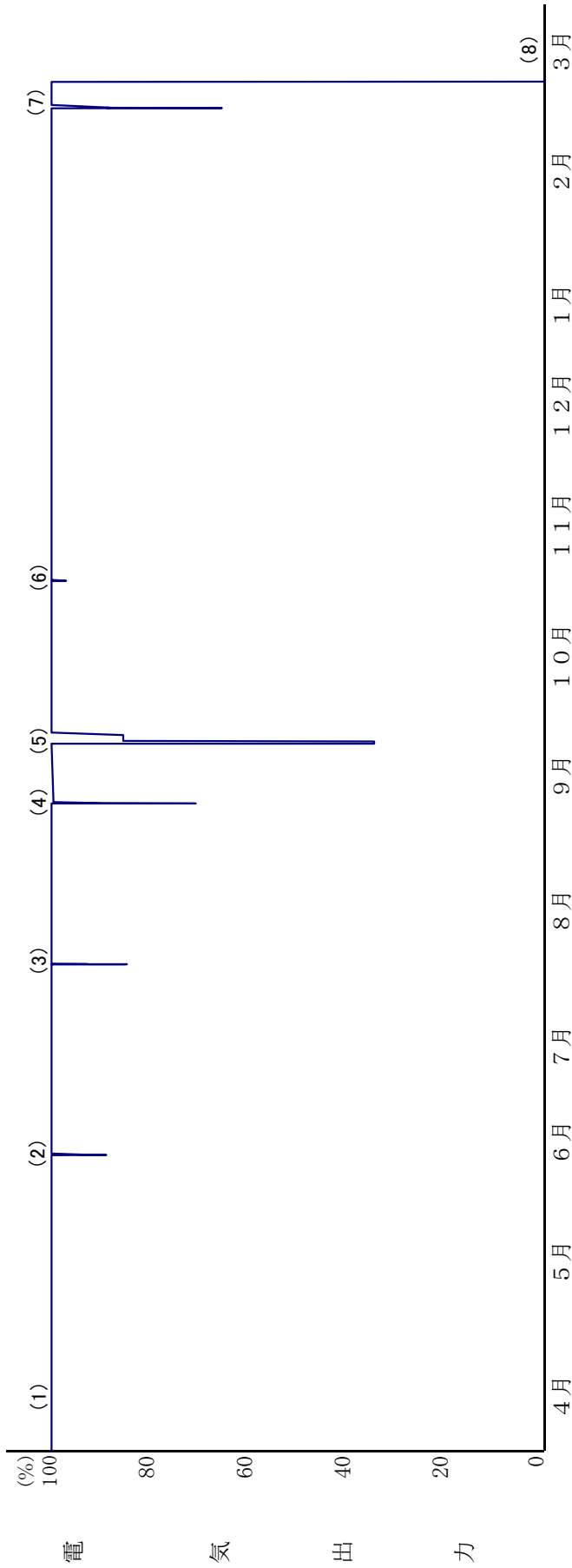
東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止

※定格熱出力一定運転中  
運転中シユラウド健全性  
パラメータに異常なし

記

事

福島第二原子力発電所 平成22年度  
3号機 認可出力 1,100MW



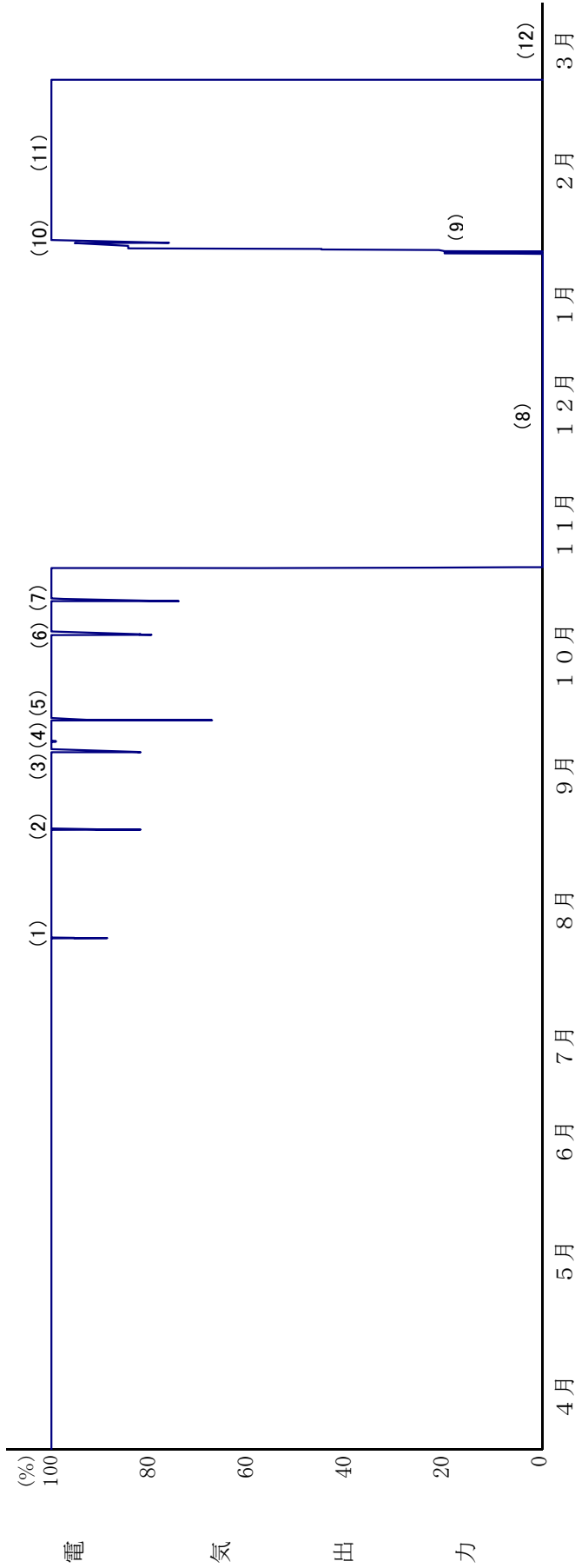
- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| (1) 4/9       | 定期検査終了 (総合負荷性能検査合格)          |
| (2) 6/14      | 制御棒パターン調整                    |
| (3) 8/1       | 制御棒パターン調整                    |
| (4) 9/10~9/11 | 制御棒パターン調整                    |
| (5) 9/25~9/28 | 海草類等の流れ込みによるスクリーン水位差大に伴う出力低下 |
| (6) 11/5~11/6 | 制御棒パターン調整                    |
| (7) 3/4~3/5   | 制御棒パターン調整                    |
| (8) 3/11~     | 東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止            |

※定格熱出力一定運転中  
運転中シユラウド健全性  
パラメータに異常なし

記

事

福島第二原子力発電所 平成22年度  
4号機 認可出力 1,100MW



記	(1) 8/7 制御棒パターン調整		
	(2) 9/3~9/4 制御棒パターン調整		
	(3) 9/23~9/24 制御棒パターン調整		
	(4) 9/26 海藻類等の流れ込みによるスクリーン水位差大に伴う出力低下		
	(5) 10/1~10/2 制御棒パターン調整		
	(6) 10/22~10/23 制御棒パターン調整	(11) 2/24	定期検査終了 (総合負荷性能検査合格)
	(7) 10/31~11/1 制御棒パターン調整	(12) 3/11	東北地方太平洋沖地震に伴う事故停止
	(8) 11/9~1/27 第17回定期検査の停止期間		
事	(9) 1/27 発電機並列		
	(10) 1/30 定格熱出力一定運転開始		

※定格熱出力一定運転中  
運転中シュミレータ健全性  
パラメータに異常なし

6-1-1 (4) 放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出状況(平成22年度)

ア 福島第一原子力発電所測定分

(ア) 放射性気体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

	全希ガス	<sup>131</sup> I	全粒子状物質	<sup>3</sup> H	備考
原子炉施設合計	検出されず	2.8 × 10 <sup>4</sup>	1.1 × 10 <sup>6</sup>	1.5 × 10 <sup>12</sup>	放射性気体廃棄物の放出放射エネルギー(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排気量(m <sup>3</sup> )を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射エネルギー(Bq)の算出は実施せず「検出されず」と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス: 2 × 10 <sup>-2</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) <sup>131</sup> I: 7 × 10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) 全粒子状物質: 4 × 10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) ( <sup>60</sup> Coで代表した) その他排気筒(内訳) ・廃炉建屋排気筒 ・雑固体廃棄物減容処理建屋排気筒 ・サイトベンチ建屋換気系排気筒 ・使用済燃料共用プール排気筒 ・第5固体廃棄物貯蔵庫(固化処理エリア)換気系排気筒
1,2号機共用排気筒	検出されず	2.8 × 10 <sup>4</sup>	検出されず	4.7 × 10 <sup>11</sup>	
3,4号機共用排気筒	検出されず	検出されず	1.1 × 10 <sup>6</sup>	4.2 × 10 <sup>11</sup>	
5,6号機共用排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	5.1 × 10 <sup>11</sup>	
2号機タービン建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	3.4 × 10 <sup>10</sup>	
3号機タービン建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	1.1 × 10 <sup>10</sup>	
4号機タービン建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	2.1 × 10 <sup>10</sup>	
廃棄物集中処理建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	2.4 × 10 <sup>10</sup>	
その他排気筒	——	検出されず	検出されず	——	
年間放出管理目標値*1	8.8 × 10 <sup>15</sup>	4.8 × 10 <sup>11</sup>	——	——	

※東日本大震災の影響により平成23年3月11日までのデータを評価した。

\*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射エネルギーである。

(イ) 放射性液体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

	全核種 ( <sup>3</sup> Hを除く)	核種別					
		<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
1号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
2号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
3号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
4号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
5号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
6号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
年間放出管理目標値*1	$2.2 \times 10^{11}$						

(続き)

	核種別		<sup>3</sup> H	備考
	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs		
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	$2.2 \times 10^{12}$	放射性液体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排水中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排水量(m <sup>3</sup> )を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全核種( <sup>3</sup> Hを除く): $2 \times 10^{-2}$ (Bq/cm <sup>3</sup> )以下 ( <sup>60</sup> Coで代表した) <sup>3</sup> H: $2 \times 10^{-1}$ (Bq/cm <sup>3</sup> )以下 ※東日本大震災の影響により平成23年3月11日までのデータを評価した。
1号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	
2号機排水口	検出されず	検出されず	$8.9 \times 10^{10}$	
3号機排水口	検出されず	検出されず	$2.6 \times 10^{11}$	
4号機排水口	検出されず	検出されず	$8.1 \times 10^{11}$	
5号機排水口	検出されず	検出されず	$6.7 \times 10^{11}$	
6号機排水口	検出されず	検出されず	$3.9 \times 10^{11}$	
年間放出管理目標値*1			$2.2 \times 10^{13*2}$	

\*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射能量である。

\*2 トリチウムについては、放出管理の年間基準値を記載。

トリチウムは公衆への影響が比較的小さく、上記指針に定められた線量目標値がないことから、放出管理目標値の100倍の値を年間の放出放射能として設定したものである。

イ 福島第二原子力発電所測定分

(ア) 放射性気体廃棄物の放出量

(単位:Bq)

	全希ガス	<sup>131</sup> I	全粒子状物質	<sup>3</sup> H	備考
原子炉施設合計	3.6×10 <sup>12</sup> ※1	6.2×10 <sup>11</sup> ※1,2	1.3×10 <sup>11</sup> ※1	1.9×10 <sup>12</sup> ※3	放射性気体廃棄物の放出放射エネルギー(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )に排気量(m <sup>3</sup> )を乗じて求められている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射エネルギー(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 放射性陽子素:7×10 <sup>-9</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )
1号機排気筒	2.0×10 <sup>12</sup> ※1	2.9×10 <sup>11</sup> ※1,2	4.5×10 <sup>10</sup> ※1	3.6×10 <sup>11</sup> ※3	
2号機排気筒	5.4×10 <sup>10</sup> ※1	3.0×10 <sup>10</sup> ※1,2	4.5×10 <sup>9</sup> ※1	6.7×10 <sup>11</sup> ※3	
3号機排気筒	5.1×10 <sup>11</sup> ※1	4.3×10 <sup>8</sup> ※1,2	3.2×10 <sup>7</sup> ※1	3.6×10 <sup>11</sup> ※3	
4号機排気筒	2.5×10 <sup>9</sup> ※1	2.6×10 <sup>10</sup> ※1,2	4.8×10 <sup>9</sup> ※1	4.9×10 <sup>11</sup> ※3	
排気筒別内訳	廃棄物処理建屋換気系排気筒	2.7×10 <sup>11</sup> ※1,2	7.5×10 <sup>10</sup> ※1	7.2×10 <sup>10</sup>	その他排気筒(内訳) ・焼却設備排気筒 ・サイトバンカ建屋排気筒
	その他排気筒	検出されず	9.2×10 <sup>7</sup> ※1	—	
年間放出管理目標値*	5.5×10 <sup>15</sup>	2.3×10 <sup>11</sup>	—	—	

\* 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射エネルギーである。

※1: 福島第一原子力発電所の事故の影響と推測される。

※2: 当該放出放射エネルギーの他に<sup>133</sup>Iの放出が以下のとおりあった。

- ・1号機排気筒:放出量 2.7×10<sup>10</sup>Bq
  - ・2号機排気筒:放出量 3.2×10<sup>9</sup>Bq
  - ・3号機排気筒:放出量 4.9×10<sup>7</sup>Bq
  - ・4号機排気筒:放出量 3.0×10<sup>9</sup>Bq
  - ・廃棄物処理建屋換気系排気筒:放出量 2.4×10<sup>10</sup>Bq
- ※3: 非常用ガス処理系からの放出量は含まず。



## (イ) 放射性液体廃棄物の放出量

(単位: Bq)

全核種 ( <sup>3</sup> Hを除く)	核種別						
	<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
排水口 別内訳	1号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
	2号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
	3号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
	4号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
年間放出管理目標値*1	1.4 × 10 <sup>11</sup>						

\* (続き)

核種別	核種別		<sup>3</sup> H	備考
	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs		
原子炉施設合計	検出されず	検出されず	1.6 × 10 <sup>12</sup>	放射性液体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排水中の放射性物質の濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) に排水量 (m <sup>3</sup> ) を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能 (Bq) の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全核種 ( <sup>3</sup> Hを除く): 2 × 10 <sup>-2</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) ( <sup>60</sup> Coで代表した)
排水口 別内訳	1号機排水口	検出されず	2.4 × 10 <sup>10</sup>	
	2号機排水口	検出されず	4.1 × 10 <sup>11</sup>	
	3号機排水口	検出されず	2.9 × 10 <sup>11</sup>	
	4号機排水口	検出されず	9.2 × 10 <sup>11</sup>	
年間放出管理目標値 *1	1.4 × 10 <sup>13</sup> *2			

\*1 放出管理目標値は「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に関する指針(原子力委員会決定)」に定められた公衆の線量目標値(50 μSv/年)を下回るように設定した年間の放出放射能である。

\*2 トリチウムについては、放出管理の年間基準値を記載。

トリチウムは公衆への影響が比較的小さく、上記指針に定められた線量目標値がないことから、放出管理目標値の100倍の値を年間の放出放射能として設定したものである。

## 6-2 試料採取時の付帯データ集

## 6-2-(1) 福島県測定分

## ア 環境試料

## (7) 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	広野	H22. 4. 8	9.0	9.5	7.3
		H22. 7. 2	26.5	20.0	7.5
		H22.10. 4	24.2	23.0	7.6
		H23. 1. 20	4.6	6.0	7.2
2	楢葉	H22. 4. 8	6.3	9.5	7.1
		H22. 7. 2	24.8	22.0	7.3
		H22.10. 4	23.3	21.0	7.4
		H23. 1. 21	4.1	4.5	6.9
3	富岡	H22. 4. 8	7.3	11.4	7.3
		H22. 7. 2	26.5	21.0	7.0
		H22.10. 4	24.8	21.2	7.1
		H23. 1. 20	6.2	8.5	6.9
4	大熊	H22. 4. 8	8.8	10.5	7.4
		H22. 7. 13	20.1	21.7	6.5
		H22.10. 4	23.1	21.2	7.1
		H23. 1. 20	13.2	8.0	6.9
5	双葉	H22. 4. 8	7.5	12.3	7.3
		H22. 7. 2	23.1	23.0	7.8
		H22.10. 4	23.3	22.5	7.3
		H23. 1. 20	2.1	9.5	7.0
6	浪江	H22. 4. 8	9.9	10.4	7.5
		H22. 7. 2	27.9	22.5	7.5
		H22.10. 4	24.1	23.5	7.4
		H23. 1. 20	2.5	6.5	6.9
※	福島市	H22. 4. 15	10.2	10.3	7.4
※	会津若松市	H22. 4. 15	10.8	9.0	7.2

「※」：比較対象地点

## (4) 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl <sup>-</sup> (‰)
1	第一(発)取水口	H22. 5. 21	17.2	18.7	7.4	18.8
		H22.10. 7	21.8	22.0	7.8	21.5
2	第一(発)南放水口	H22. 5. 10	14.0	16.5	8.0	18.7
		H22. 7. 22	27.7	20.5	8.0	19.5
		H22.10. 18	21.0	27.5	7.7	18.9
		H23. 1. 11	3.5	16.0	8.2	18.3
3	第一(発)北放水口	H22. 5. 10	13.9	18.7	8.0	18.4
		H22. 7. 22	27.0	28.5	8.0	18.6
		H22.10. 18	18.5	24.0	7.7	18.8
		H23. 1. 11	1.5	9.0	8.2	18.8
4	第一(発)沖合	H22. 5. 21	14.4	18.0	8.0	18.0
		H22.10. 7	20.2	21.0	7.8	18.3
5	夫沢・熊川沖	H22. 5. 28	18.4	15.5	8.0	16.8
		H22.10. 8	22.4	21.5	7.7	18.4
6	第二(発)取水口	H22. 5. 28	18.5	17.5	8.0	16.6
		H22.10. 8	22.9	20.5	7.7	18.6
7	第二(発)南放水口	H22. 5. 11	13.3	10.7	8.0	18.5
		H22. 7. 23	27.7	23.0	8.0	19.3
		H22.10. 20	18.8	21.5	7.7	17.9
		H23. 1. 13	4.8	10.0	8.3	19.2
8	第二(発)北放水口	H22. 5. 11	12.7	17.3	8.0	18.8
		H22. 7. 23	35.3	27.5	8.0	19.5
		H22.10. 20	22.9	20.5	7.7	18.7
		H23. 1. 13	6.4	10.5	8.2	19.1
9	第二(発)沖合	H22. 5. 28	18.5	16.0	8.0	17.2
		H22.10. 8	22.8	23.5	7.7	18.8
※	相馬市松川浦	H22. 7. 8	26.3	23.0	8.4	17.3

「※」：比較対象地点

## (ウ) かれい類

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	第一(発)海域	H22. 5. 6	5142	3	49 ~ 57
		H22. 12. 16	5674	6	39 ~ 41
2	第二(発)海域	H22. 5. 24	5015	25	23 ~ 30
		H22. 12. 17	5329	19	26 ~ 29
3	請戸漁港	H22. 5. 6	13235	8	42 ~ 61
		H22. 12. 16	5646	3	52 ~ 59
4	久之浜漁港	H22. 5. 24	13123	68	22 ~ 29
		H22. 12. 17	5298	15	28 ~ 31
※	松川浦漁港	H22. 5. 10	12555	16	33 ~ 45
		H22. 12. 13	4776	10	30 ~ 38

「※」：比較対象地点

## (エ) あいなめ

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	第一(発)海域	H22. 5. 14	5100	5	38 ~ 48
		H22. 12. 16	5094	7	33 ~ 45
2	第二(発)海域	H22. 5. 22	5292	5	39 ~ 51
		H22. 12. 17	5258	7	32 ~ 48
3	請戸漁港	H22. 5. 6	13582	20	30 ~ 51
		H22. 12. 16	5166	7	33 ~ 49
4	久之浜漁港	H22. 5. 22・24	13461	15	37 ~ 46
		H22. 12. 17	5387	6	33 ~ 45
※	松川浦漁港	H22. 5. 10	12999	34	27 ~ 36
		H22. 12. 13	4838	13	26 ~ 39

「※」：比較対象地点

## (オ) さけ

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	請戸漁港	H22. 10. 25	8794	2	72 ~ 77
2	熊川	H22. 10. 25	4693	2	62 ~ 62
3	木戸川	H22. 10. 25	5251	2	64 ~ 65

## (カ) すずき

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	請戸漁港	H22. 6. 24	6185	3	55 ~ 69
2	久之浜漁港	H22. 6. 24	6522	3	51 ~ 73

## (キ) しらうお

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)
1	請戸漁港	H23. 1. 14	2850
2	久之浜漁港	H23. 1. 31	2870

## (ク) こうなご

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)
1	請戸漁港	欠測*	—
2	久之浜漁港	欠測*	—

(注) 1. 「※」：比較対象地点 「—」：欠測

2. 「\*」：東日本大震災及び原子力災害の影響により試料を採取できず、全て欠測となった。

## (ケ) ほっきがい

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	個数 (個)	殻長 (cm)
1	浦尻沖	H23. 2. 22	5176	26	8 ~ 10
2	第一(発)北放水口沖	H23. 2. 22	5175	25	9 ~ 10
3	第一(発)南放水口沖	H23. 3. 4	5130	17	9 ~ 12
4	夫沢・熊川沖	H23. 3. 4	5106	17	9 ~ 11
5	富岡川沖	欠測*	—	—	—
6	請戸漁港	H22. 7. 29	9928	43	9 ~ 10
7	富岡漁港	H22. 7. 23	5271	21	9 ~ 10
※	磯部漁港	H22. 8. 2	4997	22	9 ~ 10

「※」：比較対象地点 \*：

(注) 1. 「※」：比較対象地点 「—」：欠測

2. 「\*」：平成23年3月4日に試料採取を試みたが採取できず、欠測となった。

## (コ) たこ

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	請戸漁港	H22. 11. 4	9772	6	71 ~ 83
2	久之浜漁港	H22. 10. 14	5319	5	50 ~ 64

イ 気象測定結果

(ア) 風向、風速、気温、湿度、降雨雪量、大気安定度の月別記録

No.1 榑葉町繁岡

測定年月	測定項目 風向 (最多)	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)			降雨雪		大気安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日数	
平成22年 4月	NNW	8.8	2.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 5月	N	8.1	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 6月	N	5.7	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 7月	SSE	5.9	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 8月	SSE	6.0	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 9月	NNW	7.1	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年10月	NNW	5.5	1.7	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年11月	WNW	8.8	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年12月	WNW	11.2	2.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 1月	NNW	8.6	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 2月	NNW	9.4	2.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 3月	NNW	6.9	2.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

No.2 富岡町富岡

測定年月	測定項目 風向 (最多)	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)			降雨雪		大気安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日数	
平成22年 4月	NW	11.9	2.2	21.0	-2.2	8.2	98.5	31.4	74.1	267.5	11	D
平成22年 5月	ESE	8.2	1.8	24.2	4.7	14.1	97.7	23.7	75.9	206.5	11	D
平成22年 6月	E	6.5	1.5	29.3	6.7	19.8	97.6	36.0	81.4	181.5	15	D
平成22年 7月	SE	5.5	1.5	35.3	18.1	24.5	98.4	41.6	83.1	124.5	16	D
平成22年 8月	SSE	6.3	1.6	34.9	20.0	26.7	96.2	43.0	79.0	8.0	3	G
平成22年 9月	W	7.9	1.7	36.0	9.2	21.7	97.9	39.5	81.6	288.5	14	D
平成22年10月	W	6.2	1.4	25.5	3.1	16.0	97.4	46.1	84.0	190.0	14	D
平成22年11月	W	10.4	1.9	19.9	-0.4	10.3	96.2	23.7	72.8	50.0	6	G
平成22年12月	W	12.0	2.4	19.4	-3.4	6.4	95.4	26.5	68.8	210.5	10	D
平成23年 1月	W	9.9	2.1	9.4	-7.4	0.7	91.7	26.5	60.8	2.0	2	G
平成23年 2月	W	8.5	2.0	16.5	-4.8	3.3	94.2	23.5	68.1	105.5	10	D
平成23年 3月	W	8.7	2.3	20.0	-6.1	3.5	93.6	17.8	61.7	15.0	14	G

(注) 「/」は測定未実施項目。

## No.3 大熊町大野

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成22年 4月	NNW	14.8	2.7	20.2	0.4	8.6	98.6	19.0	72.1	238.5	12	D
平成22年 5月	SE	10.4	2.1	25.7	6.1	14.9	98.3	19.0	71.7	183.0	11	D
平成22年 6月	SSE	9.6	1.8	30.8	8.0	20.6	97.5	32.0	77.6	190.0	14	D
平成22年 7月	SE	8.5	1.7	36.1	18.4	25.5	97.7	34.7	77.6	121.5	15	D
平成22年 8月	SSE	6.5	1.8	37.3	21.7	27.6	94.2	32.1	73.6	15.0	6	D
平成22年 9月	WNW	8.5	2.2	36.5	12.4	22.1	97.7	32.9	76.8	311.0	16	D
平成22年10月	W	6.5	1.9	26.9	5.3	16.6	96.7	40.4	78.0	184.5	14	D
平成22年11月	W	16.9	2.7	20.1	1.4	11.1	95.9	20.7	65.9	49.5	4	D
平成22年12月	W	17.6	3.2	20.3	-1.5	6.9	97.2	22.4	64.0	260.0	12	D
平成23年 1月	W	10.7	2.7	9.2	-7.3	1.0	95.9	25.3	58.6	6.0	5	D
平成23年 2月	WNW	14.0	2.7	17.6	-3.1	3.9	97.4	22.1	64.5	92.5	9	D
平成23年 3月	W	9.4	3.0	19.9	-4.6	4.0	97.0	10.8	59.3	25.0	7	D

(注) 「/」は測定未実施項目。

## No.4 双葉町郡山

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成22年 4月	WNW	9.7	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 5月	SE	6.9	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 6月	SE	5.8	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 7月	SE	4.8	0.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 8月	SE	3.9	0.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 9月	WNW	4.1	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年10月	WNW	3.7	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年11月	WNW	9.6	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年12月	WNW	8.3	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 1月	WNW	9.2	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 2月	WNW	7.7	1.5	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 3月	WNW	7.4	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

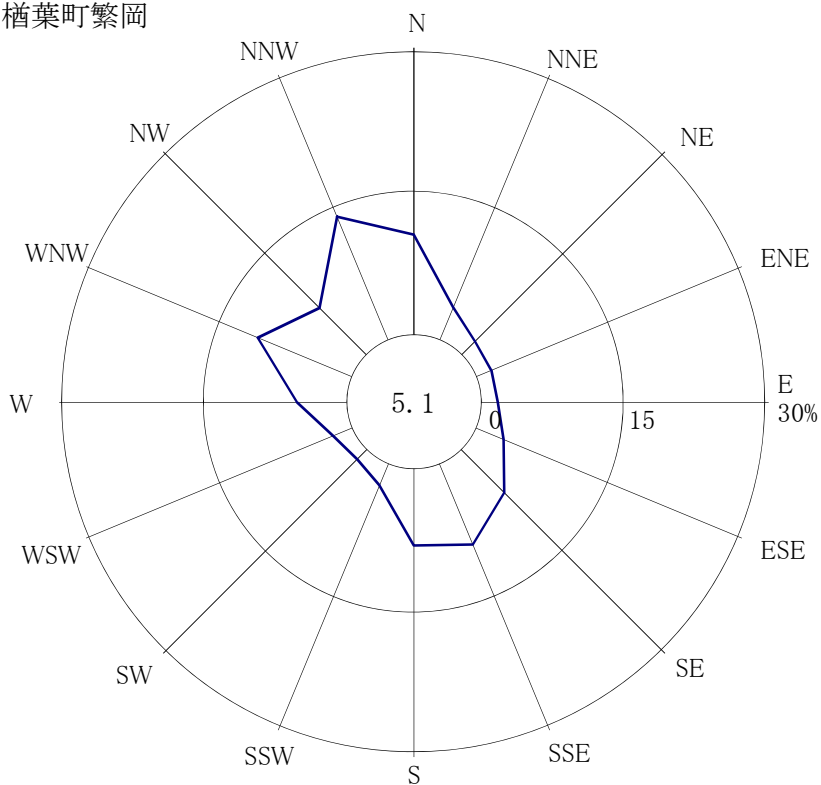
No.5 浪江町幾世橋

測定項目 測定年月	風 向 (最多)	風速(m/sec)		気 温 (°C)			湿 度 (%)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
平成22年 4月	WNW	8.4	1.8	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 5月	SSE	7.6	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 6月	SSE	5.2	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 7月	SSE	5.0	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 8月	SSE	4.6	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年 9月	WNW	5.6	1.1	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年10月	WNW	4.4	1.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年11月	WNW	5.4	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成22年12月	WNW	11.4	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 1月	WNW	6.2	1.2	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 2月	WNW	6.5	1.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/
平成23年 3月	W	8.5	1.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(注) 「/」は測定未実施項目。

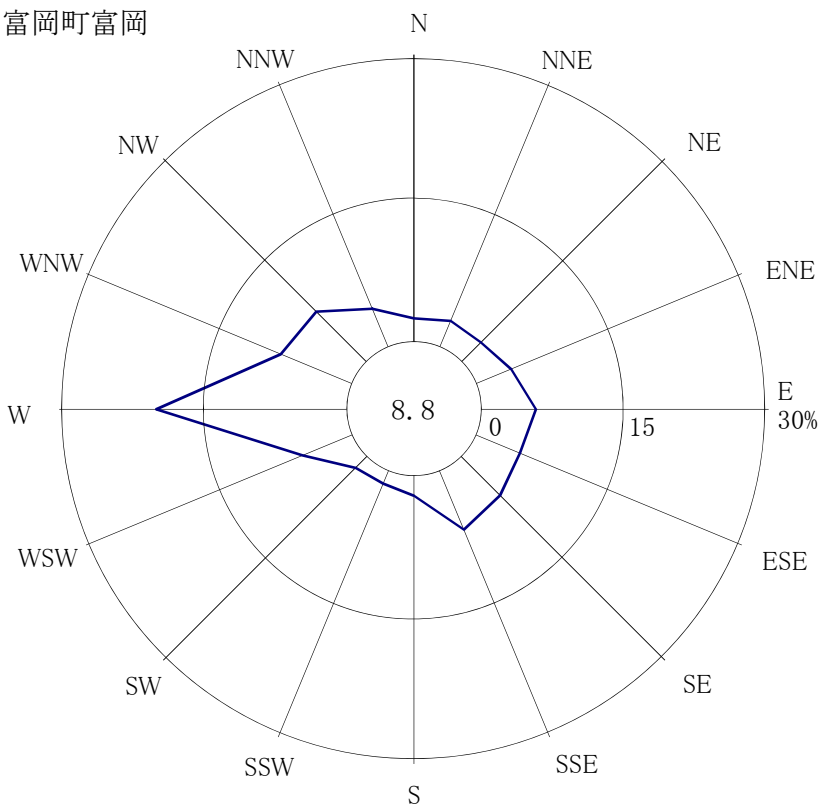
(イ) 風配図  
No.1

楯葉町繁岡



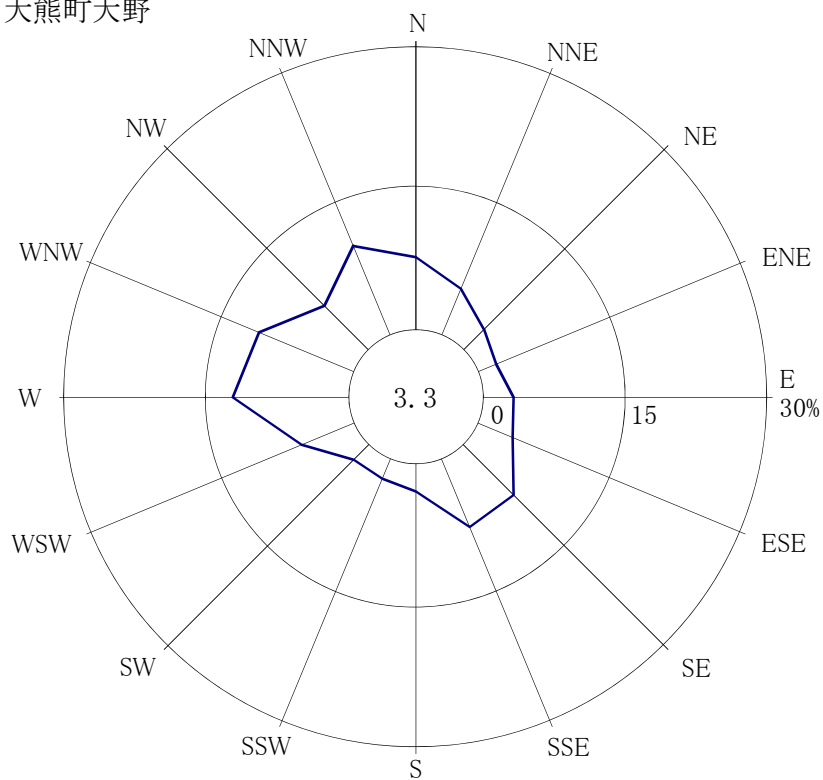
No.2

富岡町富岡

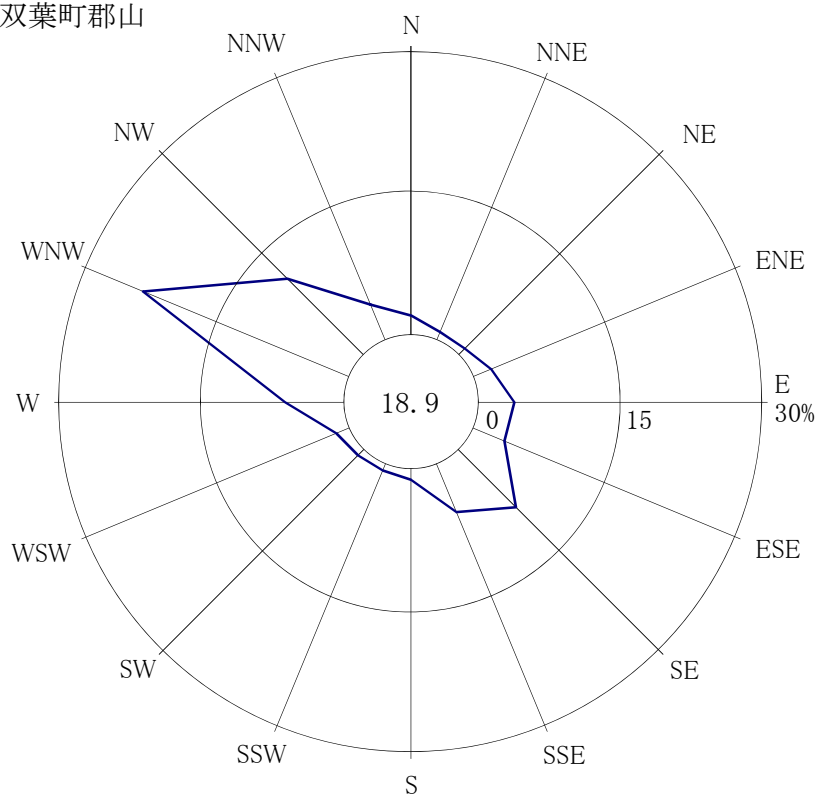


(注) 小円内の数字は静穏の頻度 (%)

No.3 大熊町大野



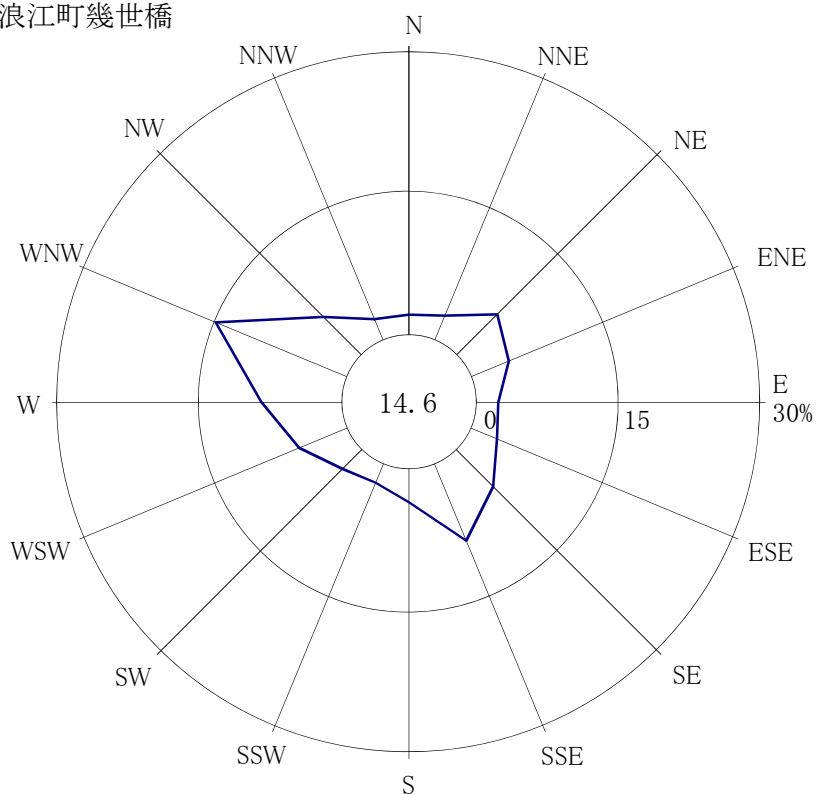
No.4 双葉町郡山



(注) 小円内の数字は静穏の頻度 (%)



No.5 浪江町幾世橋



(注) 小円内の数字は静穏の頻度 (%)

※ 風配図については、東日本大震災に伴う停電のため、自家用電源が途絶えて以降、気象観測が欠測となったため、年間を通じた風向のデータを得ることができなかった。

それぞれ、平成22年4月1日から、No.1 楢葉町繁岡及びNo.4 双葉町郡山については平成23年3月15日まで、No.2 富岡町富岡及びNo.5 浪江町幾世橋については平成23年3月14日まで、No.3 大熊町大野については平成23年3月16日までの風向データより作成。

ウ 福島市における空間線量率（月間平均値及び最大値）

測定地点 福島市紅葉山公園

測定項目 測定年月	空間線量率 (nGy/h)		測定時間 (h)
	平均値	最大値	
平成 22 年 4 月	40	50	720
5 月	40	55	742
6 月	41	77	720
7 月	40	60	743
8 月	42	66	744
9 月	41	65	720
10 月	41	60	744
11 月	41	56	720
12 月	41	63	744
平成 23 年 1 月	40	64	744
2 月	40	55	672
3 月(1～10 日)	40	49	240
(11～31 日)	3,716	9,956	428
年 間	222	9,956	8,681

(注) 測定器は、2"φ × 2"NaI(Tl)シンチレーション検出器（温度補償・エネルギー補償回路付）

## 6-2-(2) 東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分

ア 環境試料

(ア) 海 水

採取地点名	採取年月日	気温(°C)	水温(°C)	pH	Cl- (‰)
第 一 ( 発 ) 取 水 口	22. 5. 17	23. 6	22. 8	8. 0	15. 9
	22. 8. 11	26. 8	20. 4	7. 9	18. 7
	22. 11. 11	13. 1	16. 3	8. 0	18. 4
	23. 2. 17	7. 9	7. 5	8. 0	18. 3
第 一 ( 発 ) 南 放 水 口	22. 5. 17	21. 7	22. 4	7. 9	15. 7
	22. 8. 11	26. 5	28. 3	8. 0	18. 7
	22. 11. 11	12. 9	24. 6	8. 2	18. 4
	23. 2. 17	9. 8	13. 9	8. 1	18. 5
第 一 ( 発 ) 北 放 水 口	22. 5. 17	17. 5	21. 5	8. 1	15. 7
	22. 8. 11	27. 1	28. 8	8. 0	18. 7
	22. 11. 11	12. 8	16. 3	8. 2	18. 5
	23. 2. 17	6. 8	8. 2	8. 1	18. 4

(イ) 水 産 物

試料名	採取地点名		採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾) 個数 (個)	体長 殻長 (cm)	
あいなめ	東京電力(株) 福島第一原子力 発電所放水口付近		22. 6. 4	7, 224	16	27~38	
			22. 12. 13 22. 12. 20	5, 400	15	23~39	
かれい類			22. 6. 2	7, 277	9	33~50	
しらうお			23. 2. 1	5, 000			
ほっきがい			南放水口 付 近	23. 2. 3	10, 879	52	8~10
			北放水口 付 近	23. 2. 3	10, 775	44	8~11

イ 気象測定結果

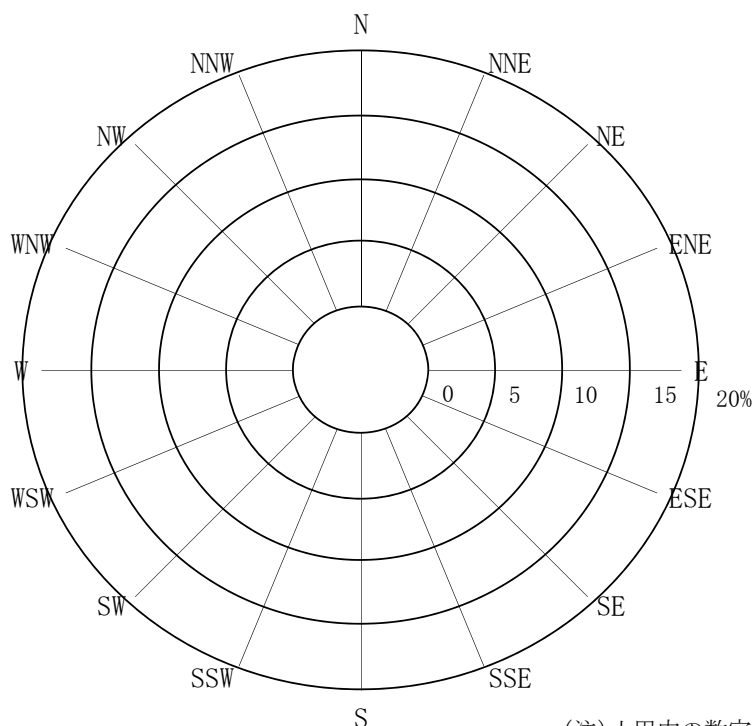
(ア) 風向、風速、気温、降雨雪量、大気安定度の月別記録

測定年月	測定項目	風向*1 (最多)	風速(m/sec)*1		気温(°C)			降雨雪		大気安定度 (最多)
			最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日数	
平成21年	4月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	237.5	11	—*2
	5月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	176.5	10	—*2
	6月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	201.5	15	—*2
	7月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	121.5	16	—*2
	8月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	14.0	4	—*2
	9月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	291.0	16	—*2
	10月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	179.5	11	—*2
	11月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	50.5	4	—*2
	12月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	186.0	8	—*2
平成22年	1月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2
	2月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2
	3月	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2	—*2

\*1: 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

\*2: 東日本大震災の影響によりデータ確認出来ず。

(イ) 風配図



6-2-(3) 東京電力㈱福島第二原子力発電所測定分

ア 環境試料

(ア) 海水

採取地点名	採取年月日	気温(°C)	水温(°C)	pH	Cl <sup>-</sup> (%)
第二(発)取水口	H22. 6. 7	18.0	17.5	7.9	18.2
	H22. 8. 3	21.5	18.0	7.9	18.7
	H22. 11. 16	16.8	17.7	8.0	18.2
	H23. 2. 8	4.5	8.2	8.2	18.4
第二(発)南放水口	H22. 6. 7	19.0	18.6	7.9	18.2
	H22. 8. 3	27.5	18.8	8.0	18.6
	H22. 11. 16	14.1	17.5	8.0	18.3
	H23. 2. 8	6.0	10.0	8.2	18.4
第二(発)北放水口	H22. 6. 7	17.0	21.0	8.0	18.3
	H22. 8. 3	27.5	22.6	8.0	18.5
	H22. 11. 16	8.5	21.8	8.0	18.3
	H23. 2. 8	5.0	14.5	8.2	18.3

(イ) 水産物

試料名	採取地点名	採取年月日	総重量(g)	尾数(尾) 個数(個)	体長 殻長(cm)
あいなめ	東京電力㈱ 福島第二原子力 発電所放水口付近	H22. 6. 8	7,343	14	31~39
		H22. 6. 18			
かれい類		H22. 12. 13	6,189	21	17~37
		H22. 12. 14			
		H22. 12. 21			
しらうお		H22. 6. 2	4,172	7	26~44
	H22. 6. 8				
ほっきがい	H22. 6. 18				
	H23. 2. 21	5,340			
		欠測*1			

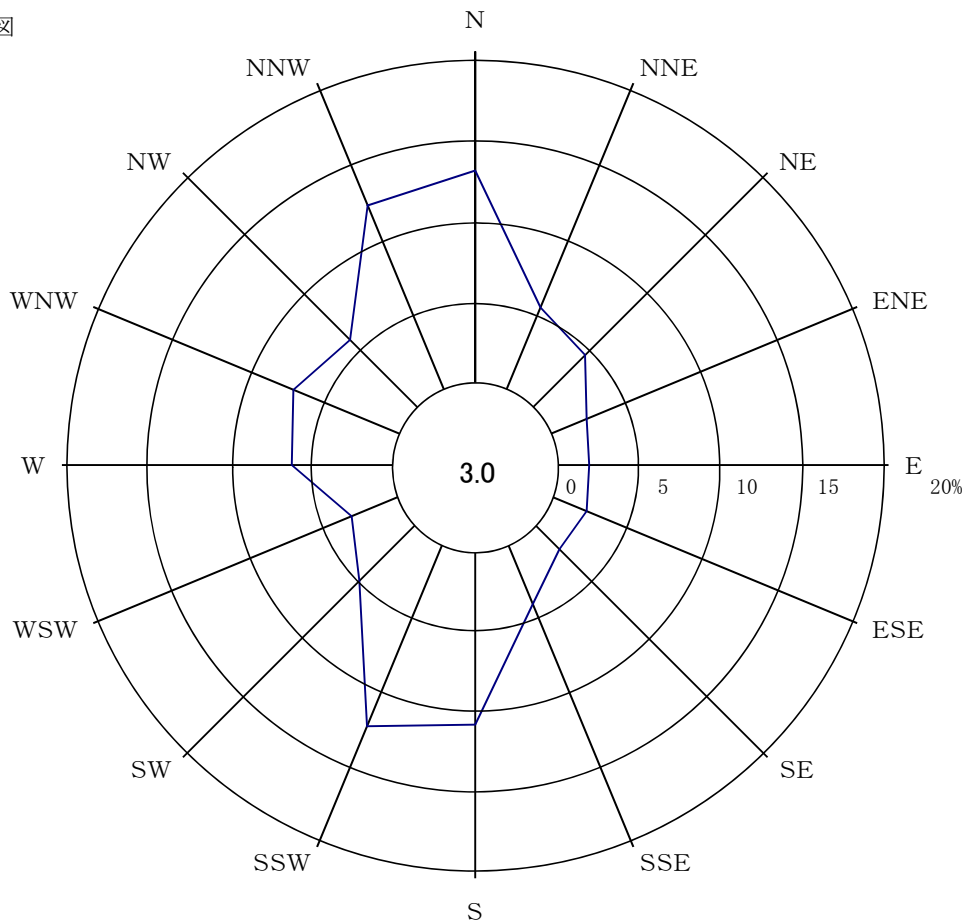
(注) \*1 東日本大震災及び原子力災害の影響により採取できず、欠測となった。

イ 気象測定結果  
 (ア) 風向、風速、気温、降雨雪量、大気安定度の月別記録

測定年月	測定項目	風向※ (最多)	風速 (m/sec) ※		気 温 (°C)			降 雨 雪		大 気 安 定 度 (最多)
			最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量 (mm)	日 数	
平成22年	4月	N	30.0	5.6	30	-0.3	8.1	284	16	D
	5月	S	30.0	4.6	22.9	4.7	13.7	209.5	9	D
	6月	N	30.0	3.8	29.1	7.3	19.1	194.0	14	D
	7月	S	30.0	4.0	34.9	17.2	23.5	144.0	14	D
	8月	SSW	18.8	5.2	34.7	20.0	25.6	12.5	4	D
	9月	N	30.0	5.3	34.1	12.2	21.5	303.5	15	D
	10月	N	30.0	4.3	26.1	4.3	16.3	219.5	15	D
	11月	N	30.0	4.9	19.9	1.9	11.2	61.0	7	F
	12月	W	30.0	5.3	19.3	-2.3	7.1	204.5	9	F
平成23年	1月	WNW	18.2	4.3	10.7	-5.0	1.3	4.5	3	F
	2月	SSW	19.4	4.9	17.2	-2.4	3.9	115.5	9	F
	3月	NNW	23.2	4.6	16.1	-3.9	4.1	51.0	12	F

※ 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

(イ) 風 配 図



(注) 小円内の数字は静穏の頻度(%)

### 6-3 東北電力株式会社浪江小高原子力発電所予定地周辺環境放射能測定調査

原子力発電所予定地周辺の環境放射能について、発電所立地後の環境放射能評価解析の基礎資料とするため、福島県が平成22年度に実施した調査の内容は以下に示すとおりであり、その結果を表6-3-2-(1)~(3)に示す。なお、測定方法は、3-1 福島県測定分（ページ）と同様である。

#### 6-3-1 測定項目等

##### 6-3-1-(1) 空間放射線

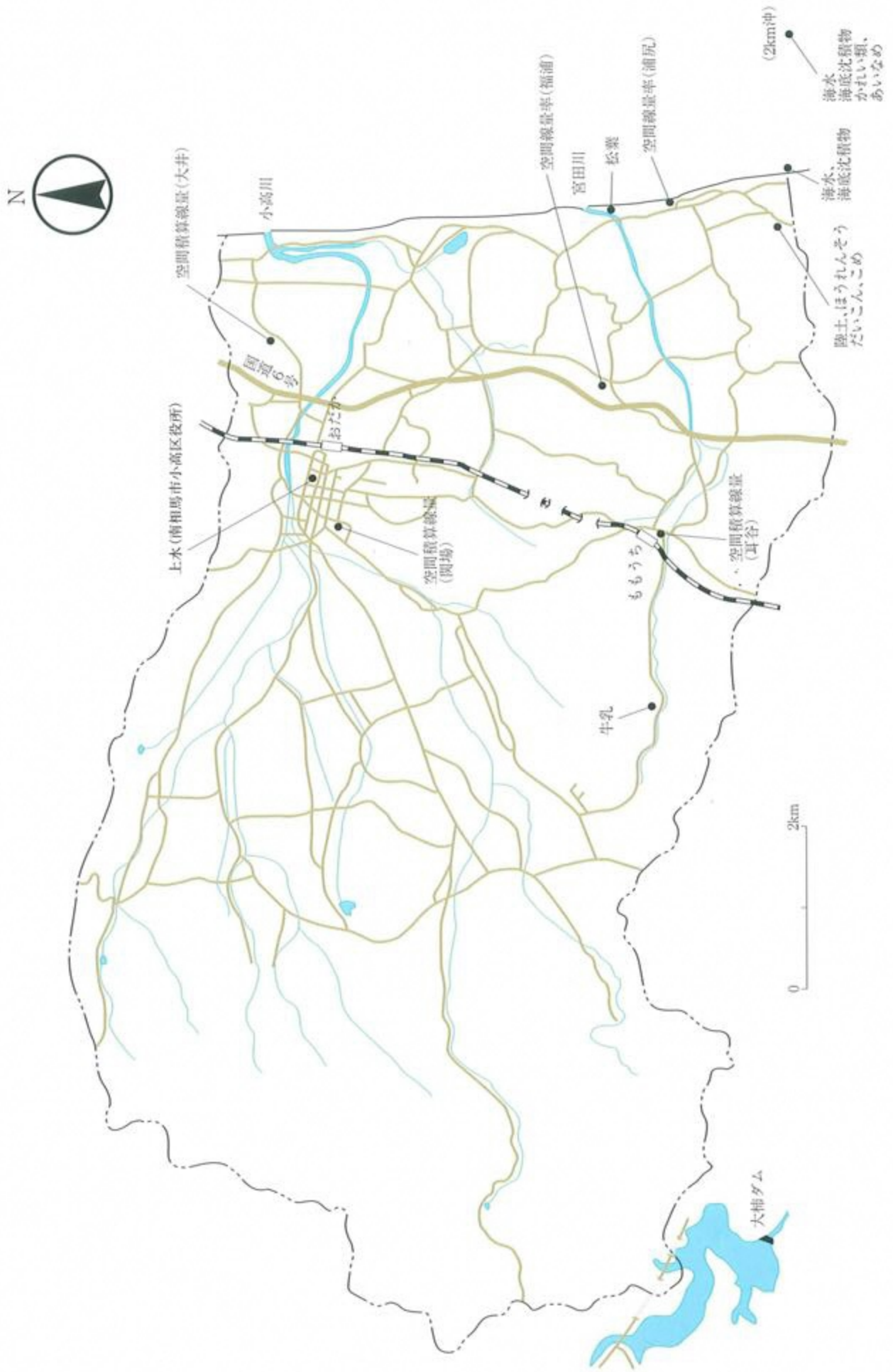
測定項目	測定地点	測定頻度	実施機関
空間線量率	南相馬市 2地点	連続	原子力センター
空間積算線量	南相馬市 3地点	3か月積算	原子力センター

##### 6-3-1-(2) 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名 (部位)	採取地点名	採取頻度	測定項目	実施機関
陸 土	陸 土 (表土, 0~5cm)	南相馬市 <small>うら</small> 浦 <small>じり</small> 尻	1回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	原子力 センター
陸 水	上 水 (蛇口水)	お 小 <small>だか</small> 高	2回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 トリチウム濃度	
海 水	海 水 (表面水)	東北(発)予定地放水口 東北(発)予定地沖合	2回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 トリチウム濃度	
海底沈積物	海底沈積物 (海砂又は海底土)			全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
農畜産物	こ め (精白米)	南相馬市 <small>うら</small> 浦 <small>じり</small> 尻	1回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (ほうれんそう, 牛乳 はよう素-131を含む)	
	ほうれんそう (葉 茎)		2回/年		
	だ い こ ん (根 部)	牛 乳 (原 乳)			
指標植物	松 葉 (葉)	南相馬市 <small>うら</small> 浦 <small>じり</small> 尻	2回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度 (よう素-131を含む)	
水産物	か れ い 類 (可食部)	東北(発)予定地海域	2回/年	全ベータ放射能 ガンマ線放出核種濃度	
	あ い な め (可食部)				

(注) 東北(発)：東北電力(株)浪江小高原子力発電所

图 6-3-1 浪江小高原子力発電所予定地周辺環境放射能測定調査地点









## 6-3-2-(4) 試料採取時の付帯データ集

## ア 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	小高	H22. 7. 2	24.5	26.5	7.4
		H23. 1. 20	2.4	9.5	7.1

## イ 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl <sup>-</sup> (‰)
1	東北(発)予定地放水口	H22. 5. 21	17.3	15.0	8.1	18.1
		H22. 10. 7	21.5	21.5	7.8	18.6
2	東北(発)予定地沖合	H22. 5. 21	15.3	13.3	8.0	19.3
		H22. 10. 7	21.2	21.0	7.7	18.3

## ウ かい類

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	東北(発)予定地海域	H22. 5. 6	5312	4	43 ~ 55
		H22. 12. 16	5036	3	44 ~ 60

## エ あいなめ

No.	採取地点名	採取年月日	総重量 (g)	尾数 (尾)	全長 (cm)
1	東北(発)予定地海域	H22. 5. 14	5236	6	35 ~ 49
		H22. 12. 16	5028	8	29 ~ 44

#### 6-4 平常の変動幅について

福島県原子力発電所安全確保技術連絡会は、「環境放射線モニタリング指針」（平成20年3月、原子力安全委員会）の趣旨に基づき「平常の変動幅」を設定しています。この「平常の変動幅」は、環境安全評価上の指標とするものではなく、測定値をチェックする上で有効に活用するものです。

環境放射線及び環境試料中の放射線の測定値は、施設からの影響が見られない場合でも、降雨雪、地形等の自然環境条件の変化などによってある幅の変動を示します。

従って、各測定機関で得られた多数の測定値を評価検討するに当たり、合理的、かつ容易に注目すべき測定値を抽出し、チェックできるよう「平常の変動幅」を設定しています。

この平常の変動幅は、過去の測定値をもとに統計的手法を用いて定めたものであり、通常の測定では、この値を超える確率は小さいと考えられます。

しかし、①降雨雪等自然環境の変化 ②核実験等の影響 ③測定器系のトラブル ④原子力発電所施設の影響などによって、この値を超える確率は通常よりも大きくなります。

測定値が平常の変動幅を超えた場合には、その原因について調査し、その結果を安全確保技術連絡会に報告しています。

安全確保技術連絡会では、この平常の変動幅を適宜見直していますが、以下に平成22年度の測定結果の評価に用いた平常の変動幅を示します。

表6-4-1 平常の変動幅の一覧表

空間線量率

(県測定分)

(単位：nGy/h)

MP・No.	測定地点	平常の変動幅
1	広野町 二ツ沼	37~60
2	楢葉町 山田岡	41~60
3	楢葉町 繁岡	41~59
4	楢葉町 松館	38~59
5	楢葉町 波倉	35~53
6	富岡町 上郡山	30~51※1
7	富岡町 下郡山	40~61
8	富岡町 仏浜	33~56
9	富岡町 富岡	39~60
10	富岡町 夜の森	40~58
11	大熊町 熊川	33~54
12	大熊町 向畑	37~58
13	大熊町 南台	35~57
14	大熊町 大野	39~54
15	大熊町 夫沢	35~58
16	双葉町 山田	39~60
17	双葉町 郡山	38~58
18	双葉町 新山	39~57
19	双葉町 上羽鳥	36~57
20	浪江町 請戸	34~58
21	浪江町 棚塩	48~71
22	浪江町 浪江	41~60
23	浪江町 幾世橋	36~55

(東京電力㈱福島第一原子力発電所測定分)

(単位：nGy/h)

MP・No.	測定地点	平常の変動幅
1	MP-1	34~56
2	MP-2	38~61
3	MP-3	35~55
4	MP-4	34~53
5	MP-5	29~53
6	MP-6	33~50
7	MP-7	37~53
8	MP-8	37~60

(東京電力㈱福島第二原子力発電所測定分)

(単位：nGy/h)

MP・No.	測定地点	平常の変動幅
1	MP-1	35~54
2	MP-2	42~63
3	MP-3	36~53
4	MP-4	36~53
5	MP-5	41~59
6	MP-6	44~64
7	MP-7	43~62

※1 上郡山局については、平成20~21年度測定データに基づき暫定的に設定しました。

空間積算線量（参考値）※2

（県測定分）

（単位：mGy / 90日）

RPLD・No.	測定地点	平常の変動幅
1	楢葉町 山田岡	0.11～0.19
2	楢葉町 井出	0.11～0.19
3	楢葉町 上繁岡	0.10～0.18
4	富岡町 太田	0.11～0.18
5	富岡町 小良ヶ浜	0.10～0.17
6	富岡町 夜の森北	0.10～0.17
7	大熊町 熊川	0.11～0.20
8	大熊町 野上	0.11～0.20
9	大熊町 長者原	0.09～0.16
10	双葉町 清戸	0.10～0.18
11	双葉町 郡山	— ※3
12	双葉町 長塚	0.11～0.17
13	浪江町 小野田	0.13～0.20
14	浪江町 請戸	0.13～0.20
15	浪江町 幾世橋	0.10～0.22

（東京電力㈱福島第一原子力発電所測定分）

（単位：mGy / 90日）

RPLD・No.	測定地点	平常の変動幅
1	M P - 1	0.11～0.16
2	M P - 2	0.11～0.16
3	M P - 3	0.11～0.17
4	M P - 4	0.11～0.16
5	M P - 5	0.10～0.14
6	M P - 6	0.11～0.15
7	M P - 7	0.11～0.16
8	M P - 8	0.11～0.16
9	双葉町 郡山堂の上	0.11～0.15
10	双葉町 長塚鬼木	0.12～0.15
11	双葉町 山田西郷内	0.11～0.16
12	大熊町 夫沢中央台	0.11～0.17
13	大熊町 役場	0.11～0.17
14	大熊町 小入野東大和久	0.11～0.16
15	大熊町 熊川緑ヶ丘	0.09～0.17
16	大熊町 熊川久麻川	0.12～0.18

（東京電力㈱福島第二原子力発電所測定分）

（単位：mGy / 90日）

RPLD・No.	測定地点	平常の変動幅
1	M P - 1	0.10～0.17
2	M P - 2	0.10～0.17
3	M P - 3	0.09～0.16
4	M P - 4	0.09～0.15
5	M P - 5	0.09～0.17
6	M P - 6	0.08～0.20
7	M P - 7	0.10～0.18
8	富岡町 仏浜釜田	0.10～0.17
9	富岡町 富岡第一中学校	0.10～0.16
10	富岡町 上の町社宅	0.10～0.17
11	富岡町 上郡山清水	0.10～0.17
12	富岡町 上郡山上郡	0.10～0.17
13	楢葉町 上繁岡山根	0.09～0.16
14	楢葉社宅	0.10～0.17
15	楢葉町下繁岡一丁坪	0.09～0.14

※2 平成15年度より、測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため、当面平常の変動幅は、平成14年度まで用いていた熱蛍光線量計（TLD）による平常の変動幅を参考値として適用することとします。

※3 周辺環境の変化に伴い自然放射線レベルが変動したことから当面平常の変動幅を適用しないこととします。

大気浮遊じん  
(県測定分)

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

DM・No.	測定地点	項目	平常の変動幅
1	檜葉町 繁 岡	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.16 ※4
		全ベータ放射能	0.011 ~ 0.26 ※4
2	富岡町 富 岡	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.14
		全ベータ放射能	0.010 ~ 0.20
3	大熊町 大 野	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.15
		全ベータ放射能	0.009 ~ 0.23
4	大熊町 夫 沢	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.24
		全ベータ放射能	0.009 ~ 0.35
5	双葉町 郡 山	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.11 ※4
		全ベータ放射能	0.011 ~ 0.16 ※4

※4 繁岡及び郡山については平成21年3月に機器を更新したため、平成21年度測定データに基づき暫定的に設定しました。

(東京電力(株)福島第一原子力発電所測定分)

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

DM・No.	測定地点	項目	平常の変動幅
1	M P - 3	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.087
		全ベータ放射能	0.010 ~ 0.13
2	M P - 8	全アルファ放射能	0.001 ~ 0.087
		全ベータ放射能	0.010 ~ 0.12

(東京電力(株)福島第二原子力発電所測定分)

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

DM・No.	測定地点	項目	平常の変動幅
1	富岡町 毛 萱	全アルファ放射能	0.000 ~ 0.080
		全ベータ放射能	0.010 ~ 0.13
2	M P - 7	全アルファ放射能	0.000 ~ 0.067
		全ベータ放射能	0.011 ~ 0.11

環境試料の全ベータ放射能

(県、東京電力(株)福島第一原子力発電所、東京電力(株)福島第二原子力発電所)

試料名	平常の変動幅 (単位)
陸 土	255 ~ 919 (Bq/kg乾)
陸 水	- ~ 0.09 (Bq/l)
海 底 沈 積 物	147 ~ 873 (Bq/kg乾)
海 水	- ~ 0.06 (Bq/l)
ほうれんそう	73 ~ 301 (Bq/kg生)
だいこん	33 ~ 105 (Bq/kg生)
牛 乳	33 ~ 54 (Bq/kg生)
松 葉	37 ~ 122 (Bq/kg生)
こ め	10 ~ 37 (Bq/kg生)
あ い な め	90 ~ 141 (Bq/kg生)
か れ い 類	77 ~ 154 (Bq/kg生)
さ け	73 ~ 119 (Bq/kg生)
し ら う お	77 ~ 119 (Bq/kg生)
わ か め	53 ~ 268 (Bq/kg生)
ほ っ き が い	56 ~ 111 (Bq/kg生)
ほ ん だ わ ら	138 ~ 553 (Bq/kg生)

(注) -印は、変動値の下限値がゼロ又はマイナスとなるため、下限値を特に定めない。

6-5 環境試料の核種濃度の検出限界について

環境試料の核種濃度の検出限界は、「計数誤差の3倍」としており、この数値以上に有意に検出された場合「検出限界未満」もしくは「ND」としています。  
 検出限界は測定試料、測定条件（検出器、実測定時間等）の違い及びバックグラウンドのスペクトルの変化により測定ごとに変動します。  
 平成22年度に福島県及び東京電力株式会社が実施した環境試料の核種分析の検出限界は、概ね下記の値でした。

環境試料の核種濃度の検出限界

試料名	種類 又は部位	測定容器	前処理方法	測定時間	単位	核種濃度																		
						<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>92</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>96</sup> Ru	<sup>137</sup> Cs	<sup>138</sup> Cs	<sup>147</sup> Ce	<sup>3</sup> H	<sup>131</sup> I	<sup>90</sup> Sr	<sup>238</sup> U				
降下物		US容器	蒸発乾固	8000s	Bq/km <sup>2</sup> ・月	3.3	0.061	0.091	0.31	0.058	0.21	0.26	0.51	0.054	0.42	/	/	0.081	0.0001					
大気浮遊じん		2Lリットル容器	分取	1000s	mBq/m <sup>3</sup>	270,000	2,800	5,700	16,000	5,800	11,000	17,000	54,000	4800	3,600	20,000	6,900,000	/	/					
大気中水分		US容器	1ヶ月分	80000s	mBq/m <sup>3</sup>	0.12	0.005	0.006	0.016	0.005	0.012	0.014	0.043	0.005	0.032	/	/	/	/					
大気中水分		100mlテフロンバイアル	蒸留		mBq/m <sup>3</sup>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2.0	/	/	/					
土表	土	US容器	乾燥	8000s	Bq/kg乾	21	1.5	1.4	4.3	1.1	3.0	3.7	9.6	1.2	1.4	7.0	/	0.41	0.30					
水	蛇口	US容器	蒸発乾固	8000s	Bq/l	0.039	0.001	0.002	0.006	0.001	0.004	0.004	0.011	0.002	0.001	0.008	0.40	/	0.000 <sup>45</sup>	0.003				
水	表面	US容器	化学処理	80000s	Bq/l	0.188	0.004	0.005	0.019	0.002	0.010	0.019	0.020	0.002	0.002	0.018	0.40	/	0.001	0.008				
海底沈積物	泥	US容器	乾燥	80000s	Bq/kg乾	14	0.76	0.79	2.5	0.82	1.8	2.3	6.3	1.0	0.75	5.1	/	/	0.22	0.14				
こめ	精白米	US容器	灰化	80000s		0.47	0.02	0.02	0.10	0.03	0.05	0.06	0.14	0.01	0.01	0.09	/	/	0.02	0.02 <sup>44</sup>				
ほうれんそう	葉	US容器	灰化	80000s		0.48	0.06	0.06	0.82	0.11	0.10	0.09	0.54	0.06	0.05	0.25	/	0.16	0.04	0.0004				
だいこん	根	US容器	灰化	80000s		0.16	0.02	0.02	0.07	0.04	0.04	0.03	0.16	0.03	0.02	0.09	/	/	0.03	- <sup>44</sup>				
牛乳	原乳	US容器	灰化	80000s		0.18	0.02	0.02	0.06	0.03	0.03	0.03	0.13	0.02	0.02	0.08	/	0.02	0.02	0.0001				
はくさい	葉	US容器	灰化	80000s		0.40	0.02	0.03	0.13	0.04	0.05	0.06	0.19	0.02	0.02	0.13	/	0.10	/	/				
キャベツ	葉	US容器	灰化	80000s		0.52	0.02	0.03	0.15	0.04	0.06	0.07	0.19	0.02	0.02	0.13	/	0.11	/	/				
ばれいしょ	塊	US容器	灰化	80000s		0.78	0.04	0.06	0.25	0.08	0.10	0.11	0.36	0.04	0.04	0.18	/	/	/	/				
ぶた	肉	US容器	灰化	80000s		0.23	0.02	0.02	0.09	0.04	0.04	0.03	0.18	0.02	0.02	0.11	/	/	/	/				
鶏	卵	US容器	灰化	80000s		0.55	0.02	0.03	0.12	0.04	0.07	0.06	0.21	0.02	0.02	0.15	/	/	/	/				
しゅんぎく	葉	US容器	灰化	80000s		0.49	0.04	0.05	0.19	0.07	0.08	0.07	0.34	0.04	0.04	0.22	/	/	/	/				
プロコリー	花蕾・葉	US容器	灰化	80000s		1.1	0.03	0.05	0.28	0.05	0.09	0.12	0.25	0.03	0.03	0.16	/	/	/	/				
こか	全	US容器	灰化	80000s		0.31	0.02	0.03	0.11	0.04	0.05	0.05	0.19	0.02	0.02	0.12	/	/	/	/				
ゆず	果実	US容器	灰化	80000s		0.83	0.03	0.05	0.22	0.05	0.09	0.11	0.27	0.03	0.03	0.18	/	/	/	/				
なし	果実	US容器	灰化	80000s	Bq/kg生	0.10	0.01	0.01	0.04	0.02	0.02	0.02	0.08	0.01	0.01	0.05	/	/	/	/				
キウイフルーツ	果実	US容器	灰化	80000s		1.1	0.03	0.05	0.26	0.06	0.10	0.13	0.31	0.03	0.03	0.20	/	/	/	/				
松	葉	US容器	灰化	80000s		0.66	0.05	0.05	0.18	0.07	0.12	0.12	0.40	0.06	0.04	0.26	/	0.64	/	/				
か	れい	類	可食部	80000s		0.39	0.04	0.04	0.13	0.06	0.07	0.07	0.27	0.03	0.03	0.15	/	/	0.02	0.0002				
あ	い	な	め	可食部	80000s	0.42	0.04	0.04	0.12	0.06	0.08	0.07	0.27	0.04	0.03	0.16	/	/	0.02	0.0002				
さ	ず	き	可食部	80000s		0.39	0.03	0.05	0.25	0.06	0.09	0.11	0.27	0.03	0.03	0.18	/	/	/	/				
し	ら	う	お	身	80000s	0.42	0.03	0.04	0.15	0.06	0.07	0.07	0.25	0.03	0.03	0.17	/	/	/	/				
こ	う	な	ご	身	80000s	0.40	0.04	0.05	0.15	0.07	0.09	0.08	0.35	0.04	0.04	0.26	/	/	欠測 <sup>45</sup>	/				
わ	か	め	葉	80000s		0.25	0.03	0.03	0.10	0.05	0.06	0.05	0.24	0.04	0.03	0.14	/	0.12	0.02	/				
ほ	っ	き	が	い	80000s	4.8	0.38	0.40	0.84	0.43	0.74	0.69	3.1	0.42	0.37	2.1	/	欠測 <sup>46</sup>	/	/				
た	こ	可	食	部	80000s	0.64	0.03	0.05	0.18	0.06	0.08	0.08	0.30	0.03	0.03	0.21	/	/	/	/				
はん	だ	お	ら	葉	80000s	0.97	0.11	0.11	0.31	0.18	0.19	0.18	0.78	0.11	0.09	0.49	/	0.19	0.04	0.0052				

(注)「/」は対象外核種。  
 6 \*4 福島県測定分については、計数値がゼロなので、検出限界値を求めることができない。  
 7 \*5 東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故による測定機器の汚染により、福島第二原子力発電所測定分が欠測となった。  
 8 \*6 福島第二原子力発電所において、平成23年2月2日に燃料採取を試みたが採取できず、欠測となった。  
 9 検出限界については、平成22年度の各機関の間で、最も高い値を掲げた。



6-6 測定開始年度について

福島県、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所が実施している各項目・試料の測定開始年度は、次表のとおりです。

表6-6-1 各項目・試料の測定開始年度

測定機関 測定項目	福島県	東京電力株式会社	
		福島第一原子力発電所	福島第二原子力発電所
1 空間放射線 空間線量率 空間積算線量	昭和49年度～ 昭和49年度～	昭和44年度～ 昭和50年度～	昭和54年度～ 昭和60年度～
2 環境試料 大気浮遊じん 大気中水分 陸土 陸水 海水 海底沈積物 <農畜産物> こめ ほうれんそう だいこん 牛乳 その他の試料 <sup>*1</sup> <指標植物> 松葉 <水産物> かれい類 あいなめ さけ しらうお わかめ ほっきがい その他の試料 <sup>*2</sup> <指標海洋生物> ほんだわら	昭和51年度～ 平成20年度～ 昭和48年度～ 昭和57年度～ 昭和48年度～ 昭和48年度～ 昭和56年度～ 昭和48年度～ 昭和48年度～ 平成8年度～ 昭和52年度～ 昭和57年度～ 昭和56年度～ 昭和57年度～ 昭和49年度～ 昭和49年度～ 昭和55年度～ 平成8年度～ 昭和48年度～	昭和52年度～ 昭和43年度～ 昭和43年度～ 昭和43年度～ 昭和43年度～ 昭和43年度～ 昭和47年度～ 昭和48年度～ 昭和43年度～ 昭和52年度～ 昭和57年度～ 昭和56年度～ 昭和44年度～ 昭和48年度～ 昭和55年度～ 昭和48年度～	昭和54年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和57年度～ 昭和56年度～ 昭和53年度～ 昭和53年度～ 昭和55年度～ 昭和54年度～
3 Sr-90測定試料 陸土 陸水 海水 海底沈積物 <農畜産物> <sup>*3</sup> <水産物> かれい類 あいなめ しらうお わかめ ほっきがい <指標海洋生物> ほんだわら	平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成13年度～	平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～	平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～ 平成8年度～

測定機関 測定項目	福 島 県	東 京 電 力 株 式 会 社	
		福島第一原子力発電所	福島第二原子力発電所
4 Pu 測定試料			
陸 土	平成 8 年度～		
陸 水	平成 13 年度～		
海 水	平成 13 年度～		
海底沈積物	平成 8 年度～		
<農畜産物>			
こ め	平成 8 年度～		
ほうれんそう	平成 8 年度～		
だいこん	平成 13 年度～		
牛 乳	平成 13 年度～		
<水産物>			
かれい類	平成 13 年度～		
あいなめ	平成 8 年度～		
<指標海洋生物>			
ほんだわら	平成 13 年度～		

(注) ※1 はくさい、キャベツ、ばれいしょ、ぶた肉、鶏卵、しゅんぎく、ブロッコリー(平成12年度～)、  
 こかぶ、ゆず、なし、キウイフルーツ  
 ※2 すずき、こうなご、たこ  
 ※3 こめ、ほうれんそう、だいこん、牛乳